

三菱自動車純正用品 オリジナルナビゲーション

取扱説明書

NM1M

部品番号：
MZ609118

ご使用前に必ずお読みください。

本書の見かた

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用の前に取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

- ◎ 道路の状況や本機の精度により、不適切な案内をする場合がありますので、本機はあくまで走行の参考にしてください。ルート案内時でも、走行中は必ず道路標識など実際の交通規制（一方通行など）に従って走行してください。
- ◎ 事故防止のため、運転中は絶対に操作しないでください。

- 本書の中で使用しているマークと意味は次のようになっています。

安全のために守っていただきたいこと。	
 警告	守らないと「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	守らないと「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。
システムを使用するときに守っていただきたいこと。	
 アドバイス	守らないと破損につながるおそれや正規性能を確保できないことがあります。
システムを使ううえで知っておいていただきたいこと。	
 知識	知っておくとお車やいろいろな装備を上手に使うことができ便利です。

- 参照して読んでいただきたいページなどを📍マークで表示しています。
- 本書ではスイッチや操作画面のメニュー項目などをマークで表示しています。マークの見かたは次のとおりです。

<メニュー>	コントロールパネルのスイッチやステアリングスイッチなどを表します。
【情報】	操作画面や地図上に表示されるメニューや項目を表します。

- 本書内の画面やイラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。
- 本書は仕様変更により、予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本機の故障、誤動作または不具合により本機に記録できなかったデータ、消失したデータなどについては補償できません。

- 携帯端末で電子取扱説明書を閲覧することもできます。

QR コードから



本機で<メニュー>スイッチを押して、[情報・設定] → [システム情報・設定] → [取扱説明書] をタッチすると QR コードを表示できます。



URL から

<https://www.mitsubishi-motors.co.jp/afterservice/manual/pdf/mz609118.pdf>

- ー QR コードの読み取りかたは、お手持ちの携帯端末の取扱説明書をご覧ください。
- ー 画面のキズや汚れ、光の反射、QR コードのバージョンによっては読み取れない場合があります。
- ー Web サイトの閲覧には別途、通信料が発生します。

■ 安全上のご注意・使用上のお願い .8 ■ BLUETOOTH®接続／Wi-Fi接続をする .25	■ はじめに知っておきたいこと .13	■ はじめに設定しておきたいこと .22	はじめに	P.7
■ 地図画面 .32 ■ 場所を登録する .66	■ 目的地を探す .48 ■ 交通情報を使う .69	■ ルート探索・案内 .55 ■ ソフトウェア・地図を更新する .73	ナビゲーション	P.31
■ AVの共通操作 .80 ■ レコーダーリンク .96 ■ 外部機器の接続 .111	■ テレビを視聴する .89 ■ ネット動画を見る .99	■ ラジオを聴く .95 ■ 音楽・映像の再生 .102	AV	P.79
■ カメラシステム .114	■ 三菱自動車オリジナルナビゲーション連動 ドライブレコーダー .120	■ ETC .128	カメラシステム、 ドライブレコーダー、ETC	P.113
■ ハンズフリーフォンを使う .132	■ ハンズフリーフォンの設定をする .135		ハンズフリーフォン	P.131
■ Apple CarPlayを利用する .138	■ Android Auto™を利用する .143	■ スマートフォン連携 .148	スマートフォン連携	P.137
■ その他の機能と設定 .152	■ 困ったとき .160	■ 必要なとき .187	その他	P.151

安全上のご注意・使用上のお願い

安全上のご注意	P.8
使用上のお願い	P.11

はじめに知っておきたいこと

本機でできる主な機能	P.13
本機の電源を入れる／切る	P.15
各部の名称と機能	P.16
ステアリングスイッチを操作する	P.17
音量を調整する	P.19
AVソースの音声を一時的に消音する	P.19
トップメニューを表示する	P.20
トップメニューを編集する	P.20

はじめに設定しておきたいこと

イージーセットアップを行う	P.22
車種を設定する	P.24
自宅を登録する	P.24

BLUETOOTH® 接続／Wi-Fi 接続をする

スマートフォンを本機と BLUETOOTH® 接続する	P.25
本機をインターネットに Wi-Fi 接続 (ステーションモード) する	P.28

安全上のご注意・使用上のお願い

安全上のご注意 (必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

 **注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。
(次は図記号の例です)

 してはいけない内容です。

 実行しなければならない内容です。

 **警告**  **運転者は走行中に本機や携帯電話の操作をしたり、画面を注視しない**
必ず安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。

警告

 **車庫や屋内などの換気の悪いところでエンジンをかけたままにしない**

車内や屋内などに排気ガスが充満し、一酸化炭素中毒のおそれがあります。

 **ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届く所に置かない**

誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われる場合は、すぐに医師にご相談ください。

 **故障や異常な状態のまま使用しない**

画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因となります。

 **機器内部に、水や異物を入れない**

金属物や燃えやすいものが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電、故障の原因となります。飲み物などがからないようにご注意ください。

安全上のご注意・使用上のお願い

 警告	 接続機器(本機に接続する iPod などのオーディオ機器、USB メモリー、携帯電話など)や接続用のケーブルを SRS エアバッグの作動を妨げるような場所に設置しない SRS エアバッグが正常に作動しなくなったり、SRS エアバッグの作動時に接続機器が飛ばされるなどにより、死亡・重傷に至ることがあります。
	 大きな音量で使用しない 車外の音が聞こえないことによる交通事故の原因となります。
	 本機および接続機器を分解したり、改造をしない 分解禁止 交通事故・火災・感電の原因となります。
	 雷が鳴りだしたら、アンテナコードや本機に触らない 接触禁止 落雷による感電のおそれがあります。

 警告	 実際の交通規制に従う ナビゲーションによるルート案内のみに従って走行すると実際の交通規制に反する場合があります。交通事故の原因となります。
	 ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門技術者に依頼する 規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。
	 リヤビューカメラやマルチア라운드モニターは補助手段として使用し、後退時には直接後方の安全確認をしながら運転する 交通事故の原因となります。
	 医療用電気機器などへの影響を確認する 本機は、無線機能を搭載しています。心臓ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用になる場合は、当該の各医療用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響について必ずご確認ください。

 警告	 接続機器(本機に接続する iPod などのオーディオ機器、USB メモリー、携帯電話など)や接続用のケーブルは、運転の邪魔にならない場所に設置する(固定するなど) 運転に支障をきたし、交通事故の原因になることがあります。
---	---

 注意	 液晶パネルを強く押したり、強い衝撃を与えない 液晶パネルのガラスが割れて、けがの原因となることがあります。
	 USB 端子に手・指や異物を入れない けがの原因となることがあります。
	 直射日光が当たる場所で使用しない 金属部分が高温になり、触れると火傷する可能性があります。

 注意	 液晶パネルが割れた場合、パネル内部の液体には絶対に触れない 皮膚の炎症などの原因となることがあります。 • 万一口に入った場合は、すぐにうがいをし、医師に相談してください。 • 目に入ったり皮膚に付着したりした場合は、清浄な水で充分洗浄したあと、医師に相談してください。
	 取り付け(取り外し)や配線は、専門技術者に依頼する 誤った取り付けや配線をした場合、車に支障をきたすことがありますので、お買い上げの販売会社にご依頼ください。

使用上のお願い

走行中の操作制限／視聴制限について

- 安全運転への配慮から、走行中は操作できない機能があります。また、TVやドライブレコーダーなどの映像ソースは走行中は映像表示をしません。操作や映像ソースの視聴は、安全な場所に停車して行ってください。
- 停車するときは、停車禁止区域以外の安全な場所に停車してください。

車のエンジン停止中でのご使用について

- エンジン停止中に本機をご使用になりますと、車のバッテリーがあがるおそれがあります。エンジンを停止したままで長時間ご使用にならないでください。
- エンジン停止中に本機を使用しているとき、エンジンを始動すると、電圧降下により、初期の画面に戻ることがあります。

キーレスオペレーションキーの動作について

キーレスオペレーションキーが装着されている車両では、キーレスオペレーションキーを本機に近づけると動作しなくなる場合がありますので、十分にご注意ください。

温度について

極端に寒いときや暑いときは、正常に動作しないことがあります。換気や暖房で車内を適温にしてご使用ください。

結露について

- タッチパネルの内側に結露が生じた場合、正常に動作しないことがありますので、タッチパネルの操作は結露が取り除かれてから行ってください。

振動について

本機に強い振動が加わると、まれに音飛びなどの症状がみられることがあります。強い振動がおさまると通常の動作に戻ります。

ディスプレイについて

- 液晶の特性上、直射日光が反射して画面が見づらくなることがあります。
- 画面にいつも同じ色に光る点やいつも黒い点が現われる場合がありますが、これは液晶ディスプレイの性質上起こるものであり、故障ではありません。
- タッチパネル面に保護フィルムを貼り付けた場合、正常に動作しないことがありますので、保護フィルムは貼り付けしないでください。

- ディスプレイ表面は傷付きやすいため、取り扱いには十分ご注意ください。硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。

■ディスプレイのお手入れについて

本機の画面には特殊なコーティングが施されており、お手入れの方法によっては、キズ、コーティング剥がれなどの原因になります。下記に注意してお手入れしてください。

- 画面のお手入れの際には、本機の電源を切り、乾いたきれいな柔らかい布で、軽く拭いてください。
- 特に次のものは使用しないでください。
 - ー 汚れや砂、硬いゴミがついた布
 - ー 濡れた布（ウェットティッシュ含む）
 - ー 硬い布
 - ー 本機の画面以外を拭いた布
 - ー ティッシュペーパー
 - ー 研磨剤、洗剤（ガラス用クリーナー含む）
 - ー シンナー、ベンジン、アルコール、ガソリンなどの有機溶剤、酸性やアルカリ性の溶剤
 - ー 化学ぞうきん
- 画面を強くこすらないでください。爪を立てたり、布の角や折り目でこすらないでください。

接続機器について

- iPodやUSBメモリー、携帯電話などを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- 静電気や電氣的ノイズを受けたり、暖房器具の熱が直接当たるおそれのある場所に放置しないでください。データが破壊されるおそれがあります。
- 接続するケーブルが邪魔にならないように整理してください。手や足などにケーブルが引っかかり、断線や破損のおそれがあります。

著作権について

お客さまが録音・録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。著作権の対象になっているデータが記録されたUSBメモリーなどは、著作権法の規定による範囲内で使用してください。また、営利目的、または公衆に視聴されることを目的として画面の圧縮・引きのばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

免責事項について

- 本機は各種規格に基いた製品仕様となっておりますが、接続する機器やソフト／アプリなどによっては、期待どおりに動作しない場合があります。
- 火災、地震、水害、落雷、第三者による行為、その他の事故、お客さまの故意または過失、誤使用、その他の異常な条件下での使用により故障または損傷した場合には有料修理となります。
- 本機の使用または使用不能から生じる損害(事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など)については、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本機を業務用の車両(タクシー・トラック・バスなど)に使用した場合、保証対象外となります。
- 他人に譲渡または処分などされる際は、本機に入力した個人情報(登録地点の住所や電話番号など)の取り扱い、管理(消去など)は、必ずお客さまの責任において行ってください。
- 本機の使用を誤ったときや静電気・電氣的なノイズの影響を受けたときに基本プログラムなどが消失・変化した場合は補償できません。また、修理によって本機に登録した内容(登録地点など)が消去された場合も補償できません。

- 本機で再生するデータは必ずバックアップをしてください。使用状況によってはデータが失われるおそれがあります。消失したデータについては補償できませんのであらかじめご了承ください。

その他

- パネル面、その他の付属品にベンジン、シンナー、殺虫剤などの揮発性の薬品をかけると、ケースや塗装が変質しますので使用しないでください。またセロハンテープなどの粘着性のものを貼ったりすることも、キャビネットを汚したり傷めたりしますので避けてください。

はじめに知っておきたいこと

快適なドライブができるようにさまざまなサポート機能があります。

本機でできる主な機能

	機能	概要	参照先
ナビゲーション機能	地図表示	＜現在地＞スイッチを押して現在地の地図画面を表示できます。また、地図はスクロールしたり、拡大／縮小したりできます。	➡P.32
	ランチャー	地図画面のまま、よく使う機能のボタンを表示させることができます。	➡P.34
	目的地を探す・設定する	名称、周辺施設、住所、電話番号などさまざまな方法で目的地を探し、その目的地までのルートを探索することができます。	➡P.48
	ルート探索	各種探索条件の優先度や経由地の設定などさまざまな方法で探索できます。	➡P.55
	ルート案内の表示・音声の設定	交差点情報を表示したり、右左折を音声で案内したりしてルート案内します。また、各案内(表示・音声)の有無を設定することができます。	➡P.63
	交通情報(VICS 情報)	FM多重放送により VICS 情報を受信して、渋滞情報や規制情報などを確認することができます。	➡P.69
AV 機能	地上デジタルテレビ	12セグおよびワンセグを受信できます。	➡P.89
	iPod / iPhone の音楽再生	iPod / iPhone の音楽を本機で楽しむことができます。	➡P.108
	レコーダーリンク	スマートフォンアプリと連携して、自宅のレコーダーなどの映像を、本機で視聴できます。	➡P.96
	ネット動画	インターネットに Wi-Fi 接続して、各種動画配信サービスをスマートフォンのアプリを使用せずに、本機で視聴できます。	➡P.99
	BLUETOOTH® Audio	スマートフォンなどのオーディオ機器を BLUETOOTH® 接続して音楽を楽しむことができます。	➡P.102
	USB メモリーの音楽／動画再生	USB メモリーにある音楽／動画ファイルを再生することができます。	➡P.104 ➡P.105
	外部機器の接続	HDMI 出力が可能なスマートフォンやビデオカメラなどの外部機器を接続し、映像を視聴することができます。	➡P.111

はじめに知っておきたいこと

	機能	概要	参照先
ハンズフリーフォン機能	BLUETOOTH® ハンズフリーフォン	スマートフォンを BLUETOOTH® 接続して、本機で電話を受けたり、発信したりすることができます。	📍P.132
スマートフォン連携機能	Apple CarPlay	iPhone を本機と接続して、本機の画面で操作できます。	📍P.138
	Android Auto™	Android™ スマートフォンを本機と接続して、本機の画面で操作できます。	📍P.143
	NaviCon®	スマートフォンのNaviCon® アプリで探した目的地を本機に転送して、ルート探索・案内などを行うことができます。	📍P.148

本機の電源を入れる／切る

本機の電源は車両のキースイッチと連動します。

キースイッチについて詳しくは車両の取扱説明書をご覧ください。

本機がインターネットにWi-Fi接続していない、または[オンラインバージョンアップのお知らせ設定]が[手動]に設定されている場合、本機のデータをバージョンアップするためのお知らせ画面が表示される場合があります。

🔌 バージョンアップリマインド機能 (P.76)

初めて本機を起動したときは、取付確認・設定画面が表示されますので、[利用開始]をタッチしてイーージーセットアップを行ってください。

🔌 イーージーセットアップを行う(P.22)

アドバイス

ACC電源オートオン／オフ機能付きの車種の場合

- 本機を操作するには、車のエンジンをかけてください。詳しくは車両の取扱説明書をご覧ください。

知識

- [セキュリティ設定]が[ON]に設定されている場合で、本機をバッテリー(+B)から取り外し再度接続して起動したときは、セキュリティコード認証画面が表示されます。設定したセキュリティコードを入力して[決定]をタッチしてください。

🔑 セキュリティコードを設定する (P.153)

※間違ったセキュリティコードを入力するとメッセージが表示され、認証画面を繰り返します。正しいセキュリティコードを入力し直してください。または、三菱自動車販売会社にご相談ください。

- 車両のキースイッチをONにしたときに、ETC2.0車載器からエラーメッセージが音声でお知らせされた場合は、ETC2.0車載器の故障が原因と考えられます。再度車両のキースイッチをONにしても異常が発生する場合は、ETC2.0車載器のアンテナにある確認ランプが点灯していることを確認してください。確認ランプが消灯しているときはETCを利用できません。詳しくは別売のETC2.0車載器の取扱説明書をご覧ください。

- 長期間電源OFF状態だった場合や、バッテリー(+B)から取り外し再度接続した場合などに、本機の起動時間が長くなる場合があります。起動が完了するまでしばらくお待ちください。

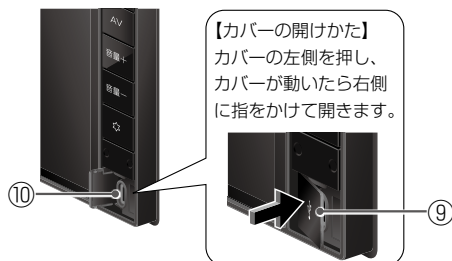
各部の名称と機能

本機は、タッチパネル、ステアリングスイッチおよびコントロールパネルの各スイッチを使って操作します。

コントロールパネル



USB Type-C® 端子カバーを開けた状態



① ディスプレイ／タッチパネル

② <メニュー>スイッチ

- トップメニュー画面を表示します。
➡ トップメニューを表示する (P.20)
- 長押しすると、音声認識を起動します。^{*1}
➡ Siri (音声認識) を起動する (P.140)
- ➡ Google アシスタント (音声アシスタント) を起動する (P.146)

③ <現在地>スイッチ

- 今いる場所の地図画面を表示します。
➡ 現在地の地図表示 (P.32)
- 長押しすると、画質調整画面を表示します。
➡ 画面の画質調整／サイズ切り替えをする (P.155)

④ <AV>スイッチ

- 選択中のAV画面またはAVソース一覧を表示します。
- 長押しすると、AVをON／OFFします。

⑤ <音量+／->スイッチ

AV ON時／ハンズフリーフォン中／音声案内中に各音量を調整できます。

⑥ <☆>スイッチ(オプションスイッチ)

オプションスイッチ画面で選んだ機能の操作をします。

➡ オプションスイッチを設定する (P.152)

※マルチアラウンドモニター搭載車に本機を装着している場合は、マルチアラウンドモニターの映像画面を表示します。

はじめに知っておきたいこと

※マルチアラウンドモニターについて詳しくは車両の取扱説明書をご覧ください。

⑦ セキュリティインジケータ

「セキュリティインジケータ」を[ON]に設定すると、本機の電源を切ったときにインジケータが点滅します。

(< ☆ > スイッチのマーク部分が点滅します。)

➡ セキュリティインジケータを設定する(P.153)

⑧ 内蔵マイク

⑨ USB Type-C 端子カバー

※抜き差しするとき以外は閉じてください。

⑩ USB Type-C 端子

* 1…Apple CarPlay / Android Auto を接続していないときは、長押しすると、**BLUETOOTH®** 接続待機画面が表示されます。

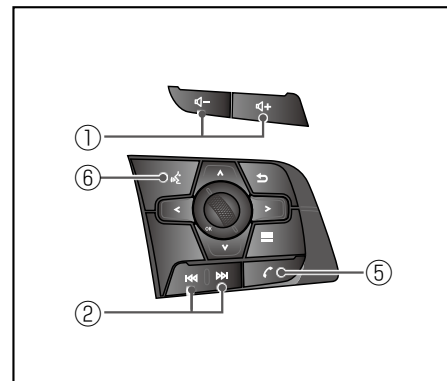
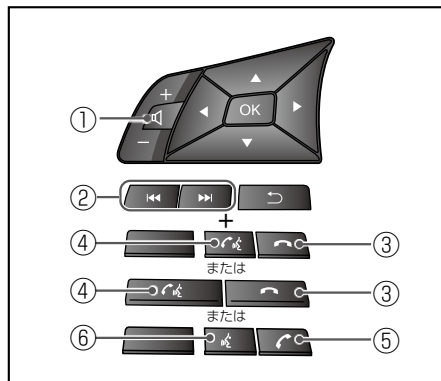
➡ 本機と iPhone を接続する(P.138)

➡ 本機と Android スマートフォンを接続する(P.143)

ステアリングスイッチを操作する

車種によっては、ハンドルにスイッチが付いている場合があります。その場合、運転中にAVの操作が可能です。

イラストはイメージ図です。



知識

- 音量は、それぞれの音声が出力中の間、調整できます。

※それぞれの音量は音声出力中であっても別の方法で音量設定できます。

➡ 音量を設定する(P.19)

はじめに知っておきたいこと

① <- 1/2 +>スイッチ

音量を調整します。

② 選曲／選局スイッチ< 1/2 / 1/2 >

FM／AM

- プリセットされている放送局を選局します。
- 長押しすると自動選局になり、放送局を受信すると止まります。

TV

チャンネルリストの放送局を選局します。

レコーダーリンク

映像コンテンツを1つずつ送ったり、戻したりします。

USB

- 音楽、ビデオを1つずつ送ったり、戻したりします。
- 長押しすると、前のフォルダ／次のフォルダの先頭の音楽、ビデオから再生します。

BLUETOOTH® Audio／iPod／

Apple CarPlay

- 音楽を1つずつ送ったり、戻したりします。
- 長押しすると、音楽を早戻し／早送りします。

Android Auto

- 音楽を1つずつ送ったり、戻したりします。

ネット動画

- アクセス履歴の1つ前／1つ後を表示します。

③ < 1/2 >スイッチ

ハンズフリーフォン通話中に押すと、電話を切ります。

④ < 1/2 >スイッチ

- ハンズフリーフォン着信中に押すと、電話を受けます。
- 長押しすると、音声認識を起動します。^{*1}

➡ Siri (音声認識) を起動する
(P.140)

➡ Google アシスタント (音声アシスタント) を起動する (P.146)

⑤ < 1/2 >スイッチ

- ハンズフリーフォン通話中に押すと、電話を切ります。
- ハンズフリーフォン着信中に押すと、電話を受けます。

⑥ < 1/2 >スイッチ

- スイッチを押すと、音声認識を起動します。^{*1}

^{*1}…Apple CarPlay／Android Auto を接続していないときは、長押しすると、**BLUETOOTH®** 接続待機画面が表示されます。

➡ 本機とiPhoneを接続する (P.138)

➡ 本機とAndroid スマートフォンを接続する
(P.143)

知識

- ステアリングスイッチの形状は車種によって異なります。
- 対応車種は三菱自動車販売会社にお問い合わせください。
- AV画面↔地図画面の切り替えは、本機のスイッチの< AV >↔< 現在地 >を押して切り替えてください。
- AVがOFFのときは音量調整、選曲／選局、消音の操作はできません。
- 音量スイッチで調整できるのは以下の音量です。
 - － AVがONのとき：AV 音量
 - － ハンズフリーフォン着信中：ハンズフリー着信音量
 - － ハンズフリーフォン発信中：呼び出し音量
 - － 通話中：ハンズフリー受話音量
 - － 音声案内中：ナビ案内音量

音量を調整する

本体スイッチで音量を調整する

調整したい音声出力されている状態で、
＜音量＋／－＞スイッチを押して調整する
出力中の音声の音量が調整されます。
調整中はステータスバーに音量が表示され
ます。

知識

- AVソースまたはハンズフリーの音声とナビ案内が同時に出力されているときは、ナビ案内音が調整されます。
- AVソースの音量は、ソースごと(個別)に記憶されます。
- ナビ案内音の音量が「0」のときは、本体ボタンで音量を調整できません。
➡ 音量を設定する(P.19)

音量を設定する

1. ＜メニュー＞スイッチを押して、[情報・設定]→[システム情報・設定]→[音量設定]をタッチする
2. [－]／[＋]で各項目の音量を調整する
 - ナビ案内音：0 ～ 11
 - 音声認識音：1 ～ 11
 - ハンズフリー着信音：0 ～ 40
 - ハンズフリー受話音：0 ～ 40
 - ハンズフリー送話音：1 ～ 7

知識

- スライダーをドラッグしても調整できません。
- 音声認識音とハンズフリー送話音の音量は、「0」には設定できません。
- ハンズフリー着信音、ハンズフリー受話音を「3」以下に設定していても、ハンズフリー通話を行うと「4」に変更されます。
- お買い上げ時の設定に戻すには[初期値]→[はい]をタッチします。

AVソースの音声を一時的に消音する

＜☆＞スイッチ(オプションスイッチ)を押す

もう一度押すと解除されます。

＜☆＞スイッチ(オプションスイッチ)に消音が設定されている必要があります。

➡ オプションスイッチを設定する(P.152)

知識

- 消音時は、ステータスバーにが表示されます。
- ナビゲーションの案内音量、音声認識のトークバック、ハンズフリーの音声(通話音・発着信音)はミュートされません。
- AVをOFFにするには下記をご覧ください。
➡ AVをON／OFFにする(P.82)

トップメニューを表示する

<メニュー>スイッチを押すとトップメニューを表示します。



① ショートカット

よく使う項目をショートカットとして登録できます。
画面が複数ある場合は、[<] / [>] をタッチするか、ショートカット周辺を左右にフリックまたはドラッグすると、左右の画面に切り替わります。

② [≡] All Apps(全機能一覧)

All Apps(全機能一覧)を表示します。

③ [AV ON/OFF]

AVのON / OFFを切り替えます。
➡ AVをON / OFFにする(P.82)

④ [電話]

ハンズフリー画面を表示します。
➡ 電話をかける(P.133)

⑤ [Android Auto]

Android Auto 画面を表示します。
➡ Android Auto™ を利用する
(P.143)

⑥ [Apple CarPlay]

Apple CarPlay 画面を表示します。
➡ Apple CarPlay を利用する
(P.138)

⑦ [情報・設定]

情報・設定メニューを表示します。

⑧ [ルート]

全ルート図を表示します。
➡ 手動で全ルート図を表示させる
(P.55)

トップメニューを編集する

All Apps(全機能一覧)の項目から、好みの項目をショートカットとしてトップメニューに表示できます。(1画面あたり最大8項目、7画面まで)

トップメニューに表示させるショートカットを選ぶ

1. <メニュー>スイッチを押して、[≡] をタッチする
2. トップメニューに表示させたい項目の[メニューに表示]チェックボックスを選んでタッチし、✓印を付ける
✓印を付けた項目が、トップメニューにショートカットとして表示されます。
タッチするごとに、ON / OFFが切り替わります。

ショートカットの配置を変更する(トップメニューカスタマイズ)

1. <メニュー>スイッチを押して、[情報・設定] → [システム情報・設定] → [トップメニューカスタマイズ] をタッチする
トップメニューカスタマイズ画面が表示されます。
トップメニューでショートカットを約1秒以上タッチしても、表示できます。
2. 配置を変更したい項目をドラッグして、移動する

ドラッグした位置に項目を移動します。

ドラッグした位置に他の項目がある場合は、自動的にドラッグした項目を避けて再配置されます。

すでに8項目すべて配置されている画面には、他の画面から項目を移動できません。不要な項目を他の画面に移動させるか削除してから移動してください。

この操作を繰り返し、ショートカットの配置をしてください。

3. [決定] をタッチする

トップメニューカスタマイズを完了します。

■他の画面に移動する

画面の左端 / 右端までドラッグすると、左となり / 右となりの画面に移動します。

■ショートカットを削除する

☰までドラッグすると、選択した項目がショートカットから削除されます。



知識

- カスタマイズ操作中は、ショートカットをタッチしても、その機能は起動しません。

■お買い上げ時の設定に戻すには

トップメニューカスタマイズ画面から、[初期化]→[はい]をタッチする

はじめに設定しておきたいこと

イージーセットアップを行う

設定しておく便利な項目を、まとめて設定することができます。

初回起動時、取付確認・設定画面が表示されます。

1. **【利用開始】→【はい】→【イージーセットアップをはじめる】**をタッチする
2. 画面に従ってセットアップ操作をする
3. **【終了】**をタッチする

イージーセットアップを終了し、現在地の地図画面を表示します。

セットアップ操作

音量設定	ルート案内時の音声音量やハンズフリーフォンの通話音量などを設定します。 ※イージーセットアップ以外でも設定できます。➡ 音量を設定する(P.19)
自宅	自宅へのルートを探索するために自宅を登録します。 登録方法を選んでください。 ※自宅が登録済みの場合は、確認メッセージが表示されます。 ※イージーセットアップ以外でも設定できます。➡ 自宅を登録する(P.24)
オプションスイッチ設定	コントロールパネルの< ☆ >スイッチ(オプションスイッチ)にどの機能を設定するか選びます。 ※イージーセットアップ以外でも設定できます。➡ オプションスイッチを設定する(P.152)
オンラインバージョンアップ確認	本機をインターネットにWi-Fi接続してソフトウェア・地図更新するための利用登録を行います。 ※本機の画面に表示された二次元コードをスマートフォンなどで読み取り、WEB上で登録してください。 ※パソコンを利用したソフトウェア・地図更新に必要なユーザー登録も行うことができます。 ※イージーセットアップ以外で設定する場合は、<メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[システム情報・設定]→[ソフトウェア・地図更新]→[オンラインバージョンアップ確認]をタッチしてください。

はじめに設定しておきたいこと

自動バージョンアップ 設定画面	ソフトウェア・地図更新の更新データの有無を、自動／手動どちらで確認するか設定します。 ● 自動：Wi-Fi接続時に本機が自動で確認 ● 手動：ソフトウェア・地図更新画面を操作して確認開始する ➡ <u>ソフトウェア・地図更新データ有無の手動確認について(P.76)</u> ※イーージーセットアップ以外で設定する場合は、＜メニュー＞スイッチを押して、[情報・設定]→[システム情報・設定]→[ソフトウェア・地図更新]をタッチして[オンラインバージョンアップのお知らせ設定]の[手動]／[自動]をタッチしてください。
Wi-Fi設定	Wi-Fiの利用する・しないを選択できます。 本機をインターネットにWi-Fi接続して、ソフトウェア・地図更新／ネット動画の視聴／レコーダーリンク／名称(オンライン)での検索を行う場合は、[利用する]を選択してください。 ※イーージーセットアップ以外でも設定できます。➡ <u>本機のWi-Fiモードを切り替える(P.30)</u>
BLUETOOTH®設定	ハンズフリーフォンなどを使うためにスマートフォンなどのBLUETOOTH®対応機器の登録などを行います。 ※イーージーセットアップ以外でも設定できます。➡ <u>スマートフォンを本機に登録する(P.26)</u>

知識

- 一度登録すると、次回から登録確認画面は表示されません。登録しないで本機の電源を切ると、本機を起動時、再度取付確認・設定画面が表示されます。
- [利用開始]以外をタッチした場合は、本機の電源を入れ直してください。
- [次回表示する]をタッチすると、次回起動時、再度イーージーセットアップ画面を表示します。
[次回以降表示しない]をタッチすると、次回起動時、イーージーセットアップ画面を表示しません。
再度イーージーセットアップをしたい場合は、＜メニュー＞スイッチを押して、[情報・設定]→[システム情報・設定]→[イーージーセットアップ]をタッチしてください。
- セットアップ操作中に[前へ]／[次へ]をタッチすると、1つ前の項目の画面／次の項目の画面を表示します。

車種を設定する

車種を設定すると、有料道路の料金計算に利用されます。

本機を取り付けた車種に応じて、下記の設定を行ってください。

1. <メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[システム情報・設定]→[車種設定]をタッチする
2. [車種区分]をタッチする
3. 車種をタッチする
 - － [軽自動車]
 - － [小型車両]
 - － [普通車両]
 - － [中型車両]
 - － [大型車両]
 - － [特定車両]

自宅を登録する

1. 自宅が登録されていない状態で、<メニュー>スイッチを押して、[]をタッチし、All Appsから[自宅]をタッチする

トップメニューの[自宅]でも操作できます。

2. 自宅の場所を検索する

検索のしかたは、下記をご覧ください。

📍 目的地を探す(P.49)

- － [現在地付近]：現在地付近の地図を表示^{*1}
- － [出発地付近]：出発地付近の地図を表示^{*2}
- － [目的地付近]：目的地付近の地図を表示^{*2}
- － [地図]：最後に表示していた地図を表示

* 1… ルート未設定時のみ

* 2… ルート案内中のみ

3. [設定]→[保存]をタッチする

カーソルの地点が、自宅として登録され、自宅へのルートが探索されます。

自宅を登録すると、地図上に自宅のアイコンが表示されます。

知識

- 自宅の編集・消去は、登録地リストから行ってください。
- 📍 場所を登録する(P.66)

BLUETOOTH® 接続／Wi-Fi 接続をする

利用したい機能によって、あらかじめ本機にスマートフォンなどを登録して、BLUETOOTH® 接続／Wi-Fi 接続する必要があります。登録後は簡単な操作で接続できます。

■スマートフォンの登録が必要な機能

○：必要 ー：不要

機能	接続方法		
	Wi-Fi		BLUETOOTH®
	ステーションモード	アクセスポイントモード	
名称(オンライン)	○	ー	ー
ソフトウェア・地図更新 (Wi-Fi 接続)	○	ー	ー
ネット動画	○	ー	ー
レコーダーリンク	○	ー	○
Apple CarPlay	ー	○* 1	○* 1
Android Auto	ー	○* 1	○
BLUETOOTH® Audio	ー	ー	○
ハンズフリーフォン	ー	ー	○
NaviCon®	ー	ー	○

* 1…ワイヤレス接続時のみ

登録／接続方法の詳細については下記をご覧ください。

➡ スマートフォンを本機と BLUETOOTH® 接続する (P.25)

➡ 本機をインターネットに Wi-Fi 接続(ステーションモード)する (P.28)

Apple CarPlay／Android Auto の接続方法については下記をご覧ください。

➡ 本機と iPhone を接続する (P.138)

➡ 本機と Android スマートフォンを接続する (P.143)

📖 知識

- 機能によって本機の Wi-Fi 接続のモードが異なります。
 - ー ステーション：名称(オンライン)／ソフトウェア・地図更新(Wi-Fi 接続)／ネット動画／レコーダーリンクを利用するためのモードです。
 - ー アクセスポイント：Apple CarPlay／Android Auto をワイヤレスで利用するためのモードです。
- ➡ 本機の Wi-Fi モードを切り替える (P.30)

スマートフォンを本機と BLUETOOTH® 接続する

ハンズフリーフォンでの通話や、BLUETOOTH® Audio などを利用するには、スマートフォンと本機の BLUETOOTH® 接続が必要です。

- 自宅のレコーダーの映像を視聴する
➡ レコーダーリンクで自宅の録画番組を視聴する (P.96)
- BLUETOOTH® 対応オーディオ機器の音楽を聴く
➡ BLUETOOTH® Audio を再生する (P.102)
- ハンズフリーフォン通話
➡ ハンズフリーフォンを使う (P.132)
- NaviCon® アプリで探した目的地を本機に転送する
➡ NaviCon® を使う (P.148)

BLUETOOTH® 接続をするには

BLUETOOTH® 接続をするには、まずスマートフォンなどのBLUETOOTH®対応機器を本機に登録する必要があります。

➡ スマートフォンを本機に登録する
(P.26)

アドバイス

- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作できます。
- スマートフォンにはご利用できない機種があります。適合機種については、三菱自動車販売会社にお問い合わせいただくか、三菱自動車工業株式会社のWeb サイト(<https://www.mitsubishi-motors.co.jp/purchase/accessory/navi/lineup/original9.html>)にてご確認ください。
※ Webサイトのアドレスは都合により変更させていただく場合があります。
- 動作確認の対象は、国内3キャリア(docomo、au、SoftBank)の製品です。一部、料金プランによってはスマートフォンの動作が変わるため対象外となる場合があります。

- すべての音楽再生アプリ、通話アプリでの動作を保証するものではありません。ハンズフリーフォンは、通常の音声通話のみ動作を保証しております。
- スマートフォン側の操作はスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

スマートフォンを本機に登録する

1. <メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[スマートフォン接続設定]→[BLUETOOTH設定]をタッチする

本機のBLUETOOTH®機能がOFFになっている場合は、ONにしてください。

➡ 本機のBLUETOOTH®機能をON／OFFする(P.28)

2. [機器登録]をタッチする

本機がBLUETOOTH®接続待機状態になります。

すでに6台登録されているときは登録できません。メッセージが表示された場合は、[はい]をタッチして登録済みの機器を消去してください。

接続を終了する確認メッセージが表示された場合は、[はい]をタッチすると接続が解除されますので、手順3へ進んでください。

Apple CarPlayまたはAndroid Autoの接続中は登録できません。

接続を終了する確認メッセージが表示された場合は、[はい]をタッチすると接続が解除されます。

3. スマートフォンなどBLUETOOTH®対応機器側のBLUETOOTH®機能がONになっていることを確認し、BLUETOOTH®対応機器側を操作して登録を行う

周辺のBLUETOOTH®機器を検索し、検索結果から本機のデバイス名(NM1M)を選択して機器登録します。

4. Apple CarPlay、Android Autoの利用の確認画面が表示された場合、[はい]／[いいえ]をタッチする

[はい]：Apple CarPlay／
Android Auto に接続する

➡ 本機とiPhoneを接続する(P.138)

➡ 本機とAndroid スマートフォンを接続する(P.143)

[いいえ]：BLUETOOTH® Audio接続／ハンズフリー接続(ハンズフリーフォン通話、レコーダリンク、NaviCon®)を使用する

スマートフォンなどのBLUETOOTH®対応機器がBLUETOOTH®機器登録され、本機と接続されます。

※ **BLUETOOTH®** 接続中の機器がある場合は、そちらの接続は解除されます。(登録は消去されません。)

※ Apple CarPlay／Android Auto に非対応、または Apple CarPlay／Android Auto の設定を無効にしたスマートフォンを接続する場合は、Apple CarPlay／Android Auto の利用の確認画面は表示されず、自動的に **BLUETOOTH®** Audio とハンズフリーに接続されます。

ハンズフリー接続／Android Auto の接続をした場合は、スマートフォンの電話帳と発着信履歴の情報が、本機に転送されます。(スマートフォン側で転送許可が必要な場合があります。)

➡ ハンズフリーフォンの通話設定をする (P.135)

※ Apple CarPlay／Android Auto の接続が完了したとき、本機の Wi-Fi モードはアクセスポイントモードに設定されます。ステーションモードでの接続は切断されます。

🚗 アドバイス

- 登録は、本機とスマートフォンなど **BLUETOOTH®** 対応機器の両方を操作して行います。本書では、本機の操作方法のみ説明していますので、**BLUETOOTH®** 対応機器の取扱説明書もご覧になりながら登録を行ってください。
- 誤登録を防ぐため、登録前に周囲の他の **BLUETOOTH®** 対応機器の電源をお切りください。
- **BLUETOOTH®** の登録中に車両のキースイッチを OFF にした場合、登録は中止されます。故障の原因になりますので、登録中は車両のキースイッチを OFF にしないでください。

📖 知識

- 一度接続すると、次回からは自動的に接続されます。登録した別の機器を接続することもできます。
- ➡ **BLUETOOTH®** 接続する機器で使用する機能を変更する (P.28)

使用する機能と割り当て設定について

登録したスマートフォンなど **BLUETOOTH®** 対応機器をどの機能で使用するかに応じて下表のように割り当て設定を行ってください。

BLUETOOTH® 対応機器は6台まで登録可能です。

接続台数は、使用する機器に[電話／スマートフォンアプリ]／[AV]／[Apple CarPlay]／[Android Auto]を選んだ1台ずつです。

Apple CarPlay／Android Auto の登録台数は、**BLUETOOTH®** 登録台数とは別に、6台まで登録可能です。

使用する機能	割り当て設定
ハンズフリーフォン *1	[電話／スマートフォンアプリ]を有効にする
レコーダーリンク NaviCon®*1	
BLUETOOTH® Audio	[AV]を有効にする
Apple CarPlay	[Apple CarPlay]を有効にする
Android Auto	[Android Auto]を有効にする

*1…Android Auto を接続している場合は、[電話／スマートフォンアプリ]の✓印が外れていても、使用できます。

BLUETOOTH® 接続する機器で使用する機能を変更する

1. <メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[スマートフォン接続設定]→[BLUETOOTH設定]をタッチして、変更したい機器をタッチする

2. 使用する機能を選んで✓印を付け、[決定]をタッチする

[AV] : BLUETOOTH® Audio 接続

[電話／スマートフォンアプリ] :

ハンズフリー通話、レコーダーリンク、NaviCon®

[Apple CarPlay] : Apple CarPlay 用 iPhone と接続

[Android Auto] : Android Auto 用 スマートフォンと接続

➡ 使用する機能と割り当て設定について
(P.27)

設定した内容で本機と BLUETOOTH® 接続されます。

※接続中の機器がある場合は、そちらの接続は解除されます。(登録は消去されません。)

再度選ぶと、接続が解除されます。

Apple CarPlay、Android Auto の項目は、ワイヤレス接続に対応した iPhone、Android スマートフォンの場合のみ表示されます。

ワイヤレス接続に対応しない場合や、ユーザーが iPhone、Android スマートフォン側の設定で Apple CarPlay、Android Auto の設定を無効にしている場合には表示されません。

[AV][電話／スマートフォンアプリ]と、[Apple CarPlay][Android Auto]は、どちらか一方のみを選択することができます。

ハンズフリー接続／Android Auto の接続をする機器を変更した場合、前の機器の電話帳と発着信履歴は消去され、新しく接続したスマートフォンの電話帳と発着信履歴の情報が、本機に転送(上書き)されます。(スマートフォン側で転送許可が必要な場合があります。)

➡ ハンズフリーフォンの通話設定をする
(P.135)

登録したスマートフォンの登録を消去する

1. <メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[スマートフォン接続設定]→[BLUETOOTH設定]をタッチして、消去したい機器をタッチする

2. [消去]→[はい]をタッチする

選んだ機器の登録が消去されます。

本機の BLUETOOTH® 機能を ON / OFF する

1. <メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[スマートフォン接続設定]→[BLUETOOTH設定]→[オプション]→[設定]をタッチする

2. [ON] / [OFF] をタッチする

本機をインターネットに Wi-Fi 接続(ステーションモード)する

スマートフォン／モバイル Wi-Fi ルーターなどのネットワークに本機をステーションモードで Wi-Fi 接続すると、下記の機能を利用できます。

- 名称(オンライン)
 - ➡ 施設の名称で探す(オンライン)
(P.50)
- ネット動画
 - ➡ ネット動画を見る(P.99)
- ソフトウェア・地図更新
 - ➡ インターネットに Wi-Fi 接続してソフトウェア・地図を更新する(P.75)
- レコーダーリンク
 - ➡ レコーダーリンクで自宅の録画番組を視聴する(P.96)

1. 接続機器側(スマートフォン／モバイルWi-Fiルーターなど)を操作して、Wi-Fiテザリングの設定をする

Wi-FiテザリングをONにします。

Wi-Fiテザリング設定から、ネットワーク名(SSID)とパスワードを確認します。

2. 本機の<メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[スマートフォン接続設定]→[Wi-Fi 設定]をタッチする

周辺のWi-Fi機器を検索し、検索結果がリストで表示されます。

3. 表示されたリストから、接続する機器を選んでタッチする

画面上部に表示されたWi-Fiモードが「ステーション」になっていることを確認してください。

➡ 本機のWi-Fiモードを切り替える (P.30)

手順1で確認したネットワーク名(SSID)を選択してください。

4. [パスワード]をタッチする

5. パスワードを入力し、[]をタッチする

手順1で確認したパスワードを入力してください。

[]：パスワードの文字を表示

6. [接続]をタッチする

スマートフォン／モバイルWi-FiルーターなどがWi-Fiネットワーク登録され、Wi-Fi接続されます。

※ 本機とWi-Fi接続中の機器がすでにある場合は、そちらの接続が解除されます。(登録は消去されません。)

[]：パスワードの文字を表示

知識

- 使用するスマートフォン／モバイルWi-Fiルーターなどが対応しているセキュリティ方式によっては、本機とWi-Fi接続できない場合があります。本機が対応するセキュリティ方式については下記をご覧ください。

➡ Wi-Fiの規格とセキュリティ方式について(P.203)

- スマートフォンのテザリングのご利用には事前のお申し込みが必要となり、利用料金は有料の場合があります。(キャリアや契約状況によって異なります)
- スマートフォン／モバイルWi-Fiルーターなどの操作はご利用の機器の取扱説明書をご覧ください。

- オプション画面からスマートフォン／モバイルWi-Fiルーターなどを本機に登録することもできます。＜メニュー＞スイッチを押して、[情報・設定]→[スマートフォン接続設定]→[Wi-Fi 設定]→[オプション]→[新規ネットワーク登録]をタッチしてください。

Wi-Fi 接続する機器を変更する

＜メニュー＞スイッチを押して、[情報・設定]→[スマートフォン接続設定]→[Wi-Fi 設定]をタッチして、接続したい機器をタッチする

選んだ機器が本機とWi-Fi接続されます。

※ Wi-Fi設定画面上部に表示されたWi-Fiモードが「ステーション」になっていることを確認してください。

➡ 本機のWi-Fiモードを切り替える (P.30)

※ 本機とWi-Fi接続中の機器がすでにある場合は、そちらの接続は解除されます。(登録は消去されません。)

Wi-Fiネットワーク登録を消去する

1. <メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[スマートフォン接続設定]→[Wi-Fi 設定]→[オプション]→[登録ネットワーク一覧]をタッチする

Wi-Fi設定画面上部に表示されたWi-Fiモードが「ステーション」になっていることを確認してください。

➡ 本機のWi-Fiモードを切り替える
(P.30)

2. 消去したい登録ネットワークをタッチする

3. [消去]をタッチする

選んだ機器のWi-Fiネットワーク登録が消去されます。

本機のWi-Fiモードを切り替える

1. <メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[スマートフォン接続設定]→[Wi-Fi 設定]→[モード変更]をタッチする

2. モードを選ぶ

[OFF]：Wi-Fi機能をOFFにします。

[ステーション]：

名称(オンライン)、ソフトウェア・地図更新(Wi-Fi接続)、ネット動画、レコーダーリンクを利用するためのモードです。

[アクセスポイント]：

Apple CarPlay／Android Auto とワイヤレス接続するためのモードです。

➡ 本機とiPhoneを接続する(P.138)

➡ 本機とAndroid スマートフォンを接続する(P.143)

※ Apple CarPlay／Android Auto に接続すると、本機のWi-Fiモードはステーションモード／OFFモードからアクセスポイントモードに自動で切り替わります。

※ アクセスポイントモードからステーションモードへの変更は手動で変更できます。

アクセスポイントモードの設定をする

通常は使用しません。

1. <メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[スマートフォン接続設定]→[Wi-Fi 設定]→[オプション]をタッチする

Wi-Fi設定画面上部に表示されたWi-Fiモードが「アクセスポイント」になっていることを確認してください。

➡ 本機のWi-Fiモードを切り替える
(P.30)

2. 各項目を設定する

SSID：変更できます。

セキュリティ：対応するセキュリティ方式を表示します。

パスワード：変更できます。

3. [決定]をタッチする

地図画面

地図画面の表示内容について	P.32
地図モード画面	P.34
ランチャー(LAUNCHER)	P.34
地点メニュー	P.34
案内ルート	P.35
走行軌跡	P.35
安心運転サポート情報	P.36
逆走注意アラーム	P.36
地図の操作	P.38
地図上のマークや記号について	P.45
地図画面の表示設定をする	P.46
自車位置設定(現在地の修正)をする	P.47
ランドマークの設定をする	P.47

目的地を探す

目的地までのルートを作るには	P.48
目的地を探す	P.49

ルート探索・案内

検索した施設を目的地・経由地に設定する	P.55
全ルート図から設定・確認する	P.55
ルートを編集する	P.56
ルート探索について	P.57
ルート案内中に	P.60

ルート探索の設定をする	P.62
ルート案内の設定をする	P.63
音声案内の設定をする	P.64
ルート案内のご注意	P.64

場所を登録する

登録地について	P.66
登録地リストを表示する	P.66
地点を登録する	P.66
登録地リストから目的地・経由地を設定する	P.66
登録地を消去する	P.67
登録地の情報を見る	P.67
登録地を編集する	P.67

交通情報を使う

VICS 情報を見る	P.69
FM 多重放送の選局をする(VICS 受信)	P.71
VICS 情報の表示を設定する(ナビチューン)	P.72

ソフトウェア・地図を更新する

地図更新について	P.73
インターネットにWi-Fi接続してソフトウェア・地図を更新する	P.75
パソコンを使用してソフトウェア・地図を更新する	P.77

地図画面の表示内容について

現在地の地図表示

＜現在地＞スイッチを押すと、現在地の地図を表示します。



① 方位ボタン／GPS受信表示

タッチすることにより地図の向きが切り替わります。

〔N〕 ノースアップ(北が上)

〔H〕 ヘディングアップ(進行方向が上)

現在地測位の状態

〔○〕 (白)：測位完了

〔●〕 (赤)：測位未完了(測位計算中)

② VICS タイムスタンプ

VICSの情報が提供された時刻を表示

➡ VICS タイムスタンプ(P.42)

タッチすると、近くの渋滞や交通規制などのVICS情報が案内されます。

(前方約10 km以内)

③ 到着時刻／残距離表示

ルート案内中に、目的地又は経由地までの距離と、到着する予想時刻が表示されます。

タッチすることにより、目的地と経由地が切り替わります。

④ 〔ランチャー〕

ランチャーを表示します。

➡ ランチャー(LAUNCHER)(P.34)

⑤ 縮尺表示

現在の縮尺を表示します。

〔W〕 (広域) 〔D〕 (詳細)で、地図の縮尺を切り替えられます。

➡ 縮尺を切り替える(P.39)

⑥ ダイレクトボタン

別売の三菱自動車オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーで手動録画／静止画撮影をします。

➡ ダイレクトボタンを表示する(P.46)

➡ 三菱自動車オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー(P.120)

⑦ ランドマーク

目印となる施設などが地図上にマークで表示されます。

➡ ランドマークの設定をする(P.47)

⑧ 自車マーク

自車位置と進行方向を表示します。

色と大きさを変更できます。

➡ 地図表示を設定する(ナビチューン)(P.46)

⑨ 道路名称

現在地の道路名称が表示されます。

⑩ 案内図切替ボタン

拡大図・案内図の表示／切替／消去に使用します。

➡ 拡大図・案内図表示を切り替える(P.42)

⑪ 方面看板表示

一般道を走行中に、交差点の方面看板と進むべき方向の矢印が表示されます。

➡ ルート案内の設定をする(P.63)

⑫ 通過交差点情報表示

直進する交差点について、通るべき車線情報を案内します。最大で2つ目の通過交差点まで表示します。

- ① 1つ目の通過交差点(緑色のマーク)
- ② 2つ目の通過交差点(橙色のマーク)

⑬ 分岐交差点情報表示

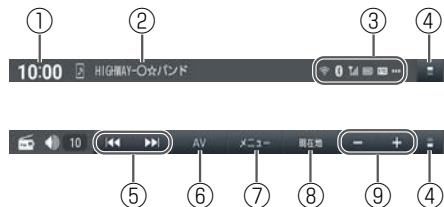
ルート上の右左折する交差点について、名称、交差点までの距離、通るべき車線を案内します。

⑭ ステータスバー

現在時刻・AV状態・外部機器の状態を表示します。また、本機を操作できます。

➡ ステータスバー(P.33)

ステータスバー



① 現在時刻

GPSで受信した現在時刻が表示されます。(未受信の場合は--:--と表示されます。)

※設定により非表示にできます。

➡ 時計表示を設定する(P.152)

② AV状態表示

選択中のAVソース、再生中のAV情報が表示されます。

③ 外部機器状態表示

別売のETC2.0車載器、スマートフォンなど、本機と接続された機器の状態が表示されます。

ETC状態表示

- ETC:有効なETCカードが挿入済
- ETC:ETCカード有効期限切れ
- ETC:利用不能(ETCカード未挿入など)

ソフトウェア・地図更新状態

- 更新データあり(準備完了)
- 更新用USBメモリーを接続
- (矢印が点滅):更新データ受信中、および更新準備中
- 受信失敗(更新準備中断・データ不備・通信切断)

- ハンズフリーフォンの電池残量(6段階)
- ハンズフリーフォンの電波状態(6段階)
- Wi-Fi(ステーションモード)の接続状態(5段階)
- Wi-Fi(アクセスポイントモード)に設定中

● BLUETOOTH®接続あり

● USB機器接続あり

④ ステータスバーの表示内容を切替

⑤ AV操作に使用

⑥ AV画面に切替

長押しすると、AVをON/OFFします。

⑦ トップメニューを表示

長押しすると、音声認識を起動します。
*1

⑧ 自転車位置(現在地)を表示

長押しすると、画質調整画面を表示します。

⑨ 音量を調整

* 1…Apple CarPlay / Android Auto を接続していないときは、BLUETOOTH®接続待機画面が表示されます。

➡ 本機とiPhoneを接続する(P.138)

➡ 本機とAndroidスマートフォンを接続する(P.143)

知識

- ステータスバーに表示しきれないアイコンがある場合、右端に[]が表示されます。
- 下方向へフリックまたはドラッグすると、現在の状態が一覧表示されます。[]が表示された項目は、タッチすると、各機能の設定画面などが表示されます。
- ハンズフリーフォンの電波状態や電池残量、Wi-Fiの接続状態は、スマートフォンに表示された状態と異なる場合があります。
- 画面によってはステータスバーが表示されない場合があります。

地図モード画面



- ① **カーソル**
地図の中心を表します。
- ② **現在地方向直線**
現在地の方向が直線が表示されます。
- ③ **← (戻る)**
1つ前の画面に戻ります。
- ④ **施設名称**
カーソルの地点に施設名の情報がある場合に表示されます。(＜メニュー＞スイッチを押して[≡]をタッチしてAll Appsから検索した施設に施設名称の情報がある場合のみ)
- ⑤ **地点名称**
カーソルの位置の住所が表示されます。
- ⑥ **マップコード**
カーソルの位置のマップコードが表示されます。
➡ マップコードで探す(P.53)
- ⑦ **設定**
地点メニューを表示します。
➡ 地点メニュー(P.34)

知識

- 地図モード画面で、地図の向き・縮尺・傾きを切り替えても、現在地画面に戻すと、もとの設定に戻ります。

ランチャー(LAUNCHER)

現在地画面で[≡]をタッチすると、ランチャーが表示されます。

地図表示・地点検索・地点登録・ルート探索・ルート案内に関する設定ができます。



表示されていない項目は、[<][>]をタッチするか、左右にフリック／ドラッグすると表示されます。

- [TUNE](チューン)
 - ー 地図表示を設定する(ナビチューン) ➡ P.46
 - ー ルート探索条件を設定する(ナビチューン) ➡ P.62
 - ー ルート案内を設定する(ナビチューン) ➡ P.63

ー VICS情報の表示を設定する(ナビチューン) ➡ P.72

- [ルート消去] ➡ P.49
- [案内スタート／案内ストップ] ➡ P.49
- [ルート編集] ➡ P.56
- [再探索] ➡ P.61
- [道路切替] ➡ P.47
- [周辺施設] ➡ P.54
- [右画面表示] ➡ P.41
- [地点登録] ➡ P.66
- [ランドマーク表示／ランドマーク非表示] ➡ P.47
- [ランドマーク設定] ➡ P.47

知識

- 拡大図表示中は、[≡]は表示されません。拡大図を非表示にしてから操作してください。
➡ 拡大図・案内図を消去するには(P.42)

地点メニュー

地図モード画面で[設定]をタッチすると、地点メニューが表示されます。

目的地・経由地・登録地などを設定したり、ランドマーク表示中の施設の詳細情報を見ることができます。

- [ここに行く] ➡ P.55
- [立寄る] ➡ P.55

- [地点登録] ➡ P.66
- [地点編集] ➡ P.67
- [周辺検索] ➡ P.54
- [閉じる]：地点メニューを終了します。



案内ルート



- ① 経路地マーク
経路地に設定した地点に表示されます。
➡ 検索した施設を目的地・経路地に設定する(P.55)

- ② 目的地マーク
目的地に設定した地点に表示されます。
➡ 検索した施設を目的地・経路地に設定する(P.55)
- ③ 案内ルート
目的地までの案内ルートが表示されます。
高速道路や有料道路は青色、一般道路は水色、細街路はピンク色で表示されます。
- ④ 目的地方向直線
現在地から見た目的地の方向が、直線に表示されます。
到着時刻／残距離を表示している目的地(経路地)までの方向が表示されます。
表示する／しないの設定ができます。
➡ 地図画面の表示設定をする(P.46)

走行軌跡

自車が走行した軌跡を記録し、地図上に青い▲で表示します。(約50 mおきに、約1 000 kmまで)



知識

- 走行軌跡が表示される間隔は、地図の縮尺によって異なります。
- 約1 000 kmを超えると、古い軌跡から消去されます。
- 表示する／しないの設定ができます。
➡ 地図画面の表示設定をする(P.46)
- 走行軌跡が記録されるのは、[走行軌跡表示]が[ON]に設定されているときのみです。
- [走行軌跡表示]を[OFF]に設定すると、走行軌跡を非表示にして、記録を停止しますが、走行軌跡の記録そのものは消去されません。再度[ON]に設定すると、続きから走行軌跡の記録を開始します。
- デモ走行中は軌跡の記録を行いません。
- 走行軌跡の記録を消去できます。
➡ 地図画面の表示設定をする(P.46)

安心運転サポート情報

運転中の状況に応じて表示と音声で注意を促し、運転をサポートします。
各案内は、ON(する)/OFF(しない)の設定ができます。

👉 ルート案内を設定する(ナビチューン)(P.63)

必ず実際の道路状況や交通規制標識・標示などに従って運転してください。

■案内内容について

音声案内の「**太字の下線**」部は、走行するルートによって案内が異なります。

状況	表示	音声
高速道路で注意の必要な合流地点に近づく(合流案内)		この先、 左から の合流車両に注意してください。
踏切付近では(踏切案内)*1*2		この先、踏切です。
一般道の専用レーンに近づく(専用レーン案内)*1	表示なし	この先、 左折 専用車線に注意してください。

*1…情報のある区間・地点のみ

*2…踏切手前の道路の形状や走行する経路によっては、案内されない場合があります。

📖 知識

- 複数の安心運転サポート情報がある地点では、情報のいずれか1つが案内されます。
- 隣接する並行な道路があるときや高架下/立体交差などを走行する際に自車位置を誤認して、案内されなかったり、案内が実際と異なる場合があります。
- 車両に「標識認識機能」がある場合、本機の案内と車両側に表示される情報が異なる場合があります。
- 地図データの整備状況や走行中の状況などにより案内されなかったり、案内が実際と異なる場合があります。

逆走注意アラーム

■SA/PAに駐車したときは

駐車して車のエンジンを切ったあと再度エンジンをかけ発進させると、逆走しないよう事前に注意を促します。

👉 ルート案内の設定をする(P.63)



■ 高速道路や料金所などを逆走しているときは

高速道路の出口部などで逆走を検知すると、逆走のおそれがある旨を警告案内します。

- ➡ ルート案内の設定をする (P.63)
- ➡ 逆走注意アラームについて (P.37)



[ここでは案内しない]に✓印を付けると、次回からその地点での逆走注意アラームは案内されなくなります。

■ 逆走注意アラームを消去するには [解除]をタッチする

⚠ 注意

- 高速道路での逆走注意アラームは、状況によって案内しないことや、案内の内容が実際の状況と異なることがあります。実際の道路状況を確認のうえ、安全に走行してください。
- 高速道路上で逆走をしてしまった場合は安全を確保したうえで、高速道路上に設置された非常電話などで指示を受けるようにしてください。

📖 知識

- 都市高速・都市間高速道路などで案内されます。
- SA/PAによっては、案内されない場合があります。
- すべての場所、すべての場合での逆走検知を保証するものではありません。
- [出荷状態に戻す]の操作を行うと、[ここでは案内しない]の設定もお買い上げ時の状態に戻ります。
- ➡ 各種設定をお買い上げ時の状態に戻す (P.158)

逆走注意アラームについて

■ 下記のような場合などでは、逆走していても逆走注意アラームでの案内を行わないことがあります。

- 本機の地図に収録されていない道路、または形状が変わった道路を走行しているとき
- 形状が複雑なIC付近を走行しているとき
- スマートICのあるSA/PA、その他特定のSA/PA内を走行しているとき
- 本機が故障している、または車両信号情報が正常でないとき
- GPSアンテナ上に障害物があり、GPS信号が正常に受信できていないとき
- トンネル、高架橋、高層ビルなどの遮蔽物により、GPS信号が正常に受信できていないとき
- 本機の地図画面上の自転車マークの位置と、実際の自転車位置が違うとき
- 直前に自転車位置、または方位の補正が行われたとき
- 急なUターンをしたとき
- 対面通行など、順走/逆走の判別が困難な道路
- 以前、逆走注意アラームが表示された地点で[ここでは案内しない]に✓印を付けていた場合

■下記のような場合などでは、逆走していても逆走注意アラームでの案内を行うことがあります。

- 本機の地図に収録されていない道路、または形状が変わった道路を走行しているとき
- 本機の地図画面上の自車マークの位置と、実際の自車位置が違うとき
- 本機が故障している、または車両信号情報が正常でないとき
- 駐車スペースがある料金所、または手前でUターン可能な料金所でUターンをしたとき
- 警察や道路管理会社の誘導によりUターンをしたとき

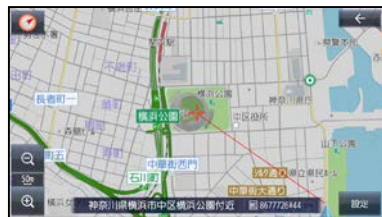
地図の操作

地図を動かす(スクロール)

タッチ、フリック、ドラッグ操作で地図をスクロールできます。

■タッチでスクロールする

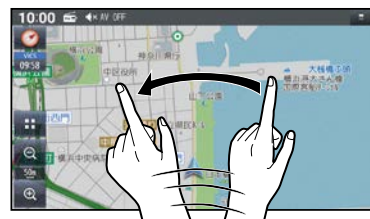
地図画面をタッチする



タッチした地点が画面の中心になります。

■フリックでスクロールする

スクロールしたい方向にフリックする



フリックした方向にスクロールします。

■ドラッグでスクロールする

スクロールしたい方向にドラッグする



指の動きに合わせてスクロールします。

知識

- 地図モード画面で、地図の向き・縮尺を切り替えても、現在地画面に戻すと、もとの設定に戻ります。
- 走行中は、フリック／ドラッグによるスクロールはできません。また走行中、市街地図が表示されている場合は、タッチによるスクロールもできません。
- フリック／ドラッグでスクロール中は、画面上で他の操作はできません。
- 指の動きより遅れてスクロールする場合があります。

縮尺を切り替える

タッチ、2点タッチ／ダブルタップ、ピンチ操作で縮尺を切り替えられます。

■ボタンをタッチして縮尺を切り替える

[🔍] (広域) [📍] (詳細) をタッチする



タッチし続けると、ズームアウト／ズームインのイメージで縮尺が切り替わります。

■2点タッチ／ダブルタップで縮尺を切り替える

広域に切り替えるには

- 2点タッチする



詳細に切り替えるには

- ダブルタップする



■ ピンチで縮尺を切り替える

広域に切り替えるには

- ピンチインする



詳細に切り替えるには

- ピンチアウトする



知識

- 走行中にピンチ操作で縮尺を切り替えることはできません。

傾きを調整する

地図上で上下方向に2点ドラッグすると3D表示になります。

上下方向に2点ドラッグする

- 上方向に2点ドラッグ(傾きが徐々に大きくなる)



- 下に2点ドラッグ(傾きが徐々に小さくなる)



地図を回転させる

回転させたい方向に回転ドラッグする



指の動きに合わせて回転します。

右画面表示をする

■ 画面の右側に地図を表示する

＜現在地＞スイッチを押して、[]をタッチし、ランチャーから[右画面表示]→[地図]をタッチする

画面の右側に地図が表示されます。



■ 現在地画面にAVソースの映像を表示する

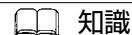
現在地画面に、HDMI、TV、USB(動画)、ドライブレコーダー、レコーダーリンク、ネット動画の映像を表示できます。

＜現在地＞スイッチを押して、[]をタッチし、ランチャーから[右画面表示]→[映像]をタッチする



■ 右画面表示を消去するには

＜現在地＞スイッチを押して、[]をタッチし、ランチャーから[右画面表示]→[OFF]をタッチする



知識

- 走行中および拡大図表示中は、右画面表示は消去されます。
- AVソースの映像をタッチすると、全画面で表示されます。

SA／PAの情報を表示する

ハイウェイモードからSA／PAをタッチする



SA／PAの情報が表示されます。
[閉じる]をタッチすると消去されます。

拡大図・案内図表示を切り替える

1. 現在地画面から、[拡大図]をタッチする



表示できる拡大図・案内図が無い場合は、ボタンは表示されません。

2. 切り替えたい拡大図・案内図を選んでタッチする

選んだ拡大図・案内図に切り替わります。

■ 拡大図・案内図を消去するには

拡大図・案内図を、右にフリックする
拡大図・案内図が消去されます。

[閉じる]をタッチして、拡大図・案内図を消去することもできます。

■ 表示できる拡大図・案内図が1つだけのときは

[拡大図]／[案内図]をタッチすると、表示／非表示が切り替わります。

フリック操作で拡大図・案内図を消去することもできます。

地図上に表示されるVICS情報(レベル3)

渋滞、規制、駐車場、SA／PA情報(レベル3)を受信すると、自動的に表示されます。

■ VICS タイムスタンプ

情報が提供された時刻を表示します。(受信した時刻ではありません。)



VICSタイムスタンプにタッチすると、渋滞・規制のある地点(直近)のVICS情報が案内されます。

- ・ルート案内中：ルート上の情報
- ・ルート未設定：自車の進行方向の情報

知識

- 遠方の渋滞情報は案内されません。

■ハイウェイモード時は



- ① 規制情報：区間ごとにマークを表示(2件まで)
- ② 渋滞・混雑区間：道路を色分けして表示

色	区間ごとの渋滞情報	渋滞度
赤		渋滞
橙		混雑
緑		渋滞なし
灰		情報なし

※各区間をさらに3分割して表示します。

■車線ごとの渋滞情報表示

車線ごとの渋滞情報が、色分けして地図上に表示されます。(該当の情報が配信されているエリアのみ)配信エリアについてはVICSセンターのWebサイト(<https://www.vics.or.jp/>)をご覧ください。

色	車線ごとの渋滞情報	渋滞度
赤		渋滞
橙		混雑
緑		渋滞なし



■気象・災害情報表示

気象(1時間あたり50mm以上の大雨など)の情報を受信すると、地図にVICS タイムスタンプが表示され、対象となる範囲が薄い黄色で表示されます。



知識

- 地図の縮尺によってはVICS情報の範囲表示(黄色の透過色)が、地図画面全体になる場合があります。地図の縮尺を広域に変更すると、対象エリアの範囲を確認できます。

■渋滞情報

色分けして地図上に表示されます。(該当の情報が配信されているエリアのみ)配信エリアについてはVICSセンターのWebサイト(<https://www.vics.or.jp/>)をご覧ください。

色	リアルタイム情報		統計情報	渋滞度
	渋滞情報	リアルプロープ情報		
赤			=====	渋滞
橙			=====	混雑
緑			=====	渋滞なし
灰			=====	不明

表示する／しないを設定できます。

➡VICS情報の表示を設定する(ナビチューン)(P.72)

渋滞情報(リアルタイム情報)

道路に設置の車両感知器などで収集した現在の情報

リアルプロープ情報(リアルタイム情報)

タクシーなどから収集した現在の情報

統計プローブ情報(統計情報)

タクシーなどから収集した情報のデータを統計処理し、渋滞を予測した情報

※プローブ情報とは

走行している車から直接収集される「位置」と「時刻」のデータ(走行履歴)です。

■ 駐車場マーク・SA / PA マーク

色	一般駐車場	SA	PA	状態
青				空車
橙				混雑
赤				満車
黒				不明
赤				閉鎖

表示する／しないを設定できます。

➡ VICS 情報の表示を設定する(ナビチュール)(P.72)

■ VICS 情報マーク(例)

道路上の事象・規制がマークで表示されます。

マーク	内 容	マーク	内 容
	事故		チェーン規制
	故障車		凍結
	路上障害		速度規制
	工事		徐行
	作業		進入禁止
	片側交互通行		通行止め
	対面通行		大型通行止め
	車線規制		雨
	入口制限		雪
	入口閉鎖		災害速報
	行事等		気象警戒情報
	火災		特別警報

マークの内容を確認できます。

➡ 事象・規制 マークの内容を確認する(P.71)

表示する／しないを設定できます。

➡ VICS 情報の表示を設定する(ナビチュール)(P.72)

地図上のマークや記号について

地図データの整備上、すべての施設等を表示していません。改善のため予告なく変更することがあります。

地図表示記号(例)

* 1…SA・PA接続型のスマートICは表示されません。

地図画面の表示設定をする

地図に表示される内容を設定する(ナビ設定)

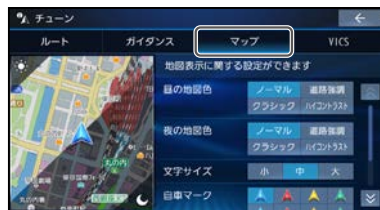
1. <メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[ナビ情報・設定]→[ナビ設定]をタッチする
2. [表示設定]をタッチして、各項目を設定する

[ランドマーク設定]	地図画面に表示するランドマークを選択できます。 ➡表示するランドマークを選ぶ(P.47)
[走行軌跡を表示]	[ON]: 走行軌跡を表示する [OFF]: 走行軌跡を表示しない ➡走行軌跡(P.35)
[走行軌跡の記録を消去する]	[走行軌跡の記録を消去する]→[はい]: 走行軌跡の記録を消去する ➡走行軌跡(P.35)
[目的地方向を表示]	[ON]: 目的地方向直線を表示する [OFF]: 目的地方向直線を表示しない ➡案内ルート(P.35)

[自車位置修正]	自車位置を修正できます。(通常は、この操作は必要ありません) ➡自車位置設定(現在地の修正)をする(P.47)
----------	--

地図表示を設定する(ナビチューン)

1. <メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[ナビ情報・設定]→[チューン]をタッチする
2. [マップ]をタッチして、各項目を設定する



昼の地図色／夜の地図色

- [ノーマル]: 標準的な地図
- [道路強調]: 道路を見やすく強調した地図
- [クラシック]: 従来のように道路を色分けした地図*1
- [ハイコントラスト]: タ暮れや夜間などの暗い車内でも見やすいようにコントラストを高くした地図

文字サイズ[小／中／大] 地図の文字サイズ

自車マーク

- 色: 青／赤／黄／緑
- 大きさ: 大／小

昼夜切替

地図色を切り替えるタイミングを設定できます。

- [時刻連動]: 日の出／日の入時刻に連動
- [ライト連動]: ライトの点灯／消灯に連動
- [昼画面]: 常に昼画面を表示
- [夜画面]: 常に夜画面を表示

* 1…道路の色分け(昼画面の場合)

〈 〉内が[クラシック]の色分けです。

- 緑系(青系): 高速道路、有料道路
- 茶系(赤系): 国道
- 茶系(緑系): 主要地方道、県道
- 灰系(灰系): 一般道、細街路(道幅5.5 m未満)
- 青(破線): フェリー航路

ダイレクトボタンを表示する

別売の三菱自動車オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーを接続している場合、撮影ボタンの表示を設定できます。

<メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[システム情報・設定]→[ダイレクトボタン設定]をタッチして設定する

- [ドライブレコー 動画録画ボタンを表示する]
- [ドライブレコー 静止画撮影ボタンを表示する]
- [表示しない]: ダイレクトボタンを表示しない

自転車位置設定(現在地の修正)をする

通常は、この操作は必要ありません。

1. <メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[ナビ情報・設定]→[ナビ設定]→[表示設定]→[自転車位置修正]をタッチする

2. 位置を調整し、[決定]をタッチする
縮尺を詳細側にしておくと、より正確に自転車位置を修正できます。



3. [方向] [回転] で自転車マークを進行方向に合わせ、[決定]をタッチする



走行中の道路を誤って認識したとき(道路切替)

高速道路と一般道路が隣接しているときは、道路を取り違えることがあります。(例えば、自車が高速道路を走行中なのに自転車マークは一般道路を走行中と表示されている場合など)このような場合に、地図のマッチングを手動で切り替えて、正しい位置に修正します。

<現在地>スイッチを押して、[道路切替]をタッチし、ランチャーから[道路切替]をタッチする

そのまましばらく走行すると、自転車位置の道路(高速道路／一般道路)を切り替えて再探索されます。

道路切替は、隣接する並行な道路を対象としています。一般道路同士の切り替えはできません。

ランドマークの設定をする

表示するランドマークを選ぶ

最大300件選択できます。

1. <現在地>スイッチを押して、[ランチャー]をタッチし、ランチャーから[ランドマーク設定]をタッチする

ランドマーク設定画面が表示されます。

2. 表示させたいランドマークを選んでタッチし、✓印を付ける

タッチするごとに、ON／OFFが切り替わります。

右側に[>]が表示された項目は、さらに詳細に選ぶことができます。

[全解除]をタッチするとすべての項目の✓印を外します。

ランドマークを表示する

ランドマーク設定画面から[ランドマーク表示]の[ON]をタッチする

ランドマークが表示されます。

ランドマークを非表示にするには

ランドマーク設定画面から[ランドマーク表示]の[OFF]をタッチする

ランドマークが非表示になります。

知識

- ランチャーから[ランドマーク表示]／[ランドマーク非表示]をタッチしても、表示・非表示を切り替えられます。
- 📖 ランチャー(LAUNCHER)(P.34)

目的地までのルートを作るには

1. 検索方法を選んでタッチする

● トップメニュー



● All Apps(全機能一覧)



[周辺施設] ➡P.54

[自宅] ➡P.52

[ジャンル] ➡P.53

[住所] ➡P.53

[電話番号] ➡P.51

[登録地] ➡P.52

[マップコード] ➡P.53

[名称] ➡P.49

[名称(オンライン)] ➡P.50

[履歴] ➡P.51

2. 場所や施設を検索する

検索方法によって、表示される画面やタッチできるボタンは異なります。



① 50音順で並んだリストに表示されます。

- 行(あ→か→さ→た→な…)ごとにリストを切り替えます。

- 同じボタンを連続してタッチすると、段(あ→い→う→え→お)を切り替えます。

② 上下にリストをスクロールします。

- リストをフリック／ドラッグしてもスクロールできます。(必ず、リストの内側をフリック／ドラッグしてください。)

3. リストから施設を選び、[決定]をタッチする

選んだ施設に出入り口や駐車場などの地点情報がある場合、さらに詳細な地点のリストが表示されます。

4. 地点メニューから[ここに行く]をタッチする



ルート探索を開始します。

[施設詳細]：検索した施設に詳細情報がある場合に表示されます。タッチすると、施設の詳細情報が表示されます。

地点メニューのその他の操作については下記をご覧ください。

➡ 地点メニュー(P.34)

目的地を探す

5. ルート探索が完了し、全ルート図が表示されたら、**[案内スタート]**をタッチする案内を開始します。

車を発進させても案内を開始します。

全ルート図で**[案内スタート]**以外のボタンを操作すると、車を発進させても案内は開始しません。



- ① ルート上の高速出入口を表示
② 探索条件・走行距離・所要時間・料金を表示

ルート案内を中止する

1. <メニュー>スイッチを押して、**[ルート]**をタッチする
2. 全ルート図から**[案内ストップ]**をタッチする

ルート案内を中止し、地図画面のルート表示を消去します。

ルートそのものは消去されません。(全ルート図のルート表示も消去されません。)

■ ルート案内を再開するには

ルート案内中止中に、全ルート図から**[案内スタート]**をタッチする

ルート案内が再開されます。

ルートを消去する

全ルート図から**[ルート消去]**→**[はい]**をタッチする

ルートそのものが削除されます。

目的地を探す

施設の名称で探す

1. <メニュー>スイッチを押して、**[施設名]**をタッチし、**All Apps**から**[名称]**をタッチする

トップメニューの**[名称]**でも操作できます。

2. 名称を入力し、**[検索]**をタッチする

ひらがなのみ入力できます。

入力履歴から候補を5件まで表示します。

[X]：1文字削除

[候補]：入力履歴をリストで表示

- リストから候補をタッチすると、その内容が入力欄に入力されます。
- **[全候補初期化]**をタッチすると、すべての入力履歴が消去されます。

候補が10,000件を超える場合、メッセージが表示されます。**[OK]**をタッチすると、現在地から近い順に10,000件まで表示されます。

3. リストから施設を選び、**[決定]**をタッチする

[←]：入力した名称を修正

地図が表示されます。

➡ 検索した施設を目的地・経路地に設定する(P.55)

■ 施設を絞り込む

地域で絞り込むには

1. **[絞込み]**→**[地域]**をタッチする
2. **[都道府県]**→**[市区町村]**をタッチする
[全国]：地域絞り込みを解除

ジャンルで絞り込むには

1. **[絞込み]**→**[ジャンル]**をタッチする
2. 絞り込むジャンルをタッチする
[全ジャンル]：ジャンル絞り込みを解除

知識

- 施設名の一部や略称では検索できない場合があります。
- 「ヴ」は入力できません。「ウ」で置き換えて入力してください。
例：「ヴィーナス」
→「ういーなす」

施設の名称で探す(オンライン)

本機をインターネットにWi-Fi接続して、施設のキーワードを入力することで、最新の施設情報を検索できます。

あらかじめ本機をインターネットにWi-Fi接続(ステーションモード)してください。

➡ 本機をインターネットにWi-Fi接続(ステーションモード)する(P.28)

1. <メニュー>スイッチを押して、**[≡]** をタッチし、**All Apps**から**[名称(オンライン)]**をタッチする

トップメニューの[名称(オンライン)]でも操作できます。

初めてご使用になるときは、利用規約同意画面が表示されます。規約をお読みになり、[同意]を選べると、本機能をご使用いただけます。

2. 「エリア・駅」の枠をタッチする

キーボードが表示されます。

履歴がある場合は、100件までリストに表示されます。



[現在地]：現在地周辺の施設を検索

[履歴全消去]：履歴を消去

[≡] / [✕]：キーボード表示／消去

[×]：エリア・駅の入力内容を削除

3. エリア・駅を入力する

リストに候補が最大300件表示されます。
(エリア：最大200件、駅：最大100件)

4. 表示された候補リストからエリア・駅を選ぶ

エリア・駅が確定します。

5. 「キーワード」の枠をタッチする

キーボードが表示されます。

履歴がある場合は、100件までリストに表示されます。



[履歴全消去]：履歴を消去

[×]：キーワードの入力内容を削除

6. キーワードを入力して、**[✓]**をタッチする

検索結果リストに施設の候補が最大500件表示されます。

[検索]を選んでも検索できます。

7. キーワードを検索結果リストから選ぶ

8. 施設を検索結果リストから選び、**[決定]**をタッチする

[現在地から近い順]：現在地から近い順に並べ替え

[施設詳細]：施設の情報を表示(情報がある場合)

地図が表示されます。

➡ 検索した施設を目的地・経路地に設定する(P.55)

知識

- ご利用時には通信費用がかかります。
- 本機が接続しているインターネットの回線速度が十分でない場合、検索できないことがあります。
- 本機がGPS信号を受信できない場合、検索できないことがあります。
- エリア・駅を入力しない場合、全国を対象に検索されます。
- キーワードをスペースで区切ると、複数のキーワードから検索できます。
- 「キーワード」ボックスに1文字以上入力されていない場合、検索できません。
- 「キーワード」ボックスに入力したキーワードによっては、意図した検索結果が表示されない場合があります。
- 手順4で候補リストからエリア・駅を選ばない場合、エリア・駅が確定せず、キーワード検索で意図した結果が表示されない場合があります。
- 施設の詳細画面に二次元コードが表示されている場合、スマートフォンなどで読み取って詳細情報を確認できます。
- サービス提供の都合または仕様変更により、サービスが予告なく変更・停止・終了する場合があります。

電話番号で探す

1. <メニュー>スイッチを押して、 をタッチし、All Appsから[電話番号]をタッチする
 トップメニューの[電話番号]でも操作できます。
2. 電話番号を市外局番から入力し、 をタッチする
 : 1文字削除
 該当する施設が複数ある場合は、リストから選んでください。
 地図が表示されます。
 ➡ 検索した施設を目的地・経由地に設定する(P.55)

知識

- 電話番号から個人宅を検索できません。
- 電話番号が一部しかわからない場合は、検索できません。

目的地・経由地の履歴から探す

1. <メニュー>スイッチを押して、 をタッチし、All Appsから[履歴]をタッチする
 トップメニューの[履歴]でも操作できます。
 以前目的地・経由地に設定した場所のリストが新しい順に100件まで表示されます。
2. リストから履歴を選び、[決定]をタッチする
 地図が表示されます。
 ➡ 検索した施設を目的地・経由地に設定する(P.55)

知識

- 履歴は100件まで自動的に保存され、100件を超えると古いものから自動的に削除されます。

目的地・経由地の履歴を手動で消去するには

1. 履歴のリストから をタッチする
2. 消去したい履歴を選んで✓印を付け、[消去]→[はい]をタッチする
 選んだ履歴が消去されます。
 [全選択]をタッチするとすべての履歴に✓印を付けます。

自宅へ帰る

あらかじめ自宅を登録しておく必要があります。

➡ 自宅を登録する(P.24)

<メニュー>スイッチを押して、**[]**をタッチし、**All Apps**から**[自宅]**をタッチする

トップメニューの**[自宅]**でも操作できます。
現在地から自宅までのルートが探索され、全ルート図が表示されます。

➡ 検索した施設を目的地・経由地に設定する(P.55)

登録地から探す

あらかじめ地点を登録しておく必要があります。

➡ 地点を登録する(P.66)

1. <メニュー>スイッチを押して、**[]**をタッチし、**All Apps**から**[登録地]**をタッチする

トップメニューの**[登録地]**でも操作できます。

2. **リストから登録地を選び、[決定]をタッチする**

[登録順(昇順)]: 登録された順に昇順で表示

[登録順(降順)]: 登録された順に降順で表示
地図が表示されます。

➡ 検索した施設を目的地・経由地に設定する(P.55)

地図の中心地点周辺の施設を探す

地図の中心地点の施設を検索できます。

1. **地図をスクロールして、検索範囲の中心にカーソルを合わせ[設定]をタッチする**

2. **地点メニューから[周辺検索]をタッチする**

3. **ジャンル→中分類→小分類を選んで✓印を付け、[検索]をタッチする**

リストに[>]が表示された項目は、さらに詳細に選ぶことができます。

チェックボックスのある中分類・小分類は、複数の項目を選ぶことができます。
選んだ項目には、✓印が付きます。

[全選択]をタッチするとすべての項目に✓印を付けます。

[全解除]をタッチするとすべての項目の✓印を外します。

4. **リストから施設を選び、[決定]をタッチする**

地図が表示されます。

➡ 検索した施設を目的地・経由地に設定する(P.55)

住所で探す

1. <メニュー>スイッチを押して、をタッチし、**All Apps**から[住所]をタッチする

トップメニューの[住所]でも操作できます。

2. 都道府県→市区町村→町名→丁目を順に選んでタッチする

市区町村を選んだあと、大字・小字を選ぶ場合があります。

住所が部分的にしかわからないときは、[代表地点]をタッチすると、その地域の地図を表示します。

3. 数字キーで番地・号を入力し、[検索]をタッチする

番地・号は、「-」で区切ってください。

: 1文字削除

リストから番地・号を選ぶこともできます。

地図が表示されます。

- ④ 検索した施設を目的地・経由地に設定する(P.55)

ジャンルから探す

ジャンルから施設を検索できます。(最大100件)

- ④ 表示できる施設(P.197)

1. <メニュー>スイッチを押して、をタッチし、**All Apps**から[ジャンル]をタッチする

トップメニューの[ジャンル]でも操作できます。

2. ジャンル→中分類→小分類を順に選んでタッチする

リストに[>]が表示された項目は、さらに詳細に選ぶことができます。

3. 検索する範囲の中心となる地点を選んでタッチする

[現在地周辺]: 地図の周辺の施設

[目的地周辺]: 目的地周辺の施設*¹

[ルート沿い]: ルート沿いの施設*¹*²

[都道府県]: 選んだ地域の施設*³

* 1…ルート案内中のみ

* 2…現在地からルート沿いに左右約100 m、進行方向に約10 km以内を検索

* 3…都道府県・市区町村を選択してください。

4. リストから施設を選び、[決定]をタッチする

選んだ施設に出入口や駐車場などの地点情報がある場合、さらに詳細な地点のリストが表示されます。

地図が表示されます。

- ④ 検索した施設を目的地・経由地に設定する(P.55)

マップコードで探す

マップコードとは、数字で地図上の位置を表すコードで、施設などの位置を示すためにガイドブックなどに掲載されているコードです。

1. <メニュー>スイッチを押して、をタッチし、**All Apps**から[マップコード]をタッチする

トップメニューの[マップコード]でも操作できます。

2. マップコードを入力し、をタッチする

地図が表示されます。

- ④ 検索した施設を目的地・経由地に設定する(P.55)

知識

- 本機は高分解能マップコードにも対応しています。(マップコードHR)

周辺の施設から探す

現在地、目的地周辺や、ルート沿いの施設を検索できます。(最大100件)

➡ 表示できる施設(P.197)

1. <メニュー>スイッチを押して、をタッチし、All Appsから[周辺施設]をタッチする

トップメニューの[周辺施設]でも操作できます。

2. 検索方法を選んでタッチする

[現在地周辺]：地図の中心周辺の施設

[ルート沿い]：ルート沿いの施設*1*2

[目的地周辺]：目的地周辺の施設*2

*1…現在地からルート沿いに左右約100 m、進行方向に約10 km以内を検索

*2…ルート案内中のみ

3. ジャンル→中分類→小分類を順に選んで✓印を付け、[検索]をタッチする

中分類・小分類は、複数の項目を選ぶことができます。選んだ項目には、✓印が付きます。

リストに[>]が表示された項目は、さらに詳細に選ぶことができます。

[全選択]をタッチするとすべての項目に✓印を付けます。

[全解除]をタッチするとすべての項目の✓印を外します。

4. リストから施設を選んでタッチして、[決定]をタッチする

地図が表示されます。

➡ 検索した施設を目的地・経由地に設定する(P.55)

検索した施設を目的地・経由地に設定する

1. 地点を検索する

検索した地点の地図が表示されます。

検索方法については下記をご覧ください。

⑨ 目的地を探す (P.49)

2. (目的地に設定する場合) [ここに行く] をタッチする

カーソルの地点を目的地に設定してルート探索を開始し、完了後、全ルート図が表示されます。

ルートが設定されている場合、前のルートは削除されます。

(経由地に設定する場合) [立寄る] をタッチする



カーソルの地点が経由地に設定されます。

3. (手順2で [ここに行く] をタッチした場合のみ) 全ルート図から、探索条件を選んでタッチする

5つの探索条件から選べます。

⑩ 探索条件について (P.57)

([立寄る] を選んだ場合のみ) 経由地を追加する区間の [+] をタッチする

選んだ区間に経由地を追加し、ルート探索を開始し、完了後、全ルート図が表示されます。

経由地の順番は入れ替えられます。

⑪ 経由地・目的地の順番を並べ替える (P.57)

4. [案内スタート] をタッチする

ルート案内を開始します。

走行を始めても、ルート案内を開始します。

全ルート図を表示後、他の画面を表示しても、ルート案内を開始します。

[ルート編集] : ルートを編集します。

⑫ ルートを編集する (P.56)

[ルート消去] : ルートを消去します。

⑬ ルートを消去する (P.49)

[デモ走行] : デモ走行を開始します。

⑭ デモ走行でルートを確認する (P.56)



知識

- 最終の目的地までルート探索をしてから経由地を設定してください。
- 経由地・目的地の近くに有料道路がある場合は、有料道路上に経由地・目的地を設定するかを確認するメッセージが表示されます。

全ルート図から設定・確認する

手動で全ルート図を表示させる

ルート案内中に、手動で全ルート図を表示させることができます。

<メニュー>スイッチを押して、[ルート] をタッチする

全ルート図が表示されます。

知識

- 上記の方法では探索条件を選べません。ルート編集画面から設定してください。
- ⑫ ルートを編集する (P.56)

デモ走行でルートを確認する

探索したルートを実際に走行する前にルートを確認できます。

全ルート図から、**[デモ走行]**をタッチするデモ走行を開始します。

[1 倍速]：デモ走行の走行速度を変更する。タッチするたびに、[2 倍速]→[4 倍速]→[1/2 倍速]→[1 倍速]と速度が変化します。

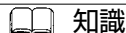
：デモ走行を一時停止する。

：デモ走行を再開する。

デモ走行を終了するには

デモ走行中に、**[デモ走行中止]**をタッチするデモ走行を終了します。

<AV><メニュー><現在地>を押してもデモ走行を中止します。



知識

- 走行速度が2倍速または4倍速のときは、ルート音声案内されません。

ルートを編集する

1. <メニュー>スイッチを押して、**[ルート]**をタッチし、全ルート図から**[ルート編集]**をタッチする

2. **ルートを編集する**

ルート編集画面から編集できる内容

- 経由地・目的地の追加・削除
- 経由地・目的地の順番の並べ替え
- 各区間の探索条件の変更

3. **[探索開始]**をタッチする

編集した条件でルート探索を開始し、完了後、全ルート図が表示されます。

➡ 探索した施設を目的地・経由地に設定する(P.55)

経由地を追加・消去する

■ 経由地を追加する

1. ルート編集画面から**経由地を追加したい区間の[+]**をタッチする

2. **経由地にしたい場所を検索する**

➡ 目的地を探す(P.49)

[出発地付近]：出発地付近の地図を表示

[目的地付近]：目的地付近の地図を表示

[地図]：最後に表示していた地図を表示

3. **[立寄る]**をタッチする

検索した地点が経由地として追加されます。

■ 経由地を消去する

1. ルート編集画面から、消去したい**経由地**をタッチする

2. **[地点消去]→[はい]**をタッチする

選択した経由地が消去されます。

目的地を追加・消去する

■ 目的地を追加する

1. ルート編集画面から、**[目的地追加]**をタッチする

2. **目的地にしたい場所を検索する**

➡ 目的地を探す(P.49)

[出発地付近]：出発地付近の地図を表示

[目的地付近]：目的地付近の地図を表示

[地図]：最後に表示していた地図を表示

3. **[ここに行く]**をタッチする

検索した地点が目的地として追加されます。

前の目的地は、目的地の直前の経由地になります。

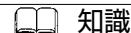
■ 目的地を消去する

1. ルート編集画面から、**目的地**をタッチする

2. **[地点消去]→[はい]**をタッチする

目的地が消去されます。

消去した目的地の直前の経由地が、新しい目的地になります。

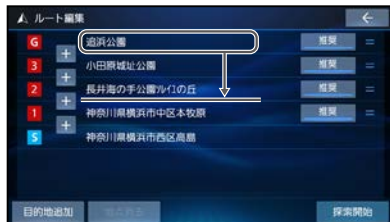


知識

- 目的地を消去できるのは、ルートに経由地がある場合のみです。

経路地・目的地の順番を並べ替える

ルート編集画面から、経路地・目的地をドラッグして、順番を並べ替える



希望の順番になるまで、ドラッグ操作を繰り返して並べ替えてください。

区間ごとの探索条件を変更する

1. ルート編集画面から変更したい探索条件を選んでタッチする
2. 探索条件をタッチする
タッチした探索条件に切り替わります。
➡ 探索条件について (P.57)

ルート探索について

探索条件について

[推奨]

高速道路・有料道路／一般道路の使用を自動で判断したルート(通常は[推奨]で探索します。)

[有料優先]

高速道路・有料道路を優先して通るルート

[一般優先]

一般道路を優先して通るルート

[エコ]

燃料消費量と有料道路料金をトータルで節約するルート

[距離優先]

距離が短くなるルート

知識

- [一般優先]で探索しても、有料道路を含むルートを探査する場合があります。
- 探索条件を変更するには下記をご覧ください。
➡ 区間ごとの探索条件を変更する (P.57)
- [エコ]で探索したルートを走行しても、道路条件や運転のしかたで、燃料消費量が多くなる場合があります。
- 表示金額は、割引などにより実際に請求される金額とは異なる場合があります。

ルート学習について

ルート案内中に同じ道で自動再探索が何度か起きると、実際に走行した道を学習してルート探索に反映されるようになります。([距離優先]での探索を除く)

- 学習した道を探査に反映させる度合いの設定ができます。

➡ ルート探索条件を設定する(ナビチュウ)(P.62)

- ルート学習のデータは、以下の場合に消去されます。

ー [ルート学習結果の初期化]を行ったとき

➡ ルート探索の設定をする(P.62)

ー 地図更新を行ったとき

■ 意図しないルートが探索されるときは

他の効率の良い道よりも、本機が学習した道を優先してルート探索されている場合があります。

- [ルート学習結果の初期化]を行うと、効率の良い道を優先して通るルートを探査します。

➡ ルート探索の設定をする(P.62)

細街路探索について

出発地・経由地・目的地周辺は、道幅3 m以上5.5 m未満の細い道路も含めてルートを探します。

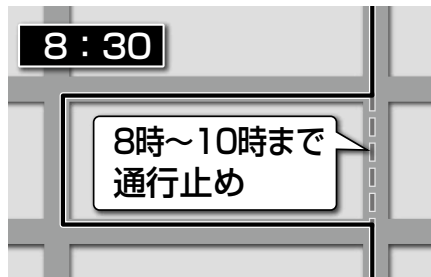
走行できない道路、または交通規制により通行を禁止している道路も含めたルートを探します。必ず、実際の交通規制や道路標識などに従って運転してください。

- 細街路上のルートは、一般道のルートとは異なる色で表示されます。

曜日時間規制探索について

月・曜日・時間による規制を考慮したルートを探します。

規制があっても案内することがありますので、必ず、実際の交通規制や道路標識などに従って運転してください。



VICS考慮について

FM-VICSの渋滞／規制情報をもとに、渋滞／規制を避けたルートを探します。

- 別売のETC2.0車載器を接続すると、ETC2.0の渋滞／規制情報も考慮して、渋滞／規制の場所を避けたルートを探します。
- 現在地から遠く離れた場所の渋滞／規制の情報は、考慮されない場合があります。
- 渋滞／規制情報をもとにVICS考慮する／しないの設定ができます。

🔗 ルート探索の設定をする (P.62)

スマートIC、ETC専用料金所を通るルートについて

スマートIC、ETC専用料金所の利用を考慮したルートを探します。その際、通行できる時間帯や入口／出口の情報は考慮されますが、通行できる車種の情報は考慮されません。また、ETC2.0車載器を搭載していない車両や、ETCカードを挿入していない場合でも、スマートIC、ETC専用料金所を通るルートが探索される場合があります。必ず、実際のスマートIC、ETC専用料金所の状況に従って通行してください。

- スマートIC、ETC専用料金所を考慮する／しないの設定ができます。

🔗 ルート探索条件を設定する(ナビチューン) (P.62)



アドバイス

- スマートICおよびETC専用料金所は、ETC専用のインターチェンジや料金所です。ETC2.0車載器を搭載していない車両の場合は、[スマートインター考慮]を[OFF]に設定してください。
- ※ ETC専用料金所の詳細については、国土交通省、および各高速道路会社のホームページをご覧ください。

ルート探索のご注意

- 道路が近接している所では、正確に位置を設定してください。特に、上りと下りで道路が別々に表示されているような場所では、進行方向に注意して道路上に目的地や経由地を設定してください。
- 出発地／経由地／目的地を設定した地点から直線距離で一番近い道路が案内ルートの起点／中継点／終点になります。以下のようなケースに注意して目的地を設定してください。

例)「〇〇水族館」を名称検索で検索して「〇〇水族館」の地図を表示し、目的地を設定した場合(駐車場情報が無い場合、もしくは駐車場情報を選ばなかった場合)

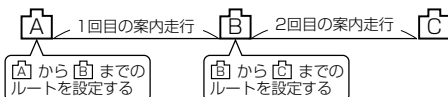


目的地マークに一番近い道路は川を挟んで左にあるため、この道路上の地点が、ルート探索の実際の目的地になります。



詳細地図で、水族館に面した道路上に目的地を設定してください。

- 以下のような場合、ルートが探索できないことがあります。
 - 交通規制で目的地や経由地まで到達できないとき
 - 極度に迂回したルートしかないとき
 - 現在地と目的地が遠すぎるとき(この場合はルートを複数に分けて探索してください。)



出発地Aから目的地Cの探索ができなかったときは、途中のB地点で区切って探索してください。

- その他、条件によってはルート探索できない場合があります。

- 経由地が設定されている場合は、各経由地間のルートを別々に探索していますので、以下になることがあります。
 - どれか1区間でもルートが探索できなかったときは、ルート探索ができません。
 - 経由地付近でルートがつながらないことがあります。
 - 経由地付近でUターンするルートが表示されることがあります。
- 経由地間の距離が短すぎると、経路探索機能が正常に働かない場合があります。
- ルート探索をする前に、本機が現在地と進行方向を正しく表示しているかどうかを確認してください。

- 自車マークの前または後からルートを表示したり、目的地の前または後にルートを表示したりすることがあります。
- ルート探索中に車両のキースイッチをOFFにすると、ルート探索を中止します。このあとに車両のキースイッチをACCまたはONにすると前回探索途中のルートは消去されています。

ルート案内中に

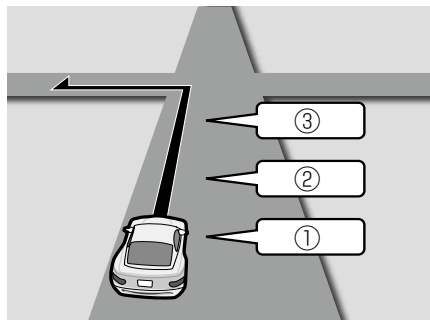
音声案内の「太字の下線」部は、走行するルートによって案内が異なります。

一般道路走行中の音声案内

■交差点に近づく

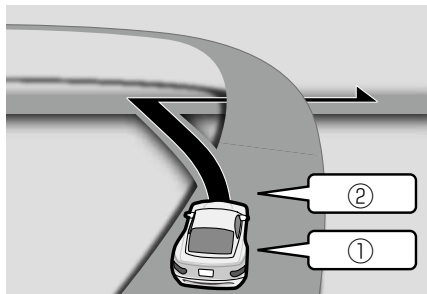
細街路でも交差点で音声分岐案内されます。

- ① “およそ **300 m** 先、大手町 を 左方向 です。”
- ② “まもなく 大手町 を 左方向 です。”
- ③ “左方向 です。”



■側道では

- ① “まもなく、左方向、側道です。”
- ② “左方向、側道です。”



■レーンのある道路では

“この先、左折専用車線に注意してください。”

➡ ルート案内を設定する(ナビチューン)
(P.63)

高速道路・有料道路走行中の音声案内

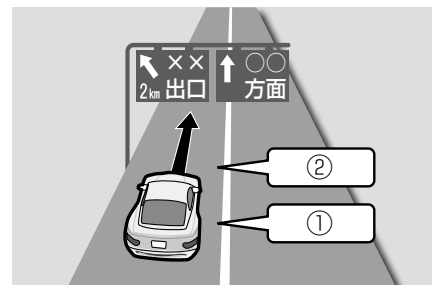
■料金所付近では

“この先、料金所です。”

■分岐地点に近づく

- ① “およそ **1 km** 先、左方向、外苑出口です。”

- ② “まもなく、左方向、外苑出口です。”



前方が渋滞していたら(VICS案内)

渋滞や交通規制などのVICS情報が案内されます。(前方約10 km以内)

- ルート案内中：ルート上の情報
 - ルート未設定：自車の進行方向の情報
- “およそ、**3 km** 先、渋滞しています。”

➡ ルート案内の設定をする(ナビ設定)
(P.63)

経由地・目的地の音声案内

“経由地付近です。”

“目的地に到着しました。ルートガイドを終了します。”

次の交差点などの音声案内を聞く

ルート案内中に、現在地画面で<現在地>スイッチを押す

次の分岐交差点などが案内されます。

ルート案内中の曜日時間規制探索

ルート上の現在地周辺の月・曜日・時間による規制を常に確認し、それを考慮したルートに変更します。

規制があっても案内することがありますので、必ず、実際の交通規制や道路標識などに従って運転してください。

ルート案内中のVICS自動再探索(スイテルート案内)

FM-VICSの渋滞／規制情報を受信すると、渋滞／規制を考慮したルートに変更します。(DRGS*1)

⑦ 地図上に表示されるVICS情報(レベル3)(P.42)

- 別売のETC2.0車載器を接続すると、ETC2.0の渋滞／規制情報も考慮して、渋滞／規制を避けたルートを探します。
- 実際の道路状況によっては、早く着くとは限りません。
- 渋滞／規制情報をもとにVICS考慮する／しないの設定ができます。

⑧ ルート探索条件を設定する(ナビチューン)(P.62)

* 1… DRGS：ダイナミックルートガイダンスシステム

新しいルートと前のルート进行比较する(新旧ルート比較)

VICS自動再探索が行われた場合は、変更後のルートと変更前のルートを約8秒間表示します。(新旧ルート比較)

表示中に、[新ルートで案内]／[元ルートで案内]でどちらのルート案内させるかを選んでください。表示が消えるまで何も操作しないと、新旧ルート自動選択で設定されたルートで案内を開始します。

⑨ ルート探索の設定をする(ナビ設定)(P.62)

- 新旧ルート比較をしない場合があります。
 - － 変更前のルートを通行できないとき(通行止め、規制など)
 - － 現在地から約30 kmより先のルートが変更されたとき

⑩ ルート探索の設定をする(P.62)

ルートから外れたときの自動再探索

ルートを外れても、自動的に再探索します。

休憩メッセージ案内

本機の起動時から2時間ごとに、音声で休憩を促します。

例：長時間運転している場合

「そろそろ休憩しませんか。」

知識

- 休憩メッセージ案内の設定は変更できます。<メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[システム情報・設定]→[休憩案内]をタッチし、[ON](する)／[OFF](しない)をタッチしてください。

もう一度ルートを探る

1. <現在地>スイッチを押して、**[再探索]**をタッチし、ランチャーから**[再探索]**をタッチする
2. 再探索条件([推奨]／[有料優先]／[一般優先]／[エコ]／[距離優先])を選んでタッチする

経由地がある場合は、次の経由地までのルートが再探索されます。

選んだ条件で再探索します。

ルート探索の設定をする

ルート探索の設定をする(ナビ設定)

1. <メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[ナビ情報・設定]→[ナビ設定]をタッチする
2. [探索設定]をタッチし、各項目を設定する

[新旧ルート比較画面を表示]	[ON]: VICS自動再探索が行われた場合は、新旧ルート比較画面を表示する [OFF]: 新旧ルート比較画面を表示しない ➡ 新しいルートと前のルートを比較する(新旧ルート比較)(P.61)
[新旧ルート自動選択]	[新ルート]: 新旧ルート画面で約8秒間操作しないと、新ルートで案内する [元ルート]: 新旧ルート画面で約8秒間操作しないと、旧ルートで案内する ➡ 新しいルートと前のルートを比較する(新旧ルート比較)(P.61)

[到着予想時刻の計算方法]	[自動]: 自動で到着予想時刻を計算する [手動]: 手動で設定した車速から到着予想時刻を計算する 一般道と有料道路それぞれの車速を設定できます。
[ルート学習結果の初期化]	[ルート学習結果の初期化]→[はい]→[はい]: 本機のルート学習機能を初期化する

ルート探索条件を設定する(ナビチューン)

1. <メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[ナビ情報・設定]→[チューン]をタッチする
2. [ルート]をタッチして、各項目を設定する



有料道路優先*1 [低～中～高]

少しでも節約するか、割高でも有料道路を利用するかの度合い

道幅優先*2 [狭～中～広]

できるだけ距離優先*3にするか、多少遠回りでも車線の多い道を優先するかの度合い

渋滞回避 [低～中～高]

VICSの渋滞情報を考慮する度合い

ルート学習 [OFF / ON / アクティブ]

本機が探索したルート以外を通ったときなどに、ルートを学習して次回の探索に反映させる度合い*4

- [アクティブ]: より学習しやすくなります。

VICS考慮 [ON(考慮する) / OFF(しない)]

VICS情報を考慮する/しない

季節規制考慮 [ON / OFF]

季節規制区間を考慮する(ON) / しない(OFF)

スマートインター考慮 [ON / OFF]

スマートIC、ETC専用料金所を考慮する(ON) / しない(OFF)

*1…探索条件が[有料優先]や[一般優先]のときは考慮されません。

➡ 探索条件について(P.57)

*2…探索条件が[距離優先]のときは考慮されません。

➡ 探索条件について(P.57)

*3…狭い道や未舗装の道を案内する場合があります。

*4…必ず学習した内容でルート探索することを保証するものではありません。

ルート案内の設定をする

ルート案内の設定をする(ナビ設定)

1. <メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[ナビ情報・設定]→[ナビ設定]→[案内設定]をタッチする

2. 各項目を設定する

[案内拡大図の表示]	[ON]: 案内拡大図を表示する [OFF]: 案内拡大図を表示しない
[ETCレーンの表示]	[ON]: ルート案内中にETCレーン案内を表示する [OFF]: ETCレーン案内を表示しない
[方面看板の表示]	[ON]: 方面看板を表示する [OFF]: 方面看板を表示しない
[ハイウェイモードの表示]	[ON]: ハイウェイマップを表示する [OFF]: ハイウェイマップを表示しない
[AV画面中の案内割込み]	[ON]: AV画面を表示中に割り込んで現在地画面に切り替えて案内する(ルート案内が完了すると、AV画面に戻ります) [OFF]: AV画面を表示中に割り込んでルート案内しない

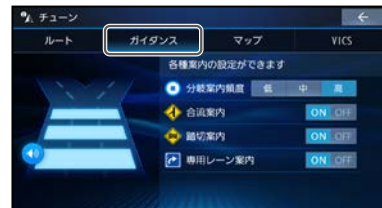
[逆走注意アラーム]	[ON]: 逆走注意アラームを案内する [OFF]: 逆走注意アラームを案内しない ➡ <u>逆走注意アラーム</u> (P.36)
[VICS案内]	[ON]: VICSの渋滞／規制情報がある区間に近づくと、音声で案内する [OFF]: VICSの渋滞／規制情報がある区間に近づいても、音声で案内しない ➡ <u>前方が渋滞していたら</u> (VICS案内) (P.60)

知識

- 「案内拡大図の表示」が[ON]の場合、札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、東京23区、横浜市、川崎市、相模原市、新潟市、静岡市、浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、岡山市、広島市、北九州市、福岡市、熊本市の一部交差点でリアル3D交差点(立体的デザイン)を表示します。
※地図更新をすると対応エリアが変更される場合があります。

ルート案内を設定する(ナビチューン)

1. <メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[ナビ情報・設定]→[チューン]をタッチする
2. [ガイダンス]をタッチして、各項目を設定する



分岐案内頻度【低／中／高】

IC・JCT・交差点・踏切・料金所・目的地付近などでの案内の頻度

■ 安心運転サポート情報の設定

➡ 安心運転サポート情報 (P.36)

合流案内

[ON(案内する)]／OFF(しない)]

踏切案内

[ON(案内する)]／OFF(しない)]

専用レーン案内

[ON(案内する)]／OFF(しない)]

音声案内の設定をする

1. <メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[システム情報・設定]をタッチする
2. [案内音声設定]をタッチして、各項目を設定する

設定項目

[本体音量スイッチ操作で案内音量調整を優先]	[ON]：ナビゲーションの音声案内中に、<音量+/->スイッチで案内音量を調整できる [OFF]：ナビゲーションの音声案内中に、<音量+/->スイッチで案内音量を調整できない
[案内音量の車速連動]	[ON]：ナビ案内音量を車速連動する(走行速度によって自動的に音量を上げる) [OFF]：ナビ案内音量を車速連動しない

[案内出力スピーカー]	[左前]：案内音声を左のフロントスピーカーから出力する [右前]：案内音声を右のフロントスピーカーから出力する
[案内時のAV音量消音]	[ON]：音声案内時にAVソースの音声を消音する [OFF]：音声案内時にAVソースの音声を消音しない ※[OFF]に設定されている場合も、音声案内時はAVソースの音量が下がります。

ルート案内のご注意

- 道路は日々変化しているため、地図ソフト作成時期により、交通規制やルートなどの案内が実際の道路と合致しない場合があります。
- 音声案内は、曲がる方向や他の道路との接続形態などにより、異なった案内内容になったり、音声案内しなかったりします。
- 音声案内のタイミングは、遅れたり早くなったりすることがあります。

- 音声案内は、設定されたルート上を走行し始めてから行われますので、案内が開始されるまでは、地図上のルート表示を参考に走行してください。

有料道路の料金表示について

- 料金表示は目安としてお使いください。また、ETC割引には対応していません。
- 一部の有料道路で料金表示ができない場合があります。
- 料金表示は、探索されたルート上の料金所へのIN、OUTの情報から計算されます。
- 単一料金区間では乗り入れたときに精算するため、区間内で再探索を行っても、料金は表示されません。
- 1つ目の料金所を通過した時点で、自動再探索が働いたり、手動によるルート探索を行うと、2つ目の区間だけの料金が表示される場合があります。
- 高速道路、有料道路上で手動によるルート探索を行うと、料金表示はされず、[---円]と表示される場合があります。(ルートの出発地/目的地が高速(有料)道路上にあるときも、料金の表示は[---円]となります。)
- 「〇〇IC」を目的地に設定した場合は、目的地を設定した高速道路/有料道路の料金は表示されない場合があります。料金を表示したい場合は、料金所を出た一般道に目的地を設定してください。

ルート探索・案内

- ルート探索を再度行わない限り、料金は最初に計算された表示のままです。
- 新規開通道路または料金非対応路線を含むルートの場合は、[――円]または実際の料金と異なる場合があります。このような場合は、実際の料金に従ってお支払いください。

場所を登録する

登録地について

最大900件まで登録できます。(自宅を含む)

登録された地点は、マークで表示されます。

登録地リストを表示する

登録地のリストから、登録地の地点の表示、編集、新規登録、削除ができます。

1. <メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[ナビ情報・設定]→[ナビ設定]をタッチする

2. ナビ設定メニューから[登録地]をタッチする

登録地リストが表示されます。

地点を登録する

カーソルの地点を登録する

1. 地図モード画面から、登録したい場所にカーソルを合わせ、[設定]をタッチする

2. 地点メニューから[地点登録]をタッチする

カーソルの位置(地点)が登録されます。

現在地を登録する

<現在地>スイッチを押して、をタッチし、ランチャーから[地点登録]をタッチする

現在地が登録地として登録されます。

登録地リストから地点を登録する

1. 登録地リストから[新規登録]をタッチする

2. 地点を検索する

検索方法については、下記をご覧ください。

➡ 目的地を探す(P.49)

[現在地付近]：現在地付近の地図を表示*1

[出発地付近]：出発地付近の地図を表示*2

[目的地付近]：目的地付近の地図を表示*2

[地図]：最後に表示していた地図を表示

*1…ルート未設定時のみ

*2…ルート案内中のみ

3. 登録したい場所にカーソルを合わせ、[設定]→[保存]をタッチする

地点が登録されます。

目的地履歴画面から地点を登録する

1. <メニュー>スイッチを押して、をタッチし、All Appsから[履歴]をタッチする

トップメニューの[履歴]でも操作できます。

2. リストから履歴を選び、[決定]をタッチする

地図が表示されます。

3. [設定]をタッチして地点メニューから[地点登録]をタッチする

カーソルの位置(地点)が登録されます。

登録地リストから目的地・経由地を設定する

1. 登録地リストから目的地・経由地に設定したい登録地を選び、[決定]をタッチする

地図が表示されます。

登録地リストのまたはが点灯している場合は、消灯させてから操作してください。

2. 検索した施設を、目的地・経由地に設定する

➡ 検索した施設を目的地・経由地に設定する(P.55)

登録地を消去する

1. 登録地リストから  をタッチする
 が点灯します。
2. 消去したい登録地を選んでタッチし、 印を付けて、[消去]→[はい]をタッチする

選択した登録地が消去されます。

[全選択]をタッチするとすべての項目に 印を付けます。

地点編集画面から[消去]をタッチしても、地点を消去できます。

➡ [登録地を編集する\(P.67\)](#)

登録地の情報を見る

地点メニューから情報を見る

1. 地図上で見たい登録地  をタッチし、[設定]をタッチする
 を選ぶと  になります。

2. 地点メニューから[地点編集]をタッチする

登録地の情報は編集できます。

➡ [登録地を編集する\(P.67\)](#)

登録地リストから情報を見る

1. 登録地リストから  をタッチする
 が点灯します。
2. リストから登録地を選び、[編集]をタッチする

登録地の情報は編集できます。

➡ [登録地を編集する\(P.67\)](#)

登録地を編集する

各項目を編集し、[保存]をタッチする
必ず、[保存]をタッチして編集内容を保存してください。



- ① マークを変更する
- ② 登録地の位置を修正する
- ③ 名称を編集する
- ④ 電話番号を編集する・電話をかける
- ⑤ アラームを設定する
- ⑥ 登録地を消去する

マークを変更する

1. 地点編集画面から[マーク]の欄をタッチする
2. リストからマークを選び、[決定]をタッチする

名称を編集する

1. 地点編集画面から[名称]の欄をタッチする
2. 地点を編集し、 をタッチする
全角64文字(半角128文字)まで

電話番号を編集する・電話をかける

■ 電話番号を編集する

1. 地点編集画面から[TEL]の欄をタッチする
2. 電話番号を入力し、 をタッチする

■ 登録地の番号に電話をかける

ハンズフリー接続中のみ

地点編集画面から[発信]をタッチする
登録地の電話番号に電話をかけます。

➡ [通話中画面の見かた\(P.133\)](#)

アラームを設定する

設定した方向から、設定した距離まで近づくと、アラームでお知らせします。

■アラームの音を設定する

1. 地点編集画面から[アラーム 音]の欄をタッチする
2. [アラーム 1] ~ [アラーム 9]からアラームを選び、[決定]をタッチする
アラームを選ぶと、選んだアラームの音が出力されます。
[OFF]を選ぶと、アラーム音がOFFに設定されます。

■アラームを鳴らす距離を設定する

1. 地点編集画面から[アラーム 案内距離]の欄をタッチする
2. [50 m] / [100 m] / [300 m] / [500 m]から距離を選んでタッチする

■アラームを鳴らす方向を設定する

1. 地点編集画面から[アラーム 進入角度]の欄をタッチする
2. [] [] をタッチして、進入角度を選び、[決定]をタッチする

登録地の位置を修正する

1. 地点編集画面から[位置]の欄をタッチする
2. 地図をスクロールさせて位置を変更し、[決定]をタッチする

登録地を消去する

一度消去するともとに戻せません。消去は十分確認のうえ行ってください。

[消去] → [はい] をタッチする

登録地が消去されます。

VICS 情報を見る

渋滞・事故などの影響による規制、目的地までの所要時間などの道路交通情報をナビゲーションに送信するシステムです。VICSはVehicle Information and Communication System(道路交通情報通信システム)の略です。

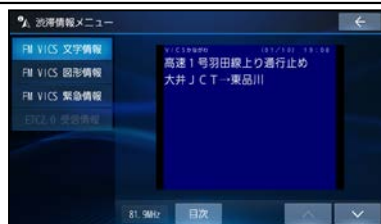
本機では、FM-VICSを受信できます。選局した放送局からの電波が弱い場合は、FM-VICSを受信できません。

別売のETC2.0車載器を接続すると、ETC2.0サービス(電波ビーコン5.8 GHz)からVICS情報を受信できます。

知識

- 渋滞情報に関する設定ができます。
➡ FM多重放送の選局をする(VICS受信)(P.71)
- ➡ ETC2.0割込み設定(P.129)
- 新しい情報を受信すると、情報が更新されます。
- 提供されるVICS情報は、あくまでも参考です。最新情報でない場合があります。
- 提供された情報と異なる場合は、実際の交通規制や道路状況に従ってください。

文字表示型(レベル1)のVICS情報を受信すると



受信しても、自動的に表示されません。受信した情報を手動で見るには下記をご覧ください。

➡ VICS情報を確認する(P.71)

図形表示型(レベル2)のVICS情報を受信すると



受信しても、自動的に表示されません。受信した情報を手動で見るには下記をご覧ください。

➡ VICS情報を確認する(P.71)

地図表示型(レベル3)のVICS情報を受信すると



渋滞、規制、駐車場、SA・PA情報(レベル3)を受信すると、自動的に表示されます。

知識

- 新しい情報を受信すると、情報が更新されます。
- 遠方の渋滞情報は表示されません。
- VICS表示設定については下記をご覧ください。
➡ VICS情報の表示を設定する(ナビチューン)(P.72)

知識

- レベル3情報の見かたについては下記をご覧ください。
- ➡ 地図上に表示されるVICS情報(レベル3)(P.42)

画像・音声情報のVICS情報を受信すると(ETC2.0)

地図画面に、自動的に割り込み表示され、一定時間(7～15秒間)表示した後自動的に消去されます。

音声情報がある場合は、音声情報も再生されます。

[優先情報]: 下記の情報が提供されます。

- 安全運転支援情報
- 新緊急メッセージ情報*¹
- 注意警戒情報*²

[一般情報]: 下記の情報が提供されます。

- センタ・ネットワーク障害通知情報
- 多目的情報
- 広域文字情報
- 長文読み上げ情報
- 電子標識情報
- 障害情報

割込画面(例)



- [■]: 音声情報の停止
- [▶]: 音声情報の再生
- [>]: 次のページに切替
- [×]: 割り込み画面消去

知識

- 別売のETC2.0車載器が必要です。
- 表示中の画面(拡大図表示など)によって、割り込み表示や音声情報再生を中断したり、表示しない場合があります。
- ETC2.0の一般情報を割り込み表示する／しない*³の設定ができます。
- ➡ ETC2.0車載器の設定をする(P.128)

- * 1…災害発生時は停車や避難等の行動指示のための情報も提供されます。
- * 2…気象急変箇所、路面凍結多発箇所などの注意喚起を文字や画像、音声情報などでお知らせします。
- * 3…割り込み表示する／しないの設定にかかわらず、優先情報は割り込み表示されます。

緊急情報(特別警報)を受信すると

地図画面を表示中に受信するとただちに表示されます。

[×]をタッチすると、緊急情報画面が消去され、地図画面に戻ります。



地図画面で[緊急情報受信]をタッチすると、緊急情報画面(詳細情報)が表示されます。





[<] [>]: ページ切替

[▲] [▼]: 行を戻す／送る

走行中は、行を戻す／送る、詳細の操作はできません。

情報自体の提供が無い場合は表示されません。

知識

- 緊急情報によっては警戒地域の範囲を地図上に赤の透過色で表示する場合があります。
※地図の縮尺によっては、地図画面全体が赤の透過色になる場合があります。地図の縮尺を広域に変更すると、対象エリアの範囲を確認できません。

VICS 情報を確認する

1. <メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[ナビ情報・設定]→[渋滞情報]をタッチする
2. 渋滞情報メニューから見たい情報を選んでタッチする



選んだ情報が表示されます。

[1] ~ [6]: 選んだページを表示*1

[▲] [▼]: ページ切替

[目次]: もくじを表示*1

*1...FM VICS文字情報、FM VICS図形情報のみ。

事象・規制マークの内容を確認する

事象・規制マークをタッチする



情報が表示されます。

[詳細]をタッチすると、詳細な情報が表示されます。

詳細情報がない場合は、[詳細]は表示されません。



FM多重放送の選局をする(VICS受信)

1. <メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[ナビ情報・設定]→[ナビ設定]をタッチする
2. ナビ設定メニューから[渋滞設定]→[FM VICS周波数]をタッチする
3. 周波数設定画面から放送局の設定をする

自車位置に応じて自動で選局する(自動選局: 推奨)

周波数設定画面の[周波数の選局方法]から[自動選局]をタッチする

自車位置周辺の放送局から選ぶ(エリア選局)

1. 周波数設定画面の[周波数の選局方法]から[手動選局]をタッチする
2. 周波数設定画面から[エリア選局]をタッチする
自車位置周辺の放送局のリストが表示されます。
3. リストから放送局を選んでタッチする
選んだ放送局のFM-VICSを受信します。

周波数で選局する(手動選局)

1. 周波数設定画面の[周波数の選局方法]から[手動選局]をタッチする
2. 周波数設定画面から[+] / [-]で周波数を調整する

知識

- GPS信号で現在時刻の情報を受信していないときは、FM-VICSの情報を受信できません。
- [手動選局]を選んだ場合は、選局した放送局が所在する都道府県のFM-VICS情報を受信します。隣接する都道府県については、県境付近など一部エリアのみ受信します。

VICS情報の表示を設定する(ナビチューン)

1. <メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[ナビ情報・設定]→[チューン]をタッチする
2. [VICS]をタッチして、各項目を設定する



VICS有料道情報表示

[ON(表示する) / OFF(しない)]

VICS一般道情報表示

[ON(表示する) / OFF(しない)]

VICS駐車場情報表示

[ON(表示する) / OFF(しない)]

VICS規制マーク表示

[ON(表示する) / OFF(しない)]

VICS範囲表示

[ON(表示する) / OFF(しない)]

VICS渋滞・混雑情報表示

[ON(表示する) / OFF(しない)]

VICS渋滞なし情報表示

[ON(表示する) / OFF(しない)]

VICS統計情報表示

[ON(表示する) / OFF(しない)]

地図更新について

- 全国地図更新と、部分地図更新の2種類があります。
 - ➡ [全国地図更新について\(P.74\)](#)
 - ➡ [部分地図更新について\(P.74\)](#)
- 本機のシステム情報画面で地図更新有効期限や更新実施状況を確認できます。
 - ➡ [利用開始日・無料地図更新の実施状況などを確認する\(P.157\)](#)
- 利用可能な更新データの有無を、Wi-Fi接続時に、自動で確認できます。(通信費用はお客様のご負担となります。)
 - ➡ [イーザーセットアップを行う\(P.22\)](#)

■ 更新範囲

内容	方法	全国地図更新 (地図の全データ)	部分地図更新 (市街地図を除くデータ)
道路データ	道路地図(縮尺50 m ~ 250 km) ※細街路含む	○	○
	案内画像(リアル3D表示・ジャンクションビュー・方面看板など)	○	○
	音声案内	○	○
	地点検索データ(施設情報・電話番号情報など)	○	○
	逆走検知データ	○	○
	市街地図(縮尺5 m ~ 25 m)	○	×

■ データサイズの目安

内容(提供頻度)		容量
部分更新	道路データ(2か月毎)*	約35 MB
	索引データ(4か月毎)	約600 MB
全国地図更新(年1回)		約7 GB

* 逆走検知データは4か月毎更新

※データのサイズは定期的に更新している場合の目安です。更新の頻度などにより異なります。



- 地図を更新すると、ルート学習結果が消去されます。あらかじめご了承ください。

全国地図更新について

- 2030年版地図まで、全国地図更新を無料で最大3回ご利用いただけます。
- 更新方法は、お客様ご自身でインターネットから更新データをダウンロードして更新する方法と、三菱自動車販売会社(ディーラー)で更新を行う方法からお選びいただけます。

知識

- 無料更新が利用できなくなった後も、地図データクーポン券をご購入いただくと、全国地図更新をさらに1回ご利用いただけます。地図データクーポン券については、三菱自動車販売会社(ディーラー)にご相談ください。
※地図データクーポン券を利用した全国地図更新は三菱自動車販売会社(ディーラー)で行います。お客様ご自身によるダウンロード更新はできません。

■お客様ご自身で更新する

- お客様ご自身での全国地図更新は、2030年8月まで、ご利用いただけます。
- 本機をインターネットにWi-Fi接続して更新する方法と、パソコンを使用して更新する方法があります。
- ➡ インターネットにWi-Fi接続してソフトウェア・地図を更新する(P.75)

➡ パソコンを使用してソフトウェア・地図を更新する(P.77)

- ※インターネットを利用できる環境などが必要です。(通信費用はお客様のご負担となります。)
- 全国地図更新については当社サイトでもご紹介しております。
https://panasonic.jp/car/navi/genuine/mitsubishi_jyunsei.html

■三菱自動車販売会社(ディーラー)で更新する

- 三菱自動車販売会社(ディーラー)での点検入庫時(安心点検、12か月/24か月法定点検、3年車検)に限り、全国地図更新をご利用いただけます。(レンタカー、自家用貨物自動車は、期間内の法定6か月点検も含みます。)
- 三菱自動車販売会社(ディーラー)での全国地図更新について、詳しくは三菱自動車販売会社(ディーラー)にご相談ください。

部分地図更新について

- 部分地図更新を2030年8月まで、無料でご利用いただけます。
- お客様ご自身で更新してください。
- 本機をインターネットにWi-Fi接続して更新する方法と、パソコンを使用して更

新する方法があります。

➡ インターネットにWi-Fi接続してソフトウェア・地図を更新する(P.75)

➡ パソコンを使用してソフトウェア・地図を更新する(P.77)

- ※インターネットを利用できる環境などが必要です。(通信費用はお客様のご負担となります。)
- 部分地図更新については当社サイトでもご紹介しております。
https://panasonic.jp/car/navi/genuine/mitsubishi_jyunsei.html
※地図データクーポン券をご購入いただくと、部分地図更新の有効期限が延長されます。ただし、ナビcafe未登録の場合は、システム情報画面の[Wi-Fi/PC部分地図更新有効期限]の日付が更新されません。ナビcafe登録後にご確認ください。
- ➡ 利用開始日・無料地図更新の実施状況などを確認する(P.157)

※有効期限を超えた場合のご利用については、三菱自動車販売会社(ディーラー)にご相談ください。

- 配信データについては、Webサイト(https://panasonic.jp/car/guide/map_update_app/map/map_data.html)をご覧ください。

インターネットにWi-Fi接続してソフトウェア・地図を更新する

本機は、利用可能なソフトウェア・地図更新データの有無を、Wi-Fi接続時に自動で確認できます。

ソフトウェア・地図更新データがある場合、Wi-Fiでインターネットからソフトウェア・地図更新データをダウンロードして更新することができます。



準備する

1. 利用登録する

イーージーセットアップの「オンラインバージョンアップ確認」画面に表示される二次元コードをスマートフォンなどで読み取り、WEB上で利用登録を行ってください。

➡ イーージーセットアップを行う(P.22)

2. <メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[システム情報・設定]→[ソフトウェア・地図 更新]をタッチして[オンラインバージョンアップのお知らせ設定]を[自動]に設定する

3. 本機をインターネットにWi-Fi接続(ステーションモード)する

接続方法については下記をご覧ください。

➡ 本機をインターネットにWi-Fi接続(ステーションモード)する(P.28)

知識

- Apple CarPlay、Android Auto の接続中は、本機のWi-Fiモードがアクセスポイントモードになっているためソフトウェア・地図更新できません。Wi-Fiモードをステーションモードに切り替えてからWi-Fi接続しなおしてください。

➡ 本機のWi-Fiモードを切り替える(P.30)

更新する

本機をインターネットにWi-Fi接続(ステーションモード)すると、利用可能な更新データがある場合は、オンラインバージョンアップのお知らせ画面が自動で表示されます。



1. オンラインバージョンアップのお知らせ画面で更新内容([ソフト更新]／[部分地図更新]／[全地図更新])*1をタッチする

データの更新を開始します。

更新中に本機が再起動する場合があります。

「最新データに更新されました。」と表示されたら、更新完了です。(所要時間は更新データにより異なります)

* 1…選択できる更新内容は、更新できる内容によって異なります。

🚗 アドバイス

- 更新中に他の操作をする、車のエンジンを切るなどはしないでください。故障の原因となります。
- 更新データのダウンロード中に車のエンジンを切ってしまった場合、ダウンロードを再開できることがあります。再度エンジンをかけ、Wi-Fi接続した後にダウンロード再開の確認のメッセージが表示された場合は、[はい]をタッチすると、更新データのダウンロードを再開します。
- エンジンを止めたまま使用し続けると、車のバッテリーが消耗します。必ずエンジンをかけてご使用ください。
- エンジンがかけたまま、換気の悪い場所(周囲が囲まれた車庫など)で長時間使用しないでください。

📖 知識

- ソフトウェア・地図更新の更新準備が完了するまでの所要時間は、更新データにより異なります。(場合によっては1時間以上かかることがあります。)
- ソフトウェア・地図更新の更新準備が完了すると、データの切り替えを行います。データの切り替えを開始するとソフトウェア・地図更新が完了するまで本機を操作できません。

- オンラインバージョンアップのお知らせ画面が表示される前に利用登録を促すメッセージが表示された場合は、利用登録を行い、[閉じる]をタッチしてください。
- オンラインバージョンアップのお知らせ画面で[今はしない]をタッチするとデータの更新は行いません。手動更新についてのメッセージが表示されます。表示されたメッセージで[OK]をタッチすると、1週間はオンラインバージョンアップのお知らせ画面を表示しません。
- Wi-Fi接続をする前に、必ずスマートフォン/モバイルWi-Fiルーターの電池残量を確認してください。
- ソフトウェア・地図を更新する場合は、本機がGPS信号を受信している状態で作業してください。GPS受信状態の確認方法については下記をご覧ください。
👉 現在地の地図表示(P.32)

ソフトウェア・地図更新データ有無の手動確認について

- ソフトウェア・地図更新データ有無の手動確認を行うには、<メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[システム情報・設定]→[ソフトウェア・地図更新]→[オンラインバージョンアップ確認]→[更新データを確認]をタッチして

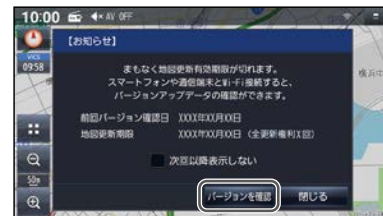
ください。

- 本機をインターネットにWi-Fi接続(ステーションモード)してしばらく待っても、オンラインバージョンアップのお知らせ画面が表示されない場合は、上記の方法で手動確認してください。

バージョンアップリマインド機能

ソフトウェア・地図更新データ有無の確認が長期間行われていない場合などに、バージョンアップリマインド画面が表示されません。

1. バージョンアップリマインド画面が表示されたら、[バージョンを確認]をタッチする



本機がWeb上の地図サーバーにアクセスして更新データを検索し、更新データがある場合はオンラインバージョンアップのお知らせ画面が表示されます。

👉 更新する(P.75)

「次回以降表示しない」に✓印を入れると、次回以降は表示されません。

知識

- Wi-Fi接続されていない、または[オンラインバージョンアップのお知らせ設定]が[手動]に設定されている場合、本機が以下の条件に1つでも当てはまると、バージョンアップリマインド画面が表示されます。
 - ー 本機の利用開始日、または三菱自動車販売会社(ディーラー)での地図更新実施日から、6か月以上1度もソフトウェア・地図更新データ有無の確認を行っていない
 - ー ソフトウェア・地図更新データ有無の確認、バージョンアップリマインド画面の表示のどちらも、12か月以上行われていない
 - ー ユーザー登録が完了している状態で、本機にダウンロードされている道路地図の配信月から3か月以上経過し、地図更新期限の1か月前になった
- 本機がGPS信号を受信できていない場合は、バージョンアップリマインド画面を表示させることはできません。

パソコンを使用してソフトウェア・地図を更新する

本機は、利用可能なソフトウェア・地図更新データを、パソコンを使用して更新できます。



準備する

- USB マスストレージ規格に準拠した 16 GB 以上の USB メモリーをご用意ください。誤動作防止のため、USB メモリーはパソコンで初期化したものを使用してください。
 - 地図更新アプリを専用サイトからダウンロードして、パソコンにインストールしてください。
 - ユーザー登録が必要です。パソコン用地図更新アプリから登録できます。また、本機の「オンラインバージョンアップ確認」画面に表示される二次元コードをスマートフォンなどで読み取って、WEB 上で登録することもできます。
- ➡ イーージーセットアップを行う(P.22)

■ 地図更新アプリ

対応 OS : Windows 11

※地図更新アプリを使用するには、.NET Framework 4.8のインストールが必要です。

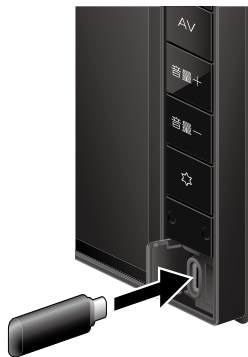
- ダウンロード URL : https://panasonic.jp/car/navi/genuine/mitsubishi_jyunsei.html

更新する

1. 本機に**USBメモリー**を接続し、＜メニュー＞スイッチを押して、[情報・設定]→[システム情報・設定]→[ソフトウェア・地図 更新]→[更新用**USB**メモリー作成]→[はい]をタッチする

更新用USBメモリーが作成されます。

(更新データをダウンロードするために必要な情報が書き込まれます。)



USB Type-C端子カバーの開き方については、下記をご覧ください。

➡ 各部の名称と機能(P.16)

2. 更新用**USBメモリー**を本機から取り出し、パソコンに接続する
3. パソコンで地図更新アプリを起動し、更新データをダウンロードして更新用**USBメモリー**に保存する

4. 更新用**USBメモリー**をパソコンから取り出し、本機に接続する

ステータスバーにが表示されます。

5. ＜メニュー＞スイッチを押して、[情報・設定]→[システム情報・設定]→[ソフトウェア・地図 更新]→[更新]→[はい]→[更新する]をタッチする

データの更新を開始します。(更新中に本機が再起動する場合があります。)

更新に要する時間は、更新データの容量により異なります。

更新中は、本機を操作できません。



アドバイス

- 更新中に他の操作をする、車のエンジンを切るなどはしないでください。故障の原因となります。
- エンジンを止めたまま使用し続けると、車のバッテリーが消耗します。必ずエンジンをかけてご使用ください。
- エンジンをかけたまま、換気の悪い場所(周囲が囲まれた車庫など)で長時間使用しないでください。
- USBメモリーは市販のUSBハブまたはUSB延長ケーブルを介して接続しないでください。

AVの共通操作

AV画面に切り替える	P.80
再生／視聴するAVソースを選ぶ	P.80
AVソースの音声を出力したままナビゲーションに切り替える	P.82
AVをON／OFFにする	P.82
AV設定をする	P.82

テレビを視聴する

テレビを見る	P.89
テレビの設定・情報を見る	P.94

ラジオを聴く

ラジオ(FM／AM)を聴く	P.95
ラジオで交通情報を聴く	P.95

レコーダーリンク

レコーダーリンクで自宅の録画番組を視聴する	P.96
-----------------------	------

ネット動画を見る

ネット動画を見る	P.99
----------	------

音楽・映像の再生

BLUETOOTH® Audioを再生する	P.102
USBメモリーを再生する	P.103
iPod／iPhoneを再生する	P.107

外部機器の接続

外部機器の映像／音声を視聴する	P.111
-----------------	-------

AV画面に切り替える

<AV>スイッチを押す

AV OFFの状態でも<AV>スイッチを押すと、AVソース一覧が表示されます。

走行中は、**HDMI**、**TV**、**USB(動画)**、ドライブレコーダー、レコーダーリンク(映像コンテンツ)、ネット動画の映像は表示されません。
安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてご覧ください。

再生／視聴するAVソースを選ぶ

■ All Apps(全機能一覧)から

<メニュー>スイッチを押して、[]をタッチし、**All Apps**から切り替えたいAVソースを選んでタッチする
選んだAVソースに切り替わります。

■ AVソース一覧から

切り替えたいAVソースをタッチする
選んだAVソースに切り替わります。

AVソース一覧

AVソース名	機能	参照先
[AM]	AMラジオ放送を聴きます。	➡ ラジオ (FM / AM) を聴く (P.95)
[Android Auto]	Android スマートフォンを本機と接続して、Android スマートフォンの音楽を聴くことができます。	➡ Android Auto™ を利用する (P.143)
[Apple CarPlay]	iPhone を本機と接続して、iPhone の音楽を聴くことができます。	➡ Apple CarPlay を利用する (P.138)
[BLUETOOTH Audio]	スマートフォンなどの BLUETOOTH® 対応オーディオ機器を本機と BLUETOOTH® 接続して本機で音楽を聴きます。	➡ BLUETOOTH® Audio を再生する (P.102)
[FM]	FMラジオ放送を聴きます。	➡ ラジオ (FM / AM) を聴く (P.95)
[HDMI]	HDMIケーブルで接続した外部機器の映像・音声を本機で視聴できます。	➡ 外部機器の映像／音声を視聴する (P.111)
[iPod]	iPod / iPhoneに取り込んだ音楽を再生します。	➡ iPod / iPhone を再生する (P.107)
[TV]	地上デジタルTV放送を視聴します。	➡ テレビを見る (P.89)
[USB]	USBメモリーに保存した音楽／動画を再生します。	➡ USBメモリーを再生する (P.103)
[ドライブレコーダー]	別売の三菱自動車オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーを接続している場合、本機の画面でドライブレコーダーの映像を見ることができます。	➡ 三菱自動車オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの映像を見る (P.120)
[交通情報]	交通情報のラジオ放送を聴くことができます。	➡ ラジオで交通情報を聴く (P.95)
[レコーダーリンク]	スマートフォンアプリと連携して、自宅のレコーダーなどの映像を、本機で視聴できます。	➡ レコーダーリンクで自宅の録画番組を視聴する (P.96)
[ネット動画]	インターネットにWi-Fi接続して、各種動画配信サービスをスマートフォンのアプリを使用せずに、本機で視聴できます。	➡ ネット動画を見る (P.99)

AVソースの音声を出力したままナビゲーションに切り替える

AV画面表示中に＜現在地＞スイッチを押す

AV画面に戻るには、＜AV＞スイッチを押してください。

ナビゲーションの音声・映像のみを出力したいときは、AV OFFにしてください。

➡AVをON／OFFにする(P.82)

知識

- ナビゲーションの現在地画面に、AVソースの映像を表示させることができます。
- ➡ 現在地画面にAVソースの映像を表示する(P.41)

AVをON／OFFにする

＜AV＞スイッチを2秒以上押す

AVをONにしたときは、AV OFFにしたときに選ばれていたソースに切り替わります。

＜メニュー＞スイッチを押して、[AV ON/OFF]をタッチしてもON／OFFできます。AV情報・設定メニューから、[AV出力]の[ON]／[OFF]をタッチしてもON／OFFできます。

AV設定をする

音響効果の設定などAVに関する設定ができます。

AVチューンの基本操作

1. ＜メニュー＞スイッチを押して、[情報・設定]→[AV情報・設定]→[AVチューン]をタッチする

AM、**BLUETOOTH**[®] Audio、FM、iPod、USB(音楽)から[]をタッチしても、AVチューン画面を表示します。

2. AVチューン画面(エフェクト設定)で各項目を設定する



- ① エフェクト設定に切替
音質・音場効果に関する設定画面に切り替えます。
- ② イコライザー設定に切替
13バンドのイコライザーによる音質設定画面に切り替えます。

- ③ フェーダー／バランス設定に切替
前後左右のスピーカーの出力バランスの設定画面に切り替えます。
- ④ スピーカー設定に切替
出力レベル・ディレイの設定画面に切り替えます。
- ⑤ 音質・音場モード選択
- ⑥ 音場効果設定
- ⑦ 車速連動音量・ノイズ連動音量の設定
- ⑧ ビット・周波数拡張設定

■ 音質・音場モードを選ぶ

エフェクト設定画面から[高音質]／[騒音適応]／[エフェクト]を選んでタッチする
高音質モード

高音質でAVを楽しむのに適したモードです。ハイレゾ音源のFLAC、WAVの音楽データは、192 kHzの高音質で再生されます。また、通常の音質の音源も、補完してより自然な音で再生できます。

➡より自然な音で聞く(ビット・周波数拡張)(P.86)

騒音適応モード

車内でのAVの聴きやすさを重視したモードです。ハイレゾ音源のFLAC、WAVの高音質の音楽データも、通常の音質(48 kHz)に変換されて再生されます。

エフェクトモード

様々な音響効果を楽しむのに適したモードです。ハイレゾ音源のFLAC・WAVの音楽データも、通常の音質(48 kHz)に変換されて再生されます。



知識

- エフェクト設定の内容は、音質・音場モードごと(個別)に記憶されます。

音響効果の設定をする

エフェクト設定画面から[<] [>]をタッチして、設定したいモードと音響効果を選ぶ

高音質モードの場合：[音の匠]／[OFF]

騒音適応モード／エフェクトモードの場合：[音の匠]／[DSP]／[OFF]



音響効果

音の匠	レコーディングエンジニア集団MIXER' S LAB(ミキサーズラボ)が監修した音質で音楽を楽しむことができます。 エフェクト設定画面で[音の匠]を選んだあと、右隣の[<]／[>]をタッチして、音の匠の種類を選んでください。
匠 マスターサウンド	レコーディングやマスタリングを手がける音のプロがチューニングした、よりよいスタジオサラウンドに近い音を再現します。(2Wayスピーカ向き)
極 サラウンド	音場制御とサラウンドチューニングを施すことで、臨場感あふれる音楽を楽しめるモード(フルレンジスピーカ向き)
和 会話重視	人の会話と周波数がぶつからないようにチューニングした、音楽を聴きながら車内の会話が楽しめるモード

DSP	エフェクト設定画面で[DSP]を選んだあと、右隣の[<]／[>]をタッチして、擬似再現したい音場環境を選んでください。
HALL	コンサートホールのような音場
STADIUM	スタジアムのような音場
CHURCH	残響音の多い教会のような音場
LIVE	ライブハウスのような音場

知識

- AV OFFの状態では設定できません。
- 音の匠、DSPを同時に設定することはできません。
- [DSP]は高音質モードでは設定できません。
- 音響効果の設定を解除するには、エフェクト設定画面で[<]／[>]をタッチして、[OFF]を選んでください。

車速連動音量を設定する

車両が走行する速度に連動してAVソースの音量を自動的に補正します。

高音質モードまたはエフェクトモードに設定してください。騒音適応モードでは設定できません。

➡ 音質・音場モードを選ぶ(P.82)

エフェクト設定画面から[V][A]で車速連動音量の補正量を選ぶ

選ぶごとに補正量が切り替わります。

車速連動レベル

HIGH	速度に応じて、音量が大きく変化します。
MID	速度に応じた音量変化がHIGHとLOWの中間の振りで変化します。
LOW	速度に応じて、音量がゆるやかに変化します。
OFF	音量の車速連動をしません。

ノイズ連動音量を補正する

車内の走行騒音に連動してAVソースの音量や音質を自動的に補正します。

騒音適応モードに設定してください。高音質モードまたはエフェクトモードでは設定できません。

➡ 音質・音場モードを選ぶ(P.82)

エフェクト設定画面から[V][A]でノイズ連動音量の補正量を選ぶ

レベル1／レベル2／レベル3／レベル4／レベル5／レベル6

知識

- 走行状態によっては、効果が大きくなる場合があります。
- 効果を大きく感じる場合は、より低いレベルの補正量を選択してください。

より自然な音で聞く(ビット・周波数拡張)

音源を補完して、より自然な音で再生します。

高音質モードに設定してください。騒音適応モードまたはエフェクトモードでは設定できません。

➡ 音質・音場モードを選ぶ(P.82)

エフェクト設定画面から[ビット・周波数拡張]をタッチする

タッチするごとにON／OFFが切り替わります。

知識

- 音源によっては、効果(音の変化)を感じ取りにくい場合があります。
- 車両の状態や環境によっては、効果(音の変化)を感じ取りにくい場合があります。
- ハイレゾ音源のFLAC・WAVの音楽データを再生するときは、余分な信号が音質に影響を与えないようOFFにしてください。
- AVソースが交通情報の場合は、設定できません。

イコライザー設定の基本操作

AVチューン画面から[イコライザー]をタッチすると、イコライザー設定画面が表示されます。



- ① マニュアルイコライザー
- ② イコライザープリセット
- ③ お買い上げ時の設定に戻す
- ④ 設定内容を登録

知識

- AV OFFの状態では設定できません。

■イコライザーを詳細に設定する

1. イコライザー設定画面から[USER]をタッチする
[VOCAL] [ROCK] [JAZZ]の設定も、手動で変更できます。
2. 各周波数の値を[V] [Λ]で設定する
3. [登録]をタッチする
設定内容が登録されます。

■お買い上げ時の設定に戻すには

イコライザー設定画面から[初期化]→[はい]をタッチする

フェーダー／バランスの出カレベルを調整する

AVチューン画面から[フェーダー／バランス]をタッチすると、フェーダー／バランス設定画面が表示されます。

フェーダー／バランス設定画面から調整範囲を直接タッチして調整する



調整ボタン

[▲]	後スピーカーの音量が下がります。
[▼]	前スピーカーの音量が下がります。
[◀]	右スピーカーの音量が下がります。
[▶]	左スピーカーの音量が下がります。
[センター]	調整値が0(中央)に戻ります。

知識

- AV OFFの状態では設定できません。
- 後スピーカーが接続されていない場合、設定を変更すると前スピーカーにのみ設定が反映されます。

スピーカー設定の基本操作

AVチューン画面から[スピーカー]をタッチする

スピーカー設定画面が表示されます。

■スピーカー出力レベルの調整をする

1. **AVソースをFMまたはAMに切り替える**

2. **放送局が無い周波数に合わせる**

ラジオの“ザー”という音が聞こえることを確認してください。

3. **AVチューン画面から[スピーカー]→[出力レベル]をタッチする**



4. **[-][+]で各スピーカーの出力レベルを調整する**

調整範囲：-12 dB～+12 dB

ラジオの“ザー”という音が、最も小さく聞こえるスピーカーを基準にして、他のスピーカーが同じ音量に聞こえるように調整してください。

知識

- AV OFFの状態では設定できません。
- 2スピーカーの場合でも、[リアライト]、[リアレフト]の設定値を変更できますが、設定は無効です。

■スピーカーディレイを設定する

1. **スピーカー設定画面から[ディレイ]をタッチする**

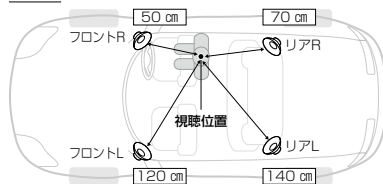
2. **[-][+]で各スピーカーの距離を調整する**

調整範囲：0 cm～500 cm (2 cm刻み)

距離を設定すると、基準点から最も離れたスピーカーに合わせて、他のスピーカーの音声出力タイミングを遅らせます。

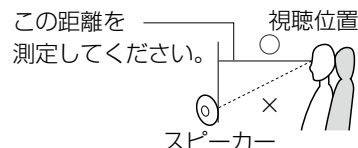
(10 cmあたり約0.3 ms)

設定例



知識

- AV OFFの状態では設定できません。
- 視聴位置からスピーカーまでの距離は水平距離を測って設定してください。



- 2スピーカーの場合でも、[リアライト]、[リアレフト]の設定値を変更できますが、設定は無効です。

テレビを見る

<メニュー>スイッチを押して、**[]**をタッチし、**All Apps**から**[TV]**をタッチすると、テレビに切り替わります。トップメニューの**[TV]**でも操作できます。

デジタルテレビ初期設定を行う

初期設定をしていない場合、初めてテレビに切り替えたときは初期設定画面が表示されます。初期設定では、お住いの地域を設定します。

1. **[地域設定]** をタッチする
 2. お住いの地域を**[<][>]**で選び、**[保存]**をタッチする
- 地上デジタル放送をご覧になれます。

知識

- 引っ越しなどでお住まいの地域が変わる場合は、設定を変更してください。
➡ **テレビの設定・情報を見る(P.94)**
- 手順1で**[視聴]**をタッチすると、初期設定をしないで、すぐにTVを見ることができます。この場合、受信する放送局は現在地情報をもとに自動で設定されますので、お住いの地域の設定に変更するために、地域設定で設定を変更してください。
➡ **テレビの設定・情報を見る(P.94)**
- 手順1で**[受信確認]**をタッチすると、アンテナの受信感度を確認できます。

緊急警報放送(EWS)について

緊急警報放送(EWS)とは、大規模災害など緊急な出来事が発生した場合に、緊急警報放送を放送局より送信して、視聴者にいち早く情報を知らせる放送システムです。EWSは緊急警報放送システム(Emergency Warning System)の略です。

■緊急警報放送(EWS)を受信したら

自動的に緊急警報放送に切り替わります。

- テレビ以外のAVソースを選んでいても、緊急警報放送が開始されると、自動的に緊急警報放送に切り替わる場合があります。

- 緊急警報放送が終了しても、テレビ画面のままになります。(もとのAVソースには戻りません。)もとに戻すには、手で切り替えてください。
- 走行中、緊急警報放送は表示できません。車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてご覧ください。
- 視聴中の放送局以外で緊急警報放送を開始しても、自動的に切り替わりません。
- 緊急警報放送の試験放送では動作しません。

周波数再編(リパック)について

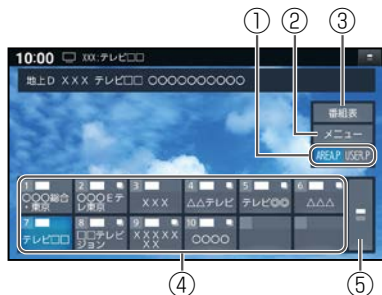
周波数再編により、これまで視聴できたチャンネルが映らなくなった場合は、チャンネルのスキャンを行ってください。チャンネルのスキャンを行うには、チャンネル設定をユーザープリセットに切り替えて**[ユーザープリセット設定]**をタッチします。
➡ **[ユーザープリセット設定](P.92)**

選局パネルの基本操作

テレビ視聴中に画面をタッチすると、選局パネルが表示されます。

- 約5秒間何も操作しないと、選局パネルは自動的に消去されます。

選局パネル



- ① チャンネル設定の切り替え
➡ チャンネル設定を切り替える
(P.90)
- ② テレビメニューを表示
➡ テレビメニューを設定する
(P.90)
- ③ 番組表を表示
➡ 番組表を見る(P.93)
- ④ チャンネルリスト
- ⑤ チャンネルリストの切り替え

選局する

チャンネルリストから放送局をタッチする

- タッチしたチャンネルに切り替わります。
- 同じチャンネルで複数の番組が放送されている場合は、チャンネルをタッチするたびに番組が切り替わります。

チャンネル設定を切り替える

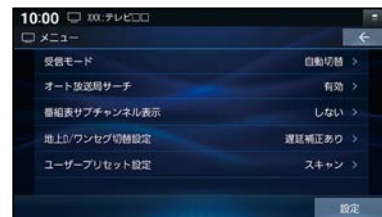
[AREA.P] / [USER.P] をタッチする

- タッチしたチャンネル設定に切り替わります。
- **[AREA.P] : エリアプリセット**
自車位置に応じてチャンネルリストが自動的に切り替わります。(自動で現在地周辺の放送局がチャンネル設定されます。)
エリアプリセットには24チャンネルまで登録されます。
- **[USER.P] : ユーザープリセット**
➡ [ユーザープリセットを設定](P.92)
自車位置にかかわらず、ユーザープリセットに記憶させたチャンネルリストになります。
ユーザープリセットには12チャンネルまで登録できます。
(初めて[USER.P]をタッチすると、スキャンするかメッセージが表示されます

ので[はい]をタッチしてスキャンを開始してください。)

テレビメニューを設定する

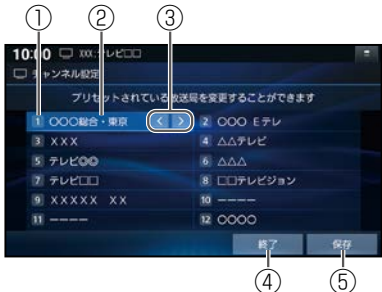
1. 選局パネルから[メニュー]をタッチする
2. 各項目を設定する



[設定] : [地域設定] / [信号切替] の設定
や[デバイスID表示]の情報を確認できます。

➡ テレビの設定・情報を見る(P.94)

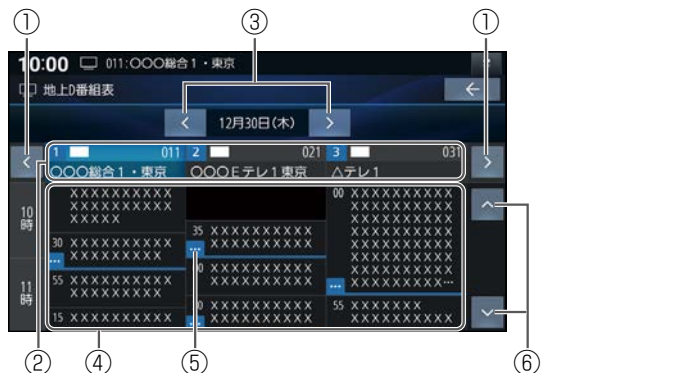
項目	設定内容／操作
[受信モード]	受信状態が良くないときは、ワンセグに切り替えると、比較的安定した画像を見ることができます。 ● 受信状況によっては、切り替え時に数秒間映像が途切れることがあります。 ● 放送局によっては、地上デジタル放送とワンセグの番組内容が異なる時間帯があるため、地上デジタル放送／ワンセグを切り替えた際、異なる番組になる場合があります。
[自動切替]	受信状態に応じて地上デジタル放送／ワンセグを自動的に切替
[ワンセグ]	受信状態にかかわらずワンセグを受信
[地上D]	受信状態にかかわらず地上デジタル放送を受信
[オート放送局サーチ]	移動などで受信状態が悪くなった場合に、自動的に受信状態の良い中継局、または同じ系列の放送局に切り替えます。 ● 県境を越えて移動した場合など、オート放送局サーチ設定中でも放送局を切り替えられない場合があります。そのときは、選局パネルから手動で選局してください。 ● 放送局によっては、同じ系列でも、番組内容が異なる時間帯があるため、オート放送局サーチで放送局を切り替えた際、異なる番組になる場合があります。
[有効]	オート放送局サーチする
[無効]	オート放送局サーチしない
[番組表サブチャンネル表示]	番組表の表示のしかたを設定します。
[しない]	同じチャンネルで同じ時間に複数の番組がある場合、代表の1番組だけ番組表に表示する ● 代表以外の番組を視聴中は、代表の番組と視聴中の番組の2つが表示されます。
[する]	同じチャンネルで同じ時間に複数の番組がある場合、すべての番組を番組表に表示する
[地上D/ワンセグ切替設定]	地上デジタル放送／ワンセグが切り替わるときの時間のズレを、補正する／しないを設定します。 ● 受信モードが[自動切替]のときに、設定が有効となります。 ● 地上デジタル放送を十分に受信してからでないと効果が表れない場合があります。 ● [遅延補正あり]では、切り替えに伴う「音の連続再生」を優先するため、受信環境が悪化すると、早めにワンセグに切り替わります。 ● [遅延補正なし]では、受信環境が悪化しても、地上デジタル放送での視聴を優先します。ワンセグへの切り替えが早いと感じる場合は[遅延補正なし]に設定すると改善される場合があります。
[遅延補正あり]	映像・音声のズレを補正する
[遅延補正なし]	映像・音声のズレを補正しない

項目	設定内容／操作
[ユーザープリセット設定]	ユーザープリセットのチャンネル設定をします。 ● エリアプリセットモードでは設定できません。[USER.P]をタッチして切り替えてください。 ➡ チャンネル設定を切り替える(P.90) ● [ユーザープリセット設定]をタッチすると、チャンネルのスキャンを行います。読み込まれたチャンネルの情報は、エリアプリセットにも反映されます。 1. 各チャンネル番号の放送局を確認して、[保存]をタッチする チャンネル設定画面  ① チャンネル番号 ② 放送局名 ③ 放送局の選択[<][>]: 放送局を変更 ④ 【終了】: ユーザープリセットのチャンネル設定編集結果が破棄されます。 ⑤ 【保存】: ユーザープリセットのチャンネル設定を編集した結果が保存され、テレビの視聴画面が表示されます。

番組表を見る

選局パネルから[番組表]をタッチすると、番組表が表示されます。

② 選局パネルの基本操作(P.90)



- ① 番組表に表示するチャンネルを切り替える
- ② 選択されているチャンネルを選局する
- ③ 別の日の番組表を見る
- ④ タッチした番組の番組内容を見る
- ⑤ 番組内容を見る(P.93)

- タッチした番組の番組内容が表示されていない場合は、タッチした番組を放送しているチャンネルを選局します。
- 電源を入れた直後は、番組表が表示されるまで約1分かかる場合があります。
- 受信可能な放送局の番組表が表示されない場合は、その局をタッチすると表示されます。(数分かかることがあります。)

- 地上デジタル放送は7日分まで、ワンセグは10番組まで表示されます。
- 番組表示形式を設定できます。
⑤ [番組表サブチャンネル表示] (P.91)
- 各番組の表示の位置は実際と異なる場合があります。
このとき、実際の開始時間より後の時間枠に表示されることがあります。
(10時55分開始の番組が11時の時間枠に表示されるなど)
- ⑤ 青線部分：
放送時間の短い番組があります。
タッチすると番組が表示されます。
- ⑥ 時間帯を選ぶ

番組内容を見る

番組表で番組をタッチすると、番組内容が表示されます。

② 番組表を見る(P.93)



- ① 番組内容画面を見る
- ② 属性画面(詳細な情報)を見る
- ③ 選択している番組を視聴する

テレビの設定・情報を見る

1. 選局パネルから[メニュー]をタッチする
2. メニュー画面から[設定]をタッチする
3. 設定画面から各項目を設定・確認する

項目	設定内容
[地域設定]	お住いの地域を変更します。📍 デジタルテレビ初期設定を行う(P.89)
[信号切替]	各項目を設定します。 [マルチビュー]：マルチビュー放送のときに選択できます。 • マルチビュー放送とは、同一のチャンネルで主番組と副番組の複数映像が送られる放送のことです。 [映像]：映像が複数あるときに選択できます。 [音声]：音声 that 複数あるときに選択できます。 [二重音声]：二重音声の音声を選択できます。 [字幕]：字幕の言語を選択できます。 [文字スーパー]：文字スーパーの言語を選択できます。 • 文字スーパーとは、視聴者にお知らせしたい情報を、番組放送中の画面上に文字で表示させたものです。
[デバイスID表示]	通常は、この操作は必要ありません。 ● 受信機(本機)に記憶されている放送局に関する情報が表示されます。 ● お問い合わせの際に必要な場合があります。

ラジオ(FM / AM)を聴く

<メニュー>スイッチを押して、[] をタッチし、All Appsから[FM] / [AM]のいずれかをタッチすると、ラジオに切り替わります。

トップメニューの[FM] / [AM]でも操作できます。



① 周波数切替

周波数を切り替えます。
“ピッ”と音が鳴るまでタッチし続けると、自動的に選局を開始し、受信すると止まります。(シーク選局)

② 受信中の放送局を表示

③ エリアモードに切替

自転車位置周辺の放送局リストを表示します。

④ ユーザーモードに切替

プリセットした放送局リストを表示します。

お好みの放送局を登録できます。ユーザーモードで周波数で選局し、放送局リストの登録したい枠を約1秒以上タッチしてください。

⑤ AVチューン P.82

⑥ AVの設定などを表示

⑦ エリア更新

エリアモードで使用時、自転車が走行したために、放送局が受信エリアから外れた場合、タッチすると受信エリアを更新できます。

⑧ 放送局リスト

タッチした放送局に切り替えます。

知識

- 受信したい放送局が放送局リストに無い場合は、周波数で選局してください。
- 受信電波の弱い地域では、シーク選局できないことがあります。
- エリアモードの放送局リストは本機に収録されている情報に基づいて表示されるため、下記のような場合があります。
 - ー 放送局が表示されない／実際とは異なる放送局が表示される
 - ー リストに表示されている放送局を選択しても、切り替わらない(放送を受信できない)

ー リストに表示されている放送局とは違う放送局に切り替わる

- 周波数再編により、これまで受信できた放送局が受信できなくなった場合は、新しい周波数をユーザーモードの放送局リストに記憶させてください。

ラジオで交通情報を聴く

1. <メニュー>スイッチを押して、[] をタッチし、All Appsから[交通情報]をタッチする

トップメニューの[交通情報]でも操作できます。

2. 周波数を切り替えるときは、[1620 kHz] / [1629 kHz]をタッチする

レコーダーリンクで自宅の録画番組を視聴する

スマートフォンアプリと連携して、自宅のレコーダーなどの映像を、本機で視聴できます。本機とスマートフォンの**BLUETOOTH®**接続、Wi-Fi(ステーションモード)接続が必要です。

レコーダーがネットワーク機能に対応している必要があります。

対応レコーダーについてや、スマートフォンアプリの入手方法などスマートフォンアプリに関する詳細、レコーダーの登録、本機との接続の詳細については、下記のWebサイトをご覧ください。

<https://www.digion.com/sites/recorder-link/>

知識

- **BLUETOOTH®** 接続とWi-Fiテザリング接続に対応したスマートフォンをご用意ください。
※ご利用時には通信料金がかかります。
- レコーダーがインターネットに接続されている必要があります。
- レコーダーによっては、レコーダーのメニューでスマートフォンをペアリングする操作が必要です。

- iPodまたはiPhoneをケーブル接続すると、そちらでの接続が優先されます。
iPhoneでスマートフォンアプリ「DiXiM Play for レコーダーリンク」を利用する場合は、iPodまたはiPhoneを取り外してください。
- Apple CarPlay、Android Auto を接続中に本機能を利用すると、Apple CarPlay、Android Auto との接続は解除されます。
- 必要に応じてレコーダーの取扱説明書を参照してください。

準備する

■レコーダーを登録する(自宅)

1. スマートフォンに、スマートフォンアプリ「DiXiM Play for レコーダーリンク」をインストールする
2. スマートフォンとレコーダーを、自宅のWi-Fiに接続する
3. スマートフォンアプリを操作して、スマートフォンアプリにレコーダーを登録する

■本機とスマートフォンアプリを接続する(車内)

自宅でのレコーダー登録を終えてから、本機操作を行ってください。

1. スマートフォンを本機と**BLUETOOTH®**接続する

➡スマートフォンを本機と**BLUETOOTH®**接続する(P.25)

使用する機能として[電話/スマートフォンアプリ]を選択してください。

2. 本機をインターネットにWi-Fi接続(ステーションモード)する

➡本機をインターネットにWi-Fi接続(ステーションモード)する(P.28)

3. <メニュー>スイッチを押して、 をタッチし、All Appsから[レコーダーリンク]をタッチする

トップメニューの[レコーダーリンク]でも操作できます。

4. スマートフォンアプリのリストから本機のデバイス名(NM1M)を選択し、本機をスマートフォンアプリに登録する

5. スマートフォンアプリを操作して、本機をスマートフォンアプリに接続する
レコーダーとの接続中であることを知らせるメッセージが表示されます。しばらくお待ちください。接続が完了すると、コンテンツリストが表示されます。コンテンツを再生するには、以下をご覧ください。

➡再生する(P.97)

知識

- スマートフォンアプリにレコーダーを登録するとき、複数のレコーダーを登録できます。
レコーダーが複数登録されている場合は、スマートフォンアプリと本機の接続完了時、本機にレコーダー選択画面が表示されます。使用するレコーダーを選択してください。レコーダーを選択するとコンテンツリストが表示されます。
- スマートフォンアプリのレコーダー登録には3か月の登録期限があります。登録期限が過ぎるとスマートフォンアプリと本機の接続ができなくなります。登録期限はスマートフォンアプリで確認できます。
期限が近付くと登録期限をお知らせするメッセージが、本機に表示されます。自宅(スマートフォンがレコーダーと同じネットワークに接続された状態)でスマートフォンアプリを起動すると、自動で登録の更新処理が行われます。手動操作での更新もできます。
- スマートフォンアプリにレコーダーと本機を登録したあと、以下を行うとレコーダーと本機の登録情報が消去される場合があります。その場合、再度レコーダーと本機の登録を行ってください。

- ー [出荷状態に戻す]を選んで本機を初期化した。
➡ 各種設定をお買い上げ時の状態に戻す(P.158)
- ー 本機を交換、あるいは別のナビゲーションに入れ替えた。
- ー 本機以外のナビゲーションを登録した。

再生する

あらかじめスマートフォンアプリのインストール、スマートフォンアプリへのレコーダーの登録、スマートフォンと本機の**BLUETOOTH®**接続およびWi-Fi接続(ステーションモード)、スマートフォンアプリと本機の接続が必要です。

➡ 準備する(P.96)

1. <メニュー>スイッチを押して、**[]**をタッチし、**All Apps**から**[レコーダーリンク]**をタッチする
トップメニューの[レコーダーリンク]でも操作できます。

2. コンテンツリストで再生したいコンテンツをタッチする

レコーダー選択画面が表示された場合は、使用するレコーダーを選択してください。レコーダーを選択するとコンテンツリストが表示されます。

知識

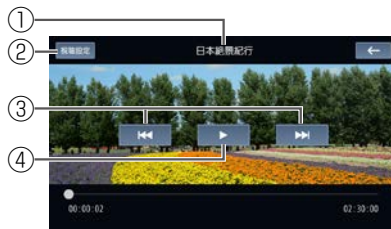
- レコーダーの選択画面はスマートフォンアプリと本機を初めて接続した場合など、レコーダーが選択されていない場合に表示されます。レコーダーが選択されている場合は、前回再生していたコンテンツまたはコンテンツリストが表示されます。
- コンテンツリストが表示されるまで、時間がかかる場合があります。
- スマートフォンアプリ「DiXiM Play for レコーダーリンク」を使用するスマートフォンで、ハンズフリー通話をしている場合、レコーダーと接続できないため再生できません。
- レコーダーまたは本機が接続しているインターネットの回線速度が十分でない場合、コンテンツを再生できないことがあります。推奨速度は次のとおりです。
 - ー ご自宅： 上り 6 Mbps 以上
 - ー スマートフォン： 上り 1 Mbps 以上 / 下り 3 Mbps 以上
- 本機がGPS信号を受信できない場合、本機能を使用できないことがあります。

知識

- レコーダーとの接続が切断された場合は、再接続するか、接続設定画面からレコーダーを再度選択してください。
- コンテンツリスト右上に、使用したモバイルデータの通信量の目安が表示されます。タッチすると詳細を確認できます。
- 手順2で[並べ替え]をタッチするとコンテンツの並び順を変更できます。また、[🔍]をタッチすると、コンテンツの詳細情報を確認できます。
※コンテンツをタイトル順に並べ替えた場合は、UTF-8の文字コード順となります。
- ※再生開始後に[並べ替え]をタッチした場合は、リストの並び順は変わりますが、実際の再生順は更新されません。再生順を変更するには、あらかじめコンテンツリストからコンテンツを選択しなおしてください。
- レコーダーを変更したい場合は、コンテンツリストで[接続設定]をタッチして接続設定画面を表示します。接続設定画面で[レコーダーを変更]をタッチして表示されるレコーダー選択画面で、レコーダーを変更できます。
- コンテンツの構成はレコーダーによって異なります。
- 本機で対応していないコンテンツは選択できません。

再生画面の見かた

(例)映像コンテンツの再生画面



- ① タイトル
- ② 視聴設定
➡ 視聴設定を変更する(P.98)
- ③ 頭出し
- ④ 再生/一時停止

知識

- 再生するコンテンツの種類によって再生画面は異なります。
- レコーダーによっては一部の操作ができない場合や、表示が異なる場合があります。

視聴設定を変更する

1. レコーダーリンクの再生画面から[視聴設定]をタッチする
2. 設定したい項目を選ぶ

項目	設定内容
[映像再生画質]* ¹	映像コンテンツの画質を設定します。
[映像再生バッファサイズ]* ¹	サイズを大きくすると映像が途切れにくくなりますが、再生開始までの時間が長くなります。
[字幕]* ¹ * ²	映像コンテンツの字幕を切り替えます。
[音声]* ¹ * ²	映像コンテンツの音声を切り替えます。

* 1…映像コンテンツによっては設定しても無効となります。

* 2…登録しているレコーダーによっては設定しても無効となります。

ネット動画を見る

ネット動画を見る

本機をインターネットにWi-Fi接続して、各種動画配信サービスをスマートフォンのアプリを使用せずに、本機の画面で視聴できます。

再生する

あらかじめ本機をインターネットにWi-Fi接続(ステーションモード)してください。

➡ 本機をインターネットにWi-Fi接続(ステーションモード)する(P.28)

1. <メニュー>スイッチを押して、**[]**をタッチし、**All Apps**から**[ネット動画]**をタッチする

トップメニューの[ネット動画]でも操作できます。

初めてご使用になるときは、使用許諾契約同意画面が表示されます。内容をお読みになり、[同意する]をタッチすると、本機能をご使用いただけます。

2. 動画サービスメニュー画面から、視聴したい動画配信サービスをタッチする



- ① **[c]**: 動画配信サービスのショートカットの表示を最新の状態に更新(動画配信サービスが増減することがあります)

- ② **[初期化]**: ネット動画のデータを初期化(ログイン情報などの初期化後、ネット動画機能が終了します)

- ③ **[サービス一覧]**: 動画サービス一覧画面を表示

各動画配信サービスのショートカットは、ネットワーク接続し、各動画配信サービスからダウンロードした後に表示されます。

3. 選択したサービス内の動画選択画面から、視聴したい動画をタッチし、再生する

[←]: ブラウザのアクセス履歴の一つ前を表示

[→]: ブラウザのアクセス履歴の一つ後を表示

[c]: 表示中のブラウザ画面を最新の状態に更新

[Q]/[Q]: 表示サイズを変更する

※動画配信サービスによっては意図しない表示サイズになる場合があります。操作したいボタンなどが画面内に表示されていない場合、[Q]で縮小すると表示できることがあります。

[等倍]: 表示サイズを100%表示にする

[動画サービスメニュー]: 動画サービスメニュー画面に戻る

[X]: ネット動画機能を終了する(アクセス履歴が消去されます。)

知識

- ご利用時には通信費用がかかります。
- コンテンツによっては本機では視聴できない場合があります。コンテンツの画質設定を、より低画質に変更すると視聴できるようになる場合があります。
- 再生画面の再生、一時停止などの操作は、選択したコンテンツ内の表示に従って操作してください。
- 動画配信サービスによっては、本書の説明通りに動作しなかったり、映像が一部しか表示されなかったり、音声が意図せずミュートになる場合があります。

知識

※走行中にミュートを解除したい場合は、「走行中は映りません」と表示された状態で画面をタッチするとミュートを解除できます。ただし、コンテンツによっては解除されない場合があります。

- 動画配信サービスによって音量が異なります。ご注意ください。
- しばらく待っても動画が再生されないなどの異常が発生した場合は、[×]ボタンで本機能を終了し、トップメニューなどから再度[ネット動画]をタッチしてください。動画配信サービスのトップ画面が起動します。
- ※動画を全画面表示しているときに異常が発生した場合は、画面を上方向にフリックすると全画面表示を解除できます。
- [×]ボタンでネット動画機能を終了すると、AVがOFFになります。その後<AV>スイッチを長押ししてAVをONにすると、ネット動画ではなくFMが再生されます。
- 動画配信サービスによってはユーザー登録/ログインが必要な場合があります。ユーザー登録/ログインの方法はサービスによって異なります。サービス選択後に、サービス内のユーザー登録/ログインボタンなどを選択してください。

- 動画配信サービスによっては、サービス内の検索ボタンを利用できます。ただし、音声入力を利用できません。
- Apple CarPlay、Android Auto を接続中に本機能を利用すると、Apple CarPlay、Android Auto との接続は解除されます。
- 本機がGPS信号を受信できない場合、本機能を使用できないことがあります。

ネット動画ご利用時の留意点

- 本機が対応しているのはストリーミング再生のみです。ダウンロード再生はできません。
- アプリのインストール、映画やゲーム等のダウンロードなどには対応していません。
- 本機が接続しているインターネットの回線速度が十分でない場合、コンテンツを再生できないことがあります。推奨速度は動画配信サービスによって異なります。
- 動画配信サービスのデザインや仕様は、パソコンやスマートフォンで視聴する場合と異なることがあります。
- 動画サービス一覧画面に表示されていない動画配信サービスは視聴できません。
- 視聴できる動画配信サービスは、予告なく変更される場合があります。

- 視聴できる動画配信サービスの状況については、Webサイト(https://panasonic.jp/car/navi/net-douga/mitsubishi_jyunsei.html)をご覧ください。
- 動画配信サービス提供者の都合またはサービスの仕様変更により、サービスが予告なく変更・停止・終了する場合があります。
- 本機能が使用しているシステムのサポート終了などによって、本機能が終了する場合があります。
- 当社は、本機能における動画配信サービスの提供を保証するものではありません。本機能の変更、停止、中止、終了等に伴う損害について、当社は一切の責任を負いかねます。また、本機能の使用に伴う損害については、法令上責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いかねます。
- 動画配信サービスによっては動画視聴以外の機能をもっている場合がありますが、本機能を動画視聴以外の用途で使用された場合、当社は一切の責任を負いかねます。

動画サービスメニューを編集する

動画サービスメニューには動画配信サービスを最大16個まで表示可能です。

■ 動画サービスメニューに表示させる動画配信サービスを選ぶ

動画サービスメニュー画面で[サービス一覧]をタッチし、動画サービス一覧から、動画サービスメニューに表示させたい項目の「メニューに表示」チェックボックスをONにする



チェックした項目が、動画サービスメニューにショートカットとして表示されます。タッチすることにより、ON/OFFが切り替わります。

[C]:

動画配信サービスの表示を最新の状態に更新(動画配信サービスが増減することがあります)

[動画サービスメニュー]:

動画サービスメニュー画面に戻る

■ ショートカットの配置を変更する

アイコンを約1秒以上タッチした後、ドラッグして移動する



画面の左端/右端までドラッグすると、左となり/右となりの画面に移動します。

BLUETOOTH® Audioを再生する

あらかじめスマートフォンなどのBLUETOOTH®対応オーディオ機器を本機とBLUETOOTH®接続しておく必要があります。

⑤ スマートフォンを本機に登録する(P.26)

<メニュー>スイッチを押して、[]をタッチし、All Appsから[BLUETOOTH Audio]をタッチすると、BLUETOOTH® Audioに切り替わります。

トップメニューの[BLUETOOTH Audio]でも操作できます。



① アルバムアートワーク

② アルバム名・アーティスト名・曲名

③ 順不同に再生(ランダム)

すべてのフォルダの全曲を対象に、順不同に再生します。

タッチするごとに、全曲ランダム/グループランダム/通常再生が切り替わります。

④ AVチューン➡P.82

⑤ BLUETOOTH®設定画面を表示 ➡P.26

⑥ AVの設定などを表示

⑦ 繰り返し再生(リピート)

再生中の曲を繰り返し再生します。

タッチするごとに、1曲リピート/グループリピート/全曲リピート/通常再生が切り替わります。

⑧ 頭出し/早送り・早戻し

タッチすると頭出しができます。

タッチし続けている間、早送り/早戻しすることができます。離すと通常再生に戻ります。

⑨ 再生/一時停止

[]をタッチすると、再生を一時停止します。

[▶]をタッチすると、再生を開始します。

⑩ グループのリストを表示

タッチするとグループのリストが表示され、グループ→曲の順に選んでタッチすると選んだ曲の再生を開始します。

知識

- 本機のBLUETOOTH® Audioで対応しているコーデックは、SBCとAACです。
- 接続機器や音楽再生アプリの説明などをご覧ください。
- 接続機器や音楽再生アプリによっては、接続できなかったり、意図したとおりの動作や表示をしない場合があります(下記は主な例です)。また、音質が低下することがあります。
 - ー 音声出力や画面表示に時間がかかる
 - ー 本機の表示内容が接続機器の表示と一致しない
 - ー 曲名、アーティスト名、アルバム名が表示されない
 - ー 画面表示が更新されない

知識

- 画面表示や操作スイッチの一部が表示されない
- 機能の一部が動作しない
- 本機から操作できない。(その場合は、接続機器で操作してください。)
- スマートフォンを接続し、複数のアプリを起動している場合、本機から操作できなかったり、音声出力と画面表示される楽曲が異なる場合があります。その場合は、**BLUETOOTH®** Audioに切り替える前にすべてのアプリを終了し、**BLUETOOTH®** Audioを接続しなおしてください。
- 接続機器や本機との接続状況によっては、**BLUETOOTH®** Audioを使用する際に、接続機器側の音声出力先を本機に設定する必要がある場合があります。(例:iPod/iPhoneとケーブル接続している場合)
- USB接続したiPod/iPhoneから音楽を再生することを選択している場合は、**BLUETOOTH®** Audio接続は自動で行われません。
- **BLUETOOTH®** Audio 再生とハンズフリーを同時に使用すると、それぞれの通信の状態(接続や音声など)が不安定になることがあります。
- アルバムアートワークの画像データのサイズが大きいと、表示されない場合があります。

- 接続機器にイコライザー機能がある場合には、イコライザーをOFFにしてください。音割れなどの原因となる場合があります。
- Apple CarPlayを本機と接続しているiPhone、Android Autoを本機と接続しているAndroidスマートフォンでは、本機能を利用できません。Apple CarPlay、Android Autoの音楽再生機能をご利用ください。
- ➡ 本機とiPhoneを接続する(P.138)
- ➡ 本機とAndroidスマートフォンを接続する(P.143)

USBメモリーを再生する

本機では、**USBメモリー**を使用して、パソコンなどで保存した音楽、動画の再生ができます。

- ➡ 音楽データの規格について(P.204)
- ➡ 再生可能な動画ファイルについて(P.209)

知識

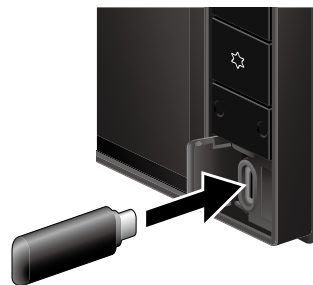
- Apple CarPlay、Android AutoをUSB接続しているとき、USB再生機能は利用できません。

USBメモリーを本機と接続する

1. USB Type-C端子にUSBメモリーを接続する

USB Type-C端子カバーの開き方については、下記をご覧ください。

- ➡ 各部の名称と機能(P.16)



🚗 アドバイス

- USBメモリーの接続口が、濡れたり、破損したり、汚れている場合は故障の原因となりますので接続しないでください。
- AVソースがUSBのときに、USBメモリーの取り付け・取り外しをしないでください。雑音が発生し、スピーカーやデータが破損する原因となる場合があります。
- プラグは確実に差し込んでください。
- 正しく動作しないときは、USBメモリーを本機から外して、約10秒たってから再度接続してください。

📖 知識

- USBメモリーとiPod／iPhone／Android スマートフォンは、同時にはUSB接続できません。
- 長時間使用すると、USBメモリーが温くなっている場合がありますが、故障ではありません。
- 使用するUSBメモリーによって、正しく動作しない場合があります。
- 使用する機器やケーブル／変換アダプター、またはその組み合わせによって、正しく動作しない場合があります。

USBメモリーの音楽を聴く

あらかじめUSBメモリーを本機に接続しておく必要があります。

➡ USBメモリーを本機と接続する(P.103)

<メニュー>スイッチを押して、[]をタッチし、All Appsから[USB]をタッチするとUSBに切り替わります。

トップメニューの[USB]でも操作できます。

再生モード切替画面から[音楽]をタッチし、音楽再生モードに切り替えてください。

➡ USBメモリーから再生するファイルを選ぶ(P.106)



① アルバムアートワーク

② アルバム名・アーティスト名・曲名

③ 順不同に再生(ランダム)

リスト内の全曲を、順不同に再生します。タッチすることにより、フォルダランダム*1／全曲ランダム／通常再生が切り替わります。

④ AVチューン ➡ P.82

⑤ AVの設定などを表示

⑥ 繰り返し再生(リピート)

再生中の曲を繰り返し再生します。

タッチすることにより、1曲リピート／フォルダリピート*1／リピートオールが切り替わります。

⑦ 頭出し／早送り・早戻し

タッチすると頭出しができます。タッチし続けている間、早送り／早戻しすることができます。離すと通常再生に戻ります。

⑧ 再生／一時停止

[]をタッチすると、再生を一時停止します。

[▶]をタッチすると、再生を開始します。

⑨ 再生モード切替画面を表示

➡ USBメモリーから再生するファイルを選ぶ(P.106)

* 1… フォルダの内容は、選曲方法によって異なります。

🚗 アドバイス

- USB再生中にUSBメモリーを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

📖 知識

- アルバムアートワークの画像データのサイズが大きいと、表示されない場合があります。
- 本機ではハイレゾ音源の再生に対応しています。
 - ー ハイレゾ音源とは一般的な音楽CDに入りきらない音の情報をたくさん持った音源のことです。
 - ➡ ハイレゾ音源の再生について(P.208)
 - ー 本機で再生可能なハイレゾ音源はFLAC／WAV形式の音楽ファイルです。再生可能な音楽ファイルについては下記をご覧ください。
 - ➡ 音楽データの規格について(P.204)

USBメモリーの動画を見る

あらかじめUSBメモリーを本機に接続しておく必要があります。

➡ USBメモリーを本機と接続する(P.103)

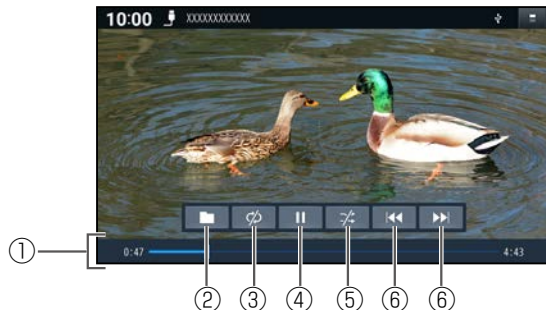
<メニュー>スイッチを押して、[≡]をタッチし、All Appsから[USB]をタッチするとUSBに切り替わります。

トップメニューの[USB]でも操作できます。

再生モード切替画面から[動画]をタッチし、動画再生モードに切り替えてください。

➡ USBメモリーから再生するファイルを選ぶ(P.106)

再生画面にタッチすると、動画操作画面が表示されます。



① 経過時間・再生総時間・タイムバー

② 再生モード切替画面を表示

③ 繰り返し再生(リピート)

再生中の動画を繰り返し再生します。タッチするごとに、1ファイルリピート／フォルダリピート／リピートオールが切り替わります。

④ 再生／一時停止

[⏸]をタッチすると、再生を一時停止します。
[▶]をタッチすると、再生を開始します。

⑤ 順不同に再生(ランダム)

リスト内の全動画を、順不同に再生します。タッチするごとに、フォルダランダム／全ファイルランダム／通常再生が切り替わります。

⑥ 頭出し／早送り・早戻し

タッチすると頭出しができます。タッチし続けている間、早送り／早戻しすることができます。離すと通常再生に戻ります。

アドバイス

- USB再生中にUSBメモリーを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

USBメモリーから再生するファイルを選ぶ

音楽再生の場合、リストを絞って選曲することができます。(アーティスト別、アルバム別など)

1.  をタッチする
2. ファイルの種類を選んでタッチする

[音楽]：音楽再生

手順3へ

[動画]：動画再生

続けて再生したいフォルダ・ファイルを選んでタッチする

■いろいろな方法で選曲する(音楽再生の場合のみ)

3. 選曲するリストを選んでタッチする

[アルバム]	アルバムのリストを表示
[アーティスト]	アーティストのリストを表示
[全曲]	全曲を表示(リストを絞らない)
[フォルダ]	フォルダのリストを表示

4. 項目を選んでタッチしてリストを絞る

[ALL]：選んだリストの全曲を表示
(リストを絞らない)

5. リストから曲を選んでタッチする

選んだ曲を再生します。

知識

- 曲数が多い場合は、選曲できるようになるまで時間がかかることがあります。

iPod / iPhoneを再生する

iPod / iPhoneを接続する

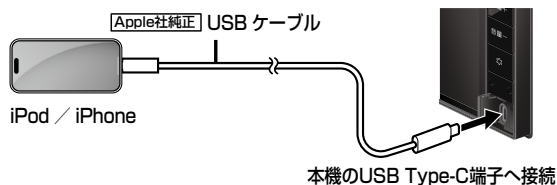
iPod / iPhoneからリモコンやヘッドホンを外し、iPod / iPhoneの電源を入れ、本機に接続してください。

USB Type-C端子カバーの開き方については、下記をご覧ください。

➡ [各部の名称と機能\(P.16\)](#)

※ Apple CarPlayの利用を確認する画面が表示された場合は、[いいえ]をタッチしてください。

➡ [USBケーブルで接続する\(P.140\)](#)



■ 本機で接続確認済みのiPod / iPhone

本機で接続確認済みのiPod / iPhoneは下記をご覧ください。

※ 2025年1月現在

機種：

iPhone 16 Pro Max, iPhone 16 Pro,
iPhone 16 Plus, iPhone 16,
iPhone 15 Pro Max, iPhone 15 Plus,
iPhone 15 Pro, iPhone 15,
iPhone 14 Pro Max, iPhone 14 Plus,
iPhone 14 Pro, iPhone 14,
iPhone SE 第3世代,

iPhone 13 Pro Max, iPhone 13 Pro,
iPhone 13, iPhone 13 mini,
iPhone 12 Pro Max, iPhone 12 Pro,
iPhone 12, iPhone 12 mini,
iPhone SE 第2世代,
iPhone 11 Pro Max, iPhone 11 Pro,
iPhone 11,
iPod touch 第7世代

※左記は本機のiPod再生機能での音楽再生に関するものです。他のソース、他の機能での使用可否を記載しているものではありません。

iPod／iPhoneを再生する

<メニュー>スイッチを押して、**[]**をタッチし、**All Apps**から**[iPod]**をタッチする

iPod再生画面



- ① **アルバムアートワーク**
- ② **繰り返し再生(リピート)**
再生中の曲を繰り返し再生します。タッチするごとに、全曲リピート*1／1曲リピート／通常再生が切り替わります。
- ③ **頭出し／早送り・早戻し**
タッチすると頭出しができます。タッチし続けている間、早送り／早戻しすることができます。離すと通常再生に戻ります。曲の最後まで早送りした場合、通常の再生に戻り、次の曲を再生します。
- ④ **再生／一時停止**
[]をタッチすると、再生を一時停止します。

- ⑤ **順不同に再生(ランダム)**
リスト内*2の全曲を順不同に再生します。再度タッチすると、通常の再生に戻ります。
- ⑥ **AVチューン**
➡ **AV設定をする(P.82)**
- ⑦ **選曲モード設定画面を表示**
➡ **選曲方法を選んで選曲する(選曲モード)(P.108)**

- * 1…リピートのしかたは、選曲方法によって異なります。
➡ **選曲方法を選んで選曲する(選曲モード)(P.108)**
- * 2…リストの内容は、選曲方法によって異なります。
➡ **選曲方法を選んで選曲する(選曲モード)(P.108)**

🚗 アドバイス

- AVソースがiPodのときに、iPod／iPhoneの接続・取り外しをしないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する原因となる場合があります。
- iPod／iPhoneの説明書もよくお読みください。

選曲方法を選んで選曲する(選曲モード)

リストを絞って選曲することができます。

1. **[]**をタッチする
2. 選曲するリストをタッチする

[再生中のプレイリスト]：

再生中のプレイリストから選曲

[全曲]：

全アルバムの全曲から選曲

[アルバム]：

アルバム別で選曲

[アーティスト]：

アーティスト別で選曲

[ポッドキャスト]：

ポッドキャストから選曲

[ジャンル]：

ジャンル別で選曲

[プレイリスト]：

プレイリスト、またはラジオから選曲

[作者]：

作者別で選曲

[オーディオブック]：

オーディオブックから選曲

3. リストから項目をタッチする

[ALL]：

タッチした選曲方法から全曲を表示

4. リストから曲をタッチする

タッチした曲を再生します。

iPod／iPhoneの再生について

 アドバイス

- 無理な接続や取り外しをすると、接続したiPod／iPhone本体およびプラグが破損するおそれがあります。プラグの向きにご注意ください。
- iPod／iPhoneの接続口が、濡れたり、破損したり、汚れている場合は故障の原因となるため接続しないでください。
- プラグは確実に差し込んでください。
- iPod／iPhoneの接続・取り外しをするときにケーブルを引っ張らないでください。
- 本機の電源を切ったあとは、必ずiPod／iPhoneを取り外してください。iPod／iPhoneの電源が切れず、iPod／iPhoneの電池を消耗することがあります。
- iPod／iPhoneが正しく動作しないときは、本機からiPod／iPhoneを取り外してリセットし、再度接続してください。
- iPod／iPhoneに楽曲を追加する操作を行う場合は、iPod／iPhoneを本機から取り外してください。
- 接続中はiPod／iPhone本体を操作しないでください。(正しく動作しない場合があります。)

 知識

- iPod／iPhone本体のイコライザー設定は解除してください。音質が悪くなる場合があります。
- iPod／iPhoneとUSBメモリーは、同時には接続できません。
- iPod／iPhoneの動作状態によっては、充電に時間がかかる、または充電されない場合があります。
- 使用する機器やケーブル、またはその組み合わせによって、正しく動作しない場合があります。
- iPod／iPhoneの動作やバージョンアップされるiPod／iPhone、ソフトへの対応は、保証いたしかねます。
- 本機と接続してiPod／iPhoneを使用中に、iPod／iPhoneのデータが消失した場合は、その補償はいたしかねます。
- iPod／iPhoneの音楽再生機能は、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- iPod／iPhoneを接続図のとおり接続すると、そちらでの接続が優先されるため、iPhoneでレコーダーリンク／NaviCon[®]の機能は利用できません。
- ➡ iPod／iPhoneを接続する(P.107)

 知識

- iPod／iPhoneのビデオ再生には対応していません。
- iPod touch／iPhoneを接続して使用する際は、iPod touch／iPhone本体側のアプリケーションを終了してから使用してください。音飛びや誤動作の原因となる場合があります。
- 本機への接続前と取り外し後で、iPod／iPhoneの音楽再生機能のリピートやシャッフルなどの設定が変わる場合があります。
- ケーブルで接続したiPod／iPhoneを**BLUETOOTH[®]** Audio機器としても登録している場合は、USB接続でiPod／iPhoneの音楽を再生するか、**BLUETOOTH[®]** Audio機器として接続するかを選んでください。**BLUETOOTH[®]** Audio機器として接続することを選んだ場合も充電されます。
- Apple CarPlay、Android Auto を利用しているとき、本機能は利用できません。

■アルバムアートワーク

アルバムアートワークの表示サイズは、iPod／iPhoneの仕様により異なります。

●アルバムアートワークは、下記の場合表示されません。

- アルバムアートワークがない
- アルバムアートワーク取得中
- 本機でアルバムアートワークを表示できないiPod／iPhoneを接続している

※画像データのサイズが大きいと、表示されない場合があります。

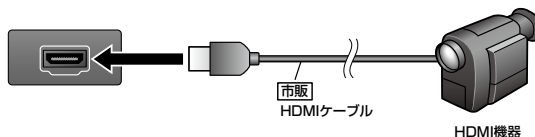
外部機器の映像／音声を視聴する

HDMI端子に外部機器を接続することで、映像や音声を視聴できます。

外部機器の接続について

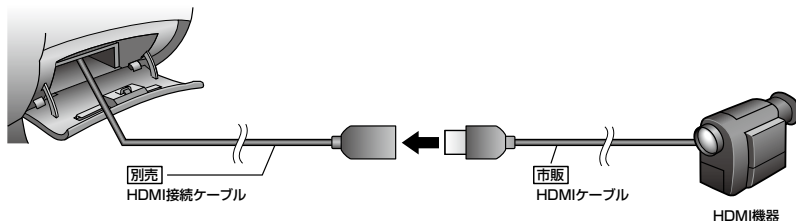
本機はHDMI出力に対応した外部機器と以下の方法で接続できます。

■ HDMIソケットで接続



■ HDMI接続ケーブルで接続

グローブボックスなど



🚗 アドバイス

- 外部機器の接続口が、濡れたり、破損したり、汚れている場合は故障の原因となるため接続しないでください。

📖 知識

- 市販のHDMIケーブルを接続する場所は、車種によって異なります。詳しくは三菱自動車販売会社にご確認ください。

外部機器の映像を見る／音声を聴く

1. 外部機器を本機と接続する

➡ 外部機器の接続について(P.111)

2. 本機を起動し、外部機器の電源を入れる

- ### 3. <メニュー>スイッチを押して、[] をタッチし、All Appsから、[HDMI] を選ぶ

トップメニューの[HDMI]でも操作できます。

4. 外部機器を操作する

🚗 アドバイス

- 接続する前に、外部機器と本機の電源を切ってください。(本機の電源を入れたままAV機器やポータブルオーディオ機器などを接続したり、外したりするとノイズが出ることがあります。)
- 電源を切るときは、接続した機器の電源を切ってから本機の電源を切ってください。

知識

- 操作のしかたはそれぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続した機器によっては映像や音声が出ない場合があります。
- 接続した機器に音量調整機能がある場合は、本機の音声とバランスをとるよう調整してください。
- Apple CarPlayまたは Android Autoとして使用している機器をHDMIソースで使用する場合は、動作を保証できません。

HDMI ソースについて

- 対応している映像信号は次のとおりです。
 - 1 920 × 1 080i(60 Hz)
 - 1 280 × 720p(60 Hz)
 - 720 × 480p(60 Hz)
 - 640 × 480p(60 Hz)
- HDMIケーブルで接続した機器の音声は**BLUETOOTH®**で接続されている場合、HDMIで音声が出ないことがあります。そのような場合は機器側の**BLUETOOTH®**の接続をOFFにしてからHDMIを使用してください。

カメラシステム

リヤビューカメラを使う	P.114
マルチアラウンドモニター(移動物検知機能付)を使う	P.119

三菱自動車オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー

三菱自動車オリジナルナビゲーション連動 ドライブレコーダーの映像を見る	P.120
録画／記録したファイルを再生する	P.121
ファイルを保護／解除する	P.123
ファイルを消去する	P.124
三菱自動車オリジナルナビゲーション連動 ドライブレコーダーの設定をする	P.125
三菱自動車オリジナルナビゲーション連動 ドライブレコーダーのmicroSD カードを 初期化(フォーマット)する	P.127

ETC

ETC2.0 車載器の設定をする	P.128
ETC2.0 車載器からの情報を見る	P.130

リヤビューカメラを使う

本機にディーラーオプションのリヤビューカメラを接続すると、画面に車両後方の映像を表示できます。

ご使用になる前に

■取り扱い上のご注意

●カメラには強い衝撃を与えない

カメラ部は精密機器のため、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。破損して火災・感電の原因となることがあります。



●カメラを汚さない

ーカメラ部に泥・雨滴・雪などが付着すると、リヤビューカメラの映りが悪くなりますので、乾いた柔らかい布で汚れを拭き取ってください。



ーカメラ部に泥・雪などが付着して、泥が固まったり、氷がついたりしているときは、棒などでたたいて泥や氷を落とさず、ぬるま湯をかけて洗い流してください。破損して火災・感電の原因となる場合があります。

●タバコなどの火気を近づけない

カメラやコード類にタバコなどの火気を近づけないでください。破損や発火の原因となることがあります。

●安全な保守・点検を行うために

ーカメラレンズ部はキズを付けない

ボディ洗車する場合やカメラレンズ部の汚れを拭き取る際はキズを付けないよう注意してください。カメラレンズ部への洗車ブラシ等のご使用はしないでください。リヤビューカメラ映像への影響がでることがあります。

ーボディワックスはカメラレンズ部に付けない

ボディワックスをかける場合は、ワックスがカメラレンズ部に付かないよう注意してください。カメラレンズ部のコーティング性能を劣化させる原因となることがあります。

●ベンジン・シンナー等でカメラを拭かない

アルコール・ベンジン・シンナー等でカメラを拭かないでください。変色及びカ

メラレンズ部のコーティング性能の劣化などの原因となります。汚れを落とすと



きは、ぬれた柔らかい布で拭いてから、拭きをしてください。

●部分的に明るい光を映したとき、画面が白くぼやけて見えにくくなることがありますが、故障ではありません。

●無線機のアンテナを近くに取り付けない
無線機の電波がケーブルに飛び込むと、リヤビューカメラ映像にナナメの縞模様が出る場合があります。

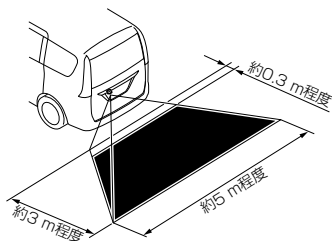
使用方法

■リヤビューカメラの映像を映し出すには

1. 車両のキースイッチをONにする
2. 車両のシフトレバーをリバースに入れる

リヤビューカメラ映像が自動的に映し出されます。

■ リヤビューカメラの映し出す範囲(イメージ図)



※車種によりリヤビューカメラの映し出す範囲が異なります。

アドバイス

- カメラのレンズ部が汚れていると、映りが悪くなりますので清掃してください。

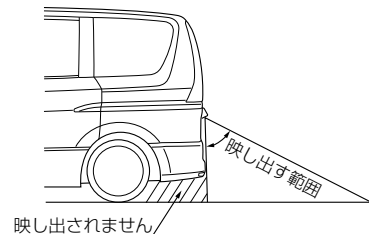
知識

- シフトレバーをリバース以外にすると、もとの画面に戻ります。可動式ディスプレイ付き車は自動格納されない機種もあります。手動または格納スイッチを操作してください。
- 次のような場合は、リヤビューカメラの映像が見づらくなることがありますが、故障ではありません。
 - ー 暗いところ(夜間など)や極端に暑いとき(寒いとき)は、映りが悪くなることがあります。
 - ー 直接カメラに強い光が入ると、映像に影響が出ることがあります。
 - ー 蛍光灯等の照明の下では、画面がちらつくことがあります。
 - ー バンパーなどからの強い反射光が入ると、映像に影響が出ることがあります。

■ リヤビューカメラ使用時のご注意

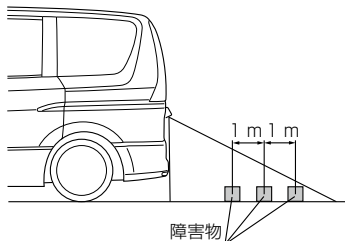
警告

- リヤビューカメラが映し出す範囲には限界があります。後退するときは、直接目で後方および周囲の安全を確認しながら後退を開始してください。
- リヤビューカメラの映像は後方確認の補助手段としてご使用ください。
- リヤビューカメラの映像だけを見ての後退は絶対に行わないでください。

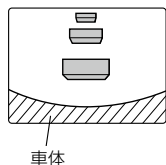


⚠ 注意

- リヤビューカメラの映像は広角レンズを使用しておりますので、実際の距離と感覚が異なります。ゆっくり後退してください。
- リヤビューカメラの映像はバックミラーやサイドミラーで見るのと同じ左右反転させた鏡像です。



リヤビューカメラ映像画面



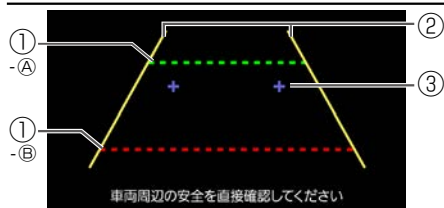
📖 知識

- 夜間や暗い場所、照明の下などではカメラの映像と実際の色味が異なることがあります。
- ディスプレイ表示の優先順により、リヤビューカメラの映像が映らないときや、リヤビューカメラの映像表示中に他の画面が割り込むことがあります。
- リヤビューカメラの作動中は、他画面の操作ができません。ナビゲーション等の操作を行う場合は、車両のシフトレバーをリバース以外にしてください。
- 字光式ナンバープレートを装着すると、リヤビューカメラの映像が一部映らなくなることがあります。

目安線の表示／非表示を切り替える

1. <メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[システム情報・設定]→[カメラ設定]をタッチする
2. [目安線]の[ON]／[OFF]をタッチする

目安線の見かた



① 距離目安線

車両後方の距離の目安を表示します。

① 緑：車両後端約 2 m

② 赤：車両後端約 0.5 m

② 車幅目安線

後退したときの車幅の目安を表示します。

③ バックドア開閉目安点

バックドアの開閉に必要なスペースの目安を表示します。

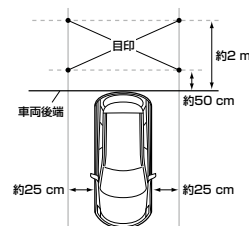
アドバイス

- 夜間や暗い場所など、使用状況により画質が低下する場合があります。
- リヤビューカメラの映像に表示される車幅・距離目安線は、実際の車幅・距離間隔と異なる場合があります。
- 直接目で後方および周囲の安全を確認しながら後退を開始してください。リヤビューカメラの映像は後方確認の補助手段としてご使用ください。

目安線を調整する

■ 距離目安線と車幅目安線を調整する

1. 図のように、4点の目印を付ける

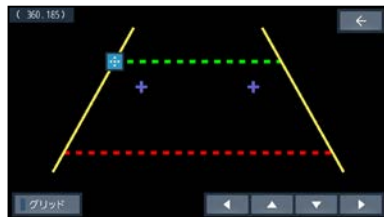


2. <メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[システム情報・設定]→[カメラ設定]をタッチする

3. [目安線]の[ON]をタッチする

4. [調整]をタッチする

5. 目安線の調整したい点をタッチして、表示された $\oplus$ が、手順1.で付けた目印と重なるよう $[\blacktriangle]$ ／ $[\blacktriangledown]$ ／ $[\blacktriangleleft]$ ／ $[\blacktriangleright]$ で調整する。



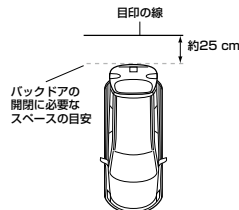
6. 4点の調整が終了したら、 $[\leftarrow]$ をタッチする

知識

- ガムテープなどで目印を付けてください。
- 車種によってはリヤビューカメラの取付位置により、目安線が車両にかかる場合があります。
- $[\text{グリッド}]$ をタッチするとグリッド線を表示します。

■バックドア開閉目安点を調整する

1. 図のように、目印の線をつける

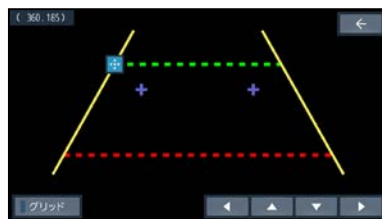


2. <メニュー>スイッチを押して、 $[\text{情報・設定}] \rightarrow [\text{システム情報・設定}] \rightarrow [\text{カメラ設定}]$ をタッチする

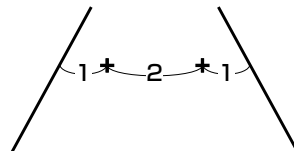
3. $[\text{目安線}]$ の $[\text{ON}]$ をタッチする

4. $[\text{調整}]$ をタッチする

5. $[\oplus]$ をタッチして、 $[\blacktriangle]$ ／ $[\blacktriangledown]$ で、手順1.で付けた目印の線と重なるように調整する



6. $[\oplus]$ をタッチして、 $[\blacktriangleleft]$ ／ $[\blacktriangleright]$ で車幅目安線との間隔がおおよそ1:2:1になるよう調整する



7. 2点の調整が終了したら、 $[\leftarrow]$ をタッチする



アドバイス

- リヤビューカメラ画面上の $[\oplus]$ はバックドアの開閉に必要なスペースの目安点です。これ以上車両を後退させるとバックドアを開いたとき障害物とぶつかる危険性があります。



知識

- ガムテープなどで目印を付けてください。
- $[\text{グリッド}]$ をタッチするとグリッド線を表示します。

マルチアラウンドモニター(移動物検知機能付)を使う

マルチアラウンドモニター搭載車に本機を装着すると、マルチアラウンドモニターの映像を表示できます。※車種によっては、モニター名称が異なります。

映像を本機で見る

■映像を表示する

< ☆ >スイッチ(オプションスイッチ)を押す、または車両のシフトレバーをリバースに入れる

※車種によっては、< ☆ >スイッチを操作しても表示できない場合があります。
この場合、車両側のスイッチを操作して表示してください。

■映像を非表示にする

< ☆ >スイッチ(オプションスイッチ)を数回押す

走行速度が上がると、マルチアラウンドモニターの映像からもとの画面に切り替わります。

※車種によっては、< ☆ >スイッチを操作しても非表示にできない場合があります。
この場合、車両側のスイッチを操作して非表示にしてください。

■ビューを切り替える

本機に映像が表示された状態で< ☆ >スイッチ(オプションスイッチ)を押す

アドバイス

- マルチアラウンドモニターの注意事項および詳しい操作方法については、車両の取扱説明書をご覧ください。

知識

- マルチアラウンドモニターの映像を表示中は、映像の表示を優先するため、一部のスイッチが操作できない場合があります。
- 車種によっては、本機の画面にマルチアラウンドモニターの映像を表示できない場合があります。

ソナーのON / OFFを切り替える

ソナー付きのマルチアラウンドモニター装着車の場合、本機でソナーのON / OFFを切り替えることができます。

< ☆ >スイッチ(オプションスイッチ)を長押しする

アドバイス

- ソナーについて詳しくは車両の取扱説明書をご覧ください。

知識

- 車種によってはソナーのON / OFFができない場合があります。

移動物検知機能のON / OFFを切り替える

マルチアラウンドモニター(移動物検知機能付)装着車の場合、本機で移動物検知機能のON / OFFを切り替えることができます。

< ☆ >スイッチ(オプションスイッチ)を長押しする

アドバイス

- 移動物検知機能について詳しくは車両の取扱説明書をご覧ください。

知識

- 車種によっては移動物検知機能のON / OFFができない場合があります。

三菱自動車オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの映像を見る

別売の三菱自動車オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーを接続している場合、本機の画面で三菱自動車オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの映像を見ることができます。

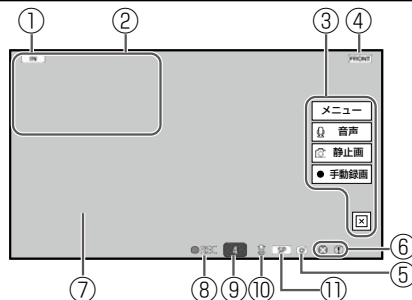
※DJ6-Dを例に説明します。ご利用のドライブレコーダーによっては、対応する機能や操作方法などが異なる場合があります。

三菱自動車オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの映像を見る

<メニュー>スイッチを押して、**[]**をタッチし、**All Apps**から**[ドライブレコーダー]**をタッチする

トップメニューの**[ドライブレコーダー]**でも操作できます。

三菱自動車オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー映像画面の見た



- ① インカメラアイコン()またはリヤカメラアイコン()
- ② リヤまたはイン常時録画映像
- ③ 操作ボタン
手動録画をしたり、静止画の撮影などをします。
操作ボタンは、映像画面をタッチすると表示されます。
- ④ フロントカメラアイコン(**FRONT**)または)
- ⑤ 静止画撮影マーク
静止画を撮影したときに表示します。
- ⑥ エラーマーク
 - : 手動録画不可
 - : イベント記録不可
 - : 駐車録画不可
- ⑦ フロント常時録画映像
- ⑧ 録画マーク
 - : 常時録画中
 - : 手動録画中
 - : イベント記録中
 - : 録画停止中
- ⑨ 録画終了までの残り秒数
手動録画中／イベント記録中の録画終了までの残り秒数を表示します。
- ⑩ 音声記録マーク
 - : 音声記録 ON
 - : 音声記録 OFF
- ⑪ 録画画質マーク
 - UXP** : 最高画質
 - XP** : 高画質
 - SP** : 標準画質
 - LP** : 長時間画質

操作ボタン

[X]	操作ボタンを消します。
[メニュー]	三菱自動車オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーのメニュー画面を表示します。
[音声]	常時録画の音声記録ON/OFFを切り替えます。
[静止画]	静止画を撮影します。
[手動録画]	手動録画を行います。

アドバイス

- 三菱自動車オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの注意事項および詳しい操作方法については、三菱自動車オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- 走行中は、ドライブレコーダーの映像は表示されません。安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけた状態でご覧ください。

知識

- 走行中はドライブレコーダーの映像は表示できません。
- 三菱自動車オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーは、パソコンとビューアソフトを使って、ファイルの再生やバックアップなどを行うことができます。詳しくは三菱自動車オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- 三菱自動車オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーには、「フロント+リヤ」と「フロント+イン」の2種類があります。「イン」カメラをオフに切り替えた場合、「フロント」の映像のみが表示されます。
- [音声]では手動録画とイベント記録の音声記録ON/OFFの切り替えはできません。
- 手動録画中に[手動録画]をタッチすると手動録画を延長できます。
- 地図画面のダイレクトボタンで手動録画/静止画撮影することもできます。
-  現在地の地図表示(P.32)
- 地図画面を表示したまま、右画面でドライブレコーダーの映像を見ることができます。
-  右画面表示をする(P.41)

録画/記録したファイルを再生する

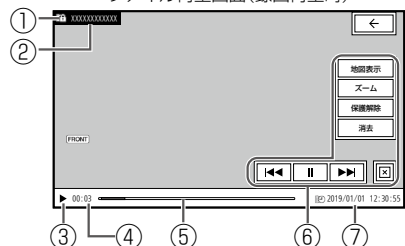
別売の三菱自動車オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーで録画/記録したファイルを本機で再生できます。

録画/記録したファイルを再生する

1. <メニュー>スイッチを押して、をタッチし、All Appsから[ドライブレコーダー]をタッチする
トップメニューの[ドライブレコーダー]でも操作できます。
2. 画面をタッチし、[メニュー]→[ファイル再生]をタッチする
3. フォルダを選んでタッチする
4. 再生したいファイルを選んでタッチする

三菱自動車オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー再生画面の見かた

ファイル再生画面(録画再生時)



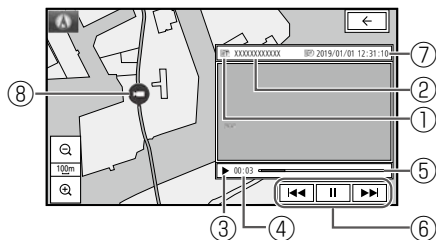
[地図表示]を
タッチ

↑

↓

[◀]を
タッチ

ファイル再生画面(地図表示時)



- ① 保護マーク
再生中のファイルが保護されていると表示します。
- ② ファイル名

③ 動作状態

- ▶ : 通常再生 ▶▶ : 早送り
◀◀ : 早戻し || : 一時停止
|▶ : スロー送り ◀| : スロー戻し
📹 : 静止画ファイル再生

④ 再生時間

⑤ プログレスバー

再生の進捗を表示します。

⑥ 操作ボタン

タッチして地図画面と2画面にしたり、早送りや一時停止などをします。操作ボタンが消えている場合は、ファイル再生画面をタッチすると表示されます。

⑦ 再生ファイルの日時

⑧ 撮影地点マーク

操作ボタン

[X]	操作ボタンを消します。
[地図表示]	画面を2つに分け、地図画面と再生画面を表示します。
[ズーム]	映像を拡大／縮小します。 📹 映像を拡大／縮小する (P.123)
[保護]／ [保護解除]	再生中のファイルの保護↔ 保護解除が切り替わります。 ※常時録画ファイルは保護できません。

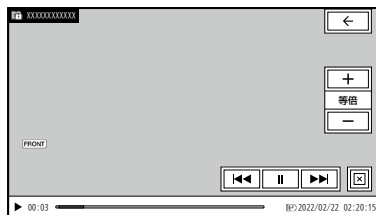
[消去]	再生中のファイルを消去します。 ※保護されているファイルは消去できません。
[◀◀]	前のファイルに戻します。 録画ファイルの再生中にタッチしたままにすると、早戻しします。 録画ファイルの一時停止中にタッチしたままにすると、スロー戻しします。
[/ ▶]	一時停止／再生します。
[▶▶]	次のファイルに進めます。 録画ファイルの再生中にタッチしたままにすると、早送りします。 録画ファイルの一時停止中にタッチしたままにすると、スロー送りします。

知識

- [地図表示]をタッチして表示された地図画面では、地図のスクロールができません。
- 本機の電源を入れてから三菱自動車オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーとの接続を認識できるまでの間など、録画中に位置情報を記録できない場合があります。この場合、地図画面は表示されません。

■映像を拡大／縮小する

ファイル再生画面で[ズーム]をタッチすると、ズーム操作ボタンを表示します。



ズーム操作ボタン

[X] / [K]	ズーム操作ボタンの非表示 ↔ 表示が切り替わります。
[+]	映像を拡大します。
[-]	映像を縮小します。

知識

- 選べる倍率は、等倍、2倍、4倍です。

ファイルを保護／解除する

別売の三菱自動車オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーで録画／記録したファイルを保護したり、保護を解除したりすることができます。

ファイルを選んで保護／解除する

1. <メニュー>スイッチを押して、[≡]をタッチし、All Appsから[ドライブレコーダー]をタッチする
トップメニューの[ドライブレコーダー]でも操作できます。
2. 画面をタッチし、[メニュー]→[ファイル再生]をタッチする
3. フォルダを選んでタッチする
4. [ファイル管理]→[ファイルを選択して保護]をタッチする
5. リストから保護したいファイルを選んでタッチし、✓印を付ける
タッチするたびに✓印の表示 ↔ 非表示が切り替わります。
6. [決定]をタッチする

保護されたファイルに(🔒)が表示されます。

知識

- 常時録画ファイルは保護できません。
- [全選択]をタッチするとすべてのファイルに✓印を付けます。
- [全解除]をタッチするとすべてのファイルの✓印を消します。

ファイルを消去する

別売の三菱自動車オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーで録画／記録したファイルを消去できます。

ファイルを選んで消去する

1. <メニュー>スイッチを押して、**[≡]**をタッチし、**All Apps**から**[ドライブレコーダー]**をタッチする

トップメニューの**[ドライブレコーダー]**でも操作できます。

2. 画面をタッチし、**[メニュー]**→**[ファイル再生]**をタッチする
3. フォルダを選んでタッチする
4. **[ファイル管理]**→**[ファイルを選択して消去]**をタッチする
5. リストから消去したいファイルを選んでタッチし、**✓**印を付ける

タッチするたびに**✓**印の表示↔非表示が切り替わります。

6. **[決定]**をタッチする

✓印を付けたファイルが消去されます。

知識

- 保護されたファイルは消去できません。
- [全選択]をタッチするとすべてのファイルに**✓**印を付けます。(保護されたファイルは**✓**印が付きません。)
- [全解除]をタッチするとすべてのファイルの**✓**印を消します。

フォルダ内のファイルをすべて消去する

1. <メニュー>スイッチを押して、**[≡]**をタッチし、**All Apps**から**[ドライブレコーダー]**をタッチする
トップメニューの**[ドライブレコーダー]**でも操作できます。
2. 画面をタッチし、**[メニュー]**→**[ファイル再生]**をタッチする
3. フォルダを選んでタッチする
4. **[ファイル管理]**→**[フォルダ内のファイルを全て消去]**をタッチする

知識

- 保護されたファイルは消去できません。

三菱自動車オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの設定をする

別売の三菱自動車オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーを接続している場合、本機で三菱自動車オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの設定を行うことができます。

三菱自動車オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの設定をする

1. <メニュー>スイッチを押して、**[]** をタッチし、**All Apps** から **[ドライブレコーダー]** をタッチする
トップメニューの **[ドライブレコーダー]** でも操作できます。
2. 画面をタッチし、**[メニュー]** をタッチする
3. 設定項目を選んでタッチする

設定項目

[駐車録画設定]	[録画時間]	駐車録画の録画時間を [15 秒間] / [30 秒間] / [1 分間] から選んで設定できます。 [録画しない] に設定すると、駐車録画を行いません。
	[録画待機開始時間]	車両のキースイッチを OFF にした直後から一定時間、駐車録画を無効にするよう設定できます。 [降車 30 秒後から] / [降車 1 分後から] / [降車 3 分後から] から選んで無効にする時間を設定してください。 [降車時から] に設定すると、車両のキースイッチを OFF にした直後から駐車録画が有効になります。
	[録画待機終了時間]	車両のキースイッチを ACC または ON にする直前の一定時間、駐車録画を無効にするよう設定できます。 [乗車 30 秒前まで] / [乗車 1 分前まで] / [乗車 3 分前まで] から選んで無効にする時間を設定してください。 [乗車時まで] に設定すると、車両のキースイッチを ACC または ON にする直前の駐車録画を無効にしません。
	[上書き保存]	駐車録画のファイル数がいっぱいになると、古い駐車録画ファイルから順に上書き [ON] / [OFF] を設定できます。
	[感度設定]	駐車録画を開始する検出の感度を 5 段階で設定できます。

三菱自動車オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー

[動画記録設定]	[動画画質]	録画する映像の画質を[最高画質(UXP)]/[高画質(XP)]/[標準画質(SP)]/[長時間画質(LP)]から選んで設定できます。
	[音声記録]	録画時に音声を記録するかどうかを[しない]/[常時録画のみ]/[手動・イベント・駐車録画]/[全ての録画]から選んで設定できます。
	[上書き保存(手動)]	手動録画のファイル数がいっぱいになると、古い手動録画ファイルから順に上書き[ON]/[OFF]を設定できます。
	[上書き保存(イベント)]	イベント記録のファイル数がいっぱいになると、古いイベント記録ファイルから順に上書き[ON]/[OFF]を設定できます。
	[感度設定(イベント)]	イベント記録を開始する検出の感度を5段階で設定できます。
[システム設定]	[通知音量]	[－]/[+]をタッチして、三菱自動車オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの報知音の音量を設定できます。
	[再生音量]	[－]/[+]をタッチして、ファイルの再生音声の音量を設定できます。
	[設定を初期化する]	[はい]をタッチして、三菱自動車オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの設定をお買い上げ時の状態に戻します。
	[システムバージョン]	三菱自動車オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーのシステムバージョンを表示します。
[SDカード初期化]		三菱自動車オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーのmicroSDカードを初期化(フォーマット)します。
[システム更新]		三菱自動車オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーのシステムを更新します。 ※システム更新については三菱自動車販売会社にお問い合わせください。

知識

- 三菱自動車オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの報知音やファイル再生音声は、三菱自動車オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー本体のスピーカーから出力されます。

三菱自動車オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーのmicroSDカードを初期化(フォーマット)する

別売の三菱自動車オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーのmicroSDカードを初期化(フォーマット)します。

※本操作では本機に挿入されたmicroSDカードは初期化されません。

microSDカードを初期化(フォーマット)する

1. <メニュー>スイッチを押して、
[>]をタッチし、All Appsから[ドライブレコーダー]をタッチする
トップメニューの[ドライブレコーダー]でも操作できます。
2. 画面をタッチし、[メニュー]をタッチする
3. [SDカード初期化]をタッチする



アドバイス

- microSDカードを初期化(フォーマット)すると、保護したファイルを含めすべてのデータが消去されます。必要なデータがある場合は、必ずパソコンなどにバックアップしてから初期化(フォーマット)してください。

ETC2.0車載器の設定をする

ETCの利用について

 アドバイス

必ず、ETCシステム利用規定などをお読みください

- ETCシステム利用規程、ETCカードの利用約款などに、ご利用上の注意事項が記載されています。ETCのご利用前に、必ずお読みください。
- 利用規定などは、道路事業者の「供用約款」と合わせて「約款」となりますので、遵守事項については必ずお守りください。
- ETC2.0車載器について詳しくは取扱説明書をご覧ください。接続可能なETC2.0車載器の詳細は三菱自動車販売会社へご相談ください。
- ETCをご利用になるときの事前準備、ご利用時の諸注意、および取り扱い方法については、ETC2.0車載器に添付の取扱説明書をご覧ください。
- ETCを使用する前は、必ずETCカードに記載されている有効期限を確認してください。

ETC情報の案内に関する設定

別売のETC2.0車載器を接続している場合は、本機でETCの設定を行うことができます。

1. <メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[ナビ情報・設定]→[ナビ設定]→[ETCの音声案内設定]をタッチする。
2. 各項目を設定する

設定項目

[ETC音 声 案内]	[ON]: 利用料金などを、 本機から音声で案内する [OFF]: ETC音 声 案内しない
[カード入れ忘れ案内]	[ON]: 本機の電源がONになったときにETCカードが挿入されていない場合、本機から音声で案内する* ¹ [OFF]: カード入れ忘れ案内しない

[カード抜き忘れ案内]

[ON]: 本機の電源がOFFになったときにETCカードが取り出されずに車載器に残っている場合、本機から音声で案内する*¹
[OFF]: カード抜き忘れ案内しない

* 1…ETC 音声案内を[OFF]に設定しても案内します。

 知識

- ETCカード有効期限切れについては、[ETC音声案内]を[OFF]に設定しても本機から音声案内します。
- 各設定項目を[OFF]に設定しても、タイミングによっては、ETC2.0車載器のスピーカーから音声案内する場合があります。

ETC2.0割込み設定

別売のETC2.0車載器を接続している場合、ETC2.0の交通情報サービスの利用や、ETC2.0の設定ができます。

1. <メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[ナビ情報・設定]→[ナビ設定]→[渋滞設定]をタッチする

2. 各項目を設定する

設定項目

項目	設定内容
[ETC2.0受信音]	[ON] : ETC2.0サービスからVICS情報を受信すると、受信音を鳴らす [OFF] : ETC2.0サービスからVICS情報を受信しても、受信音を鳴らさない ※安全運転支援情報、ローカル安全運転支援情報、注意警戒情報、ローカル注意警戒情報、新緊急メッセージを受信したときは、設定にかかわらず受信音を鳴らします。
[ETC2.0割込み]	[ON] : ETC2.0サービスからVICS情報を受信すると、割込み表示する [OFF] : ETC2.0サービスからVICS情報を受信しても、割込み表示しない ※安全運転支援情報、ローカル安全運転支援情報、注意警戒情報、ローカル注意警戒情報、新緊急メッセージを受信したときは、設定にかかわらず割込み表示します。 ※ VICS情報の割り込み表示については下記をご覧ください。 ➡ <u>画像・音声情報のVICS情報を受信すると(ETC2.0)(P.70)</u>
[ETC2.0自動音声再生]	[ON] : ETC2.0サービスからVICS情報を受信すると、自動的に音声案内する [OFF] : ETC2.0サービスからVICS情報を受信しても、自動的に音声案内しない
[ETC2.0アップリンク]	[ON] : 本機で収集した情報を、ITSスポットに自動的に送信する [OFF] : 本機で収集した情報を、ITSスポットに送信しない

知識

- [ETC2.0アップリンク]を[ON]に設定していても、走行開始地点など、個人情報に関わる情報は収集されません。送信された情報は、道路交通情報の提供などに活用されます。

ETC2.0車載器からの情報を見る

別売のETC2.0車載器を接続している場合は、本機でETC情報(利用履歴など)を見ることができます。

ETC料金履歴を見る

<メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[ナビ情報・設定]→[ETC情報]→[ETC履歴]をタッチする

ETC履歴画面が表示されます。(履歴100件まで)

100件を超えると古い順に削除されます。件数が多いと、表示に時間がかかります。

アドバイス

- 料金所付近では、料金履歴を確認しないでください。[ETC履歴]をタッチしETC履歴画面が表示されるまでは、ETC2.0車載器は路側アンテナと通信できません。料金所で開閉バーが開かず、事故の原因となります。

ETC管理情報を見る

<メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[ナビ情報・設定]→[ETC情報]→[ETC管理情報]をタッチする

ETC管理情報が表示されます。

知識

- 別売のETC2.0車載器を接続している場合は、道路本線上や料金所に設置された路側機(ITSスポット)から提供される情報を受信できます。
 - ETC2.0で受信できる情報は内容によって表示方法が異なり、手動表示／自動割り込み表示で表示されます。
- ➡ [VICS情報を見る\(P.69\)](#)

ハンズフリーフォンを使う

ハンズフリーフォンで通話する

P.132

ハンズフリーフォンの設定をする

ハンズフリーフォンの通話設定をする

P.135

ハンズフリーフォンで通話する

あらかじめスマートフォンを本機と**BLUETOOTH®**接続しておく必要があります。

② スマートフォンを本機に登録する (P.26)

- ハンズフリーフォンを使用するときの通話料は、お客さまのご負担になります。
- 安全な場所へ停車してから通話を行ってください。
- **BLUETOOTH®** 通信用の車両側アンテナは本機に内蔵されていますので、スマートフォンを金属に覆われた場所や本機から離れた場所に置くと音が悪くなったり接続できなかったりする場合があります。
- ハンズフリーフォンは本機のマイクを使用して通話します。安全に運転できる姿勢で大きな声でハッキリとお話ください。(マイクに近づいたり、マイクを注視して前方不注意になったりしないようにしてください。)
- ハンズフリーフォンで通話中に車両内のスイッチ(ハザード)などを操作した場合、その操作音が通話相手に聞こえることがあります。

- スマートフォンにはご利用できない機種があります。適合機種は、三菱自動車販売会社にお問い合わせください。

知識

- 安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてご使用ください。
- スマートフォンによっては、本書の説明どおりに動作しない場合があります。
- スマートフォン側の操作はスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。
- スマートフォンを待受画面にしないとハンズフリー通話ができない場合があります。
- スマートフォンによっては、本機と**BLUETOOTH®**接続中に、スマートフォンを操作して電話をかけても(電話に出ても)ハンズフリー通話になる場合があります。
- **BLUETOOTH®** Audio再生とハンズフリーを同時に使用すると、それぞれの通信の状態(接続や音声など)が不安定になることがあります。
- 本機は割込通話や三者通話に対応していません。
- Apple CarPlayを接続しているときは、Apple CarPlayの通話画面が表示されます。Apple CarPlayの通話機能をご利用ください。

着信画面の見かた

自動的に着信画面に切り替わります。



①

②

① 電話に出る

[電話に出る] をタッチする
通話を開始します。

② 電話に出ずに切る(着信拒否)

[電話を切る] をタッチする
着信が切れます。

知識

- AVソース再生中に着信すると、再生が一時停止／一時消音します。通話が終わるとAVソースの再生を再開／消音を解除します。
- スマートフォンの機種によっては、着信中に[電話を切る]をタッチしても電話に出る場合があります。

通話中画面の見かた



- ① 電話を切る
[電話を切る]をタッチする
通話を終了します。
- ② トーン信号(ビッポッパ)を送る
1. [ダイヤル]をタッチする
10キーのダイヤルパッドが表示されます。
2. 数字を選び、トーン信号を送る
プッシュホンサービスなどを利用できます。
- ③ 送話音を消音する
[ミュート]をタッチする
再度タッチすると、解除されます。
- ④ 通話をスマートフォンに切り替える
[携帯電話切替]をタッチする
[ハンズフリー切替]をタッチすると、ハンズフリー通話に戻ります。

アドバイス

- 走行中にスマートフォンでの通話に切り替えて、運転者が通話することはおやめください。

電話をかける

<メニュー>スイッチを押して、[電話]をタッチする
ハンズフリー画面が表示されます。



- ① 発着信履歴に切替
- ② 電話帳に切替
- ③ ダイヤルに切替
- ④ ハンズフリー設定画面を表示
➡ ハンズフリーフォンの通話設定をする(P.135)
- ⑤ 連絡先リスト

■ 電話帳から電話をかける

1. ハンズフリー画面から、[電話帳]をタッチする
2. ハンズフリー画面(電話帳)の連絡先リストから、電話をかける相手をタッチする

■ 電話番号を入力して電話をかける

1. ハンズフリー画面から、[ダイヤル]をタッチする
2. ハンズフリー画面(ダイヤル)から電話番号を入力し、[発信]をタッチする
[X] : 1文字削除

■ 発着信履歴から電話をかける

1. ハンズフリー画面から、[履歴]をタッチする
2. 発着信履歴リストから、電話をかける相手を選んでタッチする

■ 表示する履歴を選ぶには

ハンズフリー画面(発着信履歴)から[発信履歴] / [不在着信] / [着信履歴]を選んでタッチする

本機に登録された電話帳・発着信履歴について

- スマートフォンを本機とハンズフリー接続すると、その時点の電話帳と発着信履歴の情報が、自動的に本機に転送されます。(スマートフォン側で転送許可が必要な場合があります。)

➡ ハンズフリーフォンの通話設定をする(P.135)

- 手動で個別に選んで登録することはできません。
- 本機に登録した電話帳の内容(電話帳、氏名など)は、編集できません。電話帳の内容を変更するときは、スマートフォン側で編集してください。
- 電話帳は、2 000件まで表示できます。また、電話番号は1件につき5つまで表示できます。
- 発着信履歴は、発信履歴・着信履歴・不在着信を合計100件表示できます。
- 本機と接続しているときに、スマートフォンで電話帳の更新を行った場合は、本機側の電話帳には反映されません。一度接続が解除され、再度接続されたときに(本機の電源を切り、再度電源を入れたときなど)に反映されます。

知識

- < ☆ >スイッチ(オプションスイッチ)にリダイヤル機能を設定することができます。
➡ オプションスイッチを設定する(P.152)

ハンズフリーフォンの設定をする

ハンズフリーフォンの通話設定をする

1. <メニュー>スイッチを押して、[電話]→[設定]をタッチする
2. 各項目を設定する

設定項目

[機器選択]	ハンズフリー接続・ BLUETOOTH ® Audio 接続する機器を選択する ➡ BLUETOOTH ® 接続する機器で使用する機能を変更する(P.28)
[携帯電話データの自動同期]	[ON]：スマートフォンがハンズフリー接続されたとき、その時点の電話帳と発着信履歴の情報を自動的に本機に転送する [OFF]：スマートフォンがハンズフリー接続されても、電話帳と発着信履歴の情報を本機に転送しない ※本設定を[ON]から[OFF]にすると、本機に転送された電話帳と発着信履歴の情報を消去します。 ※本設定を[OFF]から[ON]にすると、その時点の電話帳と発着信履歴の情報がスマートフォンから本機に転送されます。

知識

- [携帯電話データの自動同期]を[ON]にしても、スマートフォンの設定などによっては転送できない場合があります。スマートフォン側の設定はスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

MEMO

ハンズフリーフォン

Apple CarPlayを利用する

Apple CarPlayとは	P.138
本機とiPhoneを接続する	P.138
Apple CarPlayを起動する	P.140
Apple CarPlayを切断／再接続する	P.141
iPhoneの設定を変更する	P.141
Apple CarPlayご利用時の留意点	P.142

Android Auto™ を利用する

Android Auto とは	P.143
本機と Android スマートフォンを接続する	P.143
Android Auto を起動する	P.146
Android Auto を切断／再接続する	P.146
Android スマートフォンの設定を変更する	P.146
Android Auto ご利用時の留意点	P.147

スマートフォン連携

NaviCon®を使う	P.148
-------------	-------

Apple CarPlayとは

Apple CarPlayは、普段使っているiPhoneアプリをカーナビゲーションの画面に表示し、タッチパネルやSiri(音声認識)を使って操作できるシステムです。

ナビ、音楽、電話、SMSなどが楽しめます。

Apple CarPlayについては、下記サイトやiPhoneの説明書をご覧ください。

<https://www.apple.com/jp/ios/carplay/>

知識

- ご利用時には通信費用がかかります。
- iPhoneの動作についてはすべてを保証するものではありません。iPhoneの機種や状態、電波状態などによって動作が制限される場合があります。
- Apple CarPlayはApple Inc.が提供するアプリケーションであり、各機能は予告なく変更・終了することがありますので、あらかじめご了承ください。

本機とiPhoneを接続する

iPhone側の設定を、Apple CarPlayを使用する設定にしてください。

ワイヤレスで接続する

ワイヤレス接続は、**BLUETOOTH®**とWi-Fiを使って接続します。

初回のみ、iPhoneをApple CarPlayのワイヤレス接続機器として本機に機器登録します。

1. <メニュー>スイッチを押して、**[Apple CarPlay]**をタッチする

トップメニューの[Apple CarPlay]は、接続が完了するまで暗い色で表示されていますが、タッチすることは可能です。



2. 表示された**BLUETOOTH®**接続画面に従って、**iPhoneと本機をBLUETOOTH®接続する**

iPhone側に、Apple CarPlayのワイヤレス接続許可の画面が表示される場合、許可してください。

3. **本機の画面のメッセージの内容を確認し、[はい]をタッチする**

iPhoneはApple CarPlay用の機器として、本機に登録されます。



4. **iPhoneに表示される内容に従って、iPhoneを操作する**

Apple CarPlayの画面が本機に表示されます。

知識

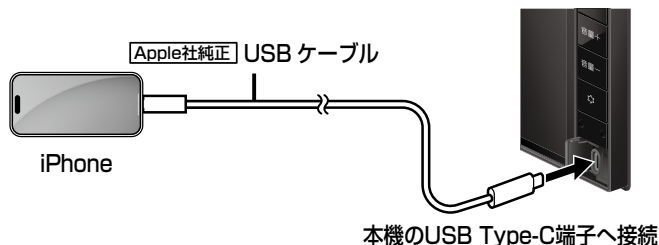
- 手順3で、本機にApple CarPlay用のiPhoneがすでに6台登録されているときは登録できません。登録の削除確認のメッセージが表示されたときは、[はい]をタッチして登録機器一覧から使用しないiPhoneの登録を消去してください。
 - 接続が完了したとき、本機のWi-Fiモードはアクセスポイントモードに設定されます。ステーションモードでのWi-Fi接続は切断されます。
 - USBケーブルで接続しているiPhoneは、USB接続によるApple CarPlayが優先されます。
 - ワイヤレス接続でApple CarPlayを利用中、USBケーブルを接続すると、Apple CarPlayはワイヤレス接続したままiPhoneの充電を開始します。
 - トップメニューの[Apple CarPlay]をタッチしてiPhone選択画面が表示された場合は、接続するiPhoneの[接続]をタッチするか、[機器登録]をタッチして追加の機器登録を行ってください。
- 🔌 Apple CarPlayを切断／再接続する(P.141)

USBケーブルで接続する

1. iPhoneと本機をUSBケーブルで接続する

USB Type-C端子カバーの開き方については、下記をご覧ください。

➡ [各部の名称と機能\(P.16\)](#)



iPhoneがロック画面のときは、ホーム画面を表示してください。

(以降の手順は初回接続時のみ)

2. 画面のメッセージの内容を確認し、[はい]をタッチする

iPhoneはApple CarPlay用の機器として、本機に登録されます。

3. iPhoneに表示される内容に従って、iPhoneを操作する

Apple CarPlayの画面が本機に表示されます。

🚗 アドバイス

- プラグは確実に差し込んでください。
- iPhoneの接続・取り外しをするときにケーブルを引っ張らないでください。

📖 知識

- iPhoneと本機をUSBケーブル接続した後、iPhone側の画面でワイヤレス接続を許可すると、ワイヤレス接続のための**BLUETOOTH®**機器登録が自動的行われます。ただし、機器登録後もApple CarPlayへのUSB接続が維持されます。
※iOSのバージョンによっては自動登録を利用できない場合があります。
- 手順2で、本機にApple CarPlay用のiPhoneがすでに6台登録されているときは登録できません。登録の削除確認のメッセージが表示されたときは、[はい]をタッチして登録機器一覧から使用しないiPhoneの登録を消去してください。

Apple CarPlayを起動する

<メニュー>スイッチを押して、[Apple CarPlay]をタッチする

Siri(音声認識)を起動する

<メニュー>スイッチを長押しする

Apple CarPlayで音楽を再生する
AVソース一覧の[Apple CarPlay]をタッチする

➡ [AVソース一覧から\(P.80\)](#)

Apple CarPlayの音楽再生画面を表示します。

Apple CarPlayを利用する

Apple CarPlayの画面から本機の画面に切り替える

<現在地>スイッチまたは<メニュー>スイッチを押す

<現在地>：本機の地図画面を表示します。

➡ 現在地の地図表示(P.32)

<メニュー>：本機のトップメニューを表示します。

➡ トップメニューを表示する(P.20)

知識

- Apple CarPlay画面のMITSUBISHI MOTORSアイコンをタッチしても、本機のトップメニューを表示できません。
 - Apple CarPlayでルート案内中、ステータスバーの[現在地]をタッチして、Apple CarPlayの地図画面を表示できます。
- ➡ ステータスバー(P.33)

Apple CarPlayを切断／再接続する

1. <メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[スマートフォン接続設定]→[Apple CarPlay設定]をタッチする

2. 切断または再接続したいiPhoneの[切断]／[接続]をタッチする



[機器登録]：iPhoneを登録できます。

知識

- 接続中のiPhoneがある場合、別のiPhoneを接続すると、接続中のiPhoneは切断されます。
- 切断したiPhoneのApple CarPlayには自動接続しなくなります。
- Apple CarPlayを切断しても、**BLUETOOTH®**設定の使用する機能([AV]、[電話／スマートフォンアプリ])の✓印は外れたままです。ご使用になる機能の**BLUETOOTH®**設定を再度行ってください。

➡ BLUETOOTH®接続する機器で使用する機能を変更する(P.28)

iPhoneの設定を変更する

Apple CarPlayの有効／無効を切り替える

1. <メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[スマートフォン接続設定]→[Apple CarPlay設定]をタッチする

2. iPhone選択画面から、Apple CarPlayの有効／無効を切り替えたいiPhoneをタッチする

3. Apple CarPlay設定画面から、Apple CarPlayの有効／無効を設定する

[有効]：iPhoneをApple CarPlay用の機器として使用する

[無効]：iPhoneを本機の他の機能と接続して使用する

[無効]から[有効]に切り替えたiPhoneでApple CarPlayを使用する場合は、引き続き[接続]をタッチしてください。

iPhoneの登録を消去する

1. <メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[スマートフォン接続設定]→[Apple CarPlay設定]をタッチする

2. iPhone選択画面から、消去したいiPhoneをタッチする

3. Apple CarPlay設定画面から、[消去]→[はい]をタッチする

タッチしたiPhoneが消去されます。

BLUETOOTH®設定画面からも消去されます。

➡登録したスマートフォンの登録を消去する(P.28)

Apple CarPlayご利用時の留意点

- Apple CarPlayのワイヤレス接続中／USB接続中は下記の機能は使用できません。
 - ー本機のiPod再生機能
 - ー本機とApple CarPlay接続したiPhoneの**BLUETOOTH®**接続を利用したApple CarPlay以外の機能
- Apple CarPlayのワイヤレス接続中は、Wi-Fi接続して利用するApple CarPlay以外の機能(名称(オンライン)、ソフトウェア・地図更新(Wi-Fi接続)、ネット動画、レコーダーリンク、Android Auto)は使用できません。
- Apple CarPlayの画面は、iPhoneの種類やアプリのバージョンにより異なります。
- iPhoneが正しく動作しないときは、本機からiPhoneを取り外して電源を入れなおし、再度接続してください。
- Apple CarPlayで地図を表示させたり、ルートを探索する場合は、本機の地図データは使用しません。
- 本機のルート案内中に、Apple CarPlayでルートを設定すると、本機のルート案内は停止します。

- Apple CarPlayで音楽再生中に車のエンジンを切り(ACC OFF)、再度エンジンをかけると(ACC ON)、曲が自動で再生されない場合があります。そのときは、手動で操作して再生してください。
- Apple CarPlayのルート案内が終了しても、本機の割り込み案内を行わない場合があります。そのときは、本機でルートを設定するか、または、Apple CarPlayの地図画面上に表示される「経路を終了」ボタンをタッチしてください。
- USB接続している場合でも、iPhoneの動作状態によっては、充電に時間がかかる、または充電されない場合があります。
- Apple CarPlay接続後は、ステータスバーに表示される現在時刻は、Apple CarPlayを接続しているiPhoneが受信した時刻が表示されます。
- ➡ステータスバー(P.33)

Android Auto とは

Android Auto は、使い慣れた Android™ スマートフォンのアプリやサービスをカーナビゲーションの画面に表示し、タッチパネルや Google アシスタント(音声アシスタント)を使って操作できるシステムです。ナビ、音楽、電話、SMSなどが楽しめます。Android Auto については、下記サイトや Android スマートフォンの説明書をご覧ください。

<https://www.android.com/auto/>

本機で Android Auto が使用できるスマートフォン

OS :

Android 11 ~

※スマートフォンによっては使用できない場合があります。

※最新バージョンのOSをご使用ください。

※OSのバージョンによっては動作しない場合があります。

知識

- ご利用時には通信費用がかかります。
- Android スマートフォンの動作についてはすべてを保証するものではありません。Android スマートフォンの機種や状態、電波状態などによって動作が制限される場合があります。
- Android Auto は Google LLC が提供するアプリケーションであり、各機能は予告なく変更・終了することがありますので、あらかじめご了承ください。
- Android Auto アプリの制約により、音楽再生などの操作に制限がかかる場合があります。

本機と Android スマートフォンを接続する

Android スマートフォンの「位置情報」の設定をONにしてください。

ワイヤレスで接続する

ワイヤレス接続は、**BLUETOOTH®**とWi-Fiを使って接続します。

初回のみ、Android スマートフォンを Android Auto のワイヤレス接続機器として本機に機器登録します。

1. <メニュー>スイッチを押して、[Android Auto]をタッチする

トップメニューの[Android Auto]は、接続が完了するまで暗い色で表示されていますが、タッチすることは可能です。

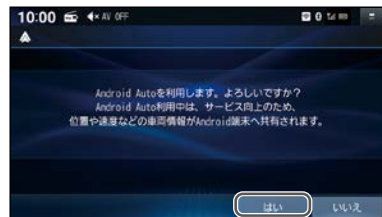


2. 表示されたBLUETOOTH®接続画面に従って、Android スマートフォンと本機をBLUETOOTH®接続する

Android スマートフォン側に、Android Auto のワイヤレス接続許可の画面が表示される場合、許可してください。

3. 本機の画面のメッセージの内容を確認し、[はい]をタッチする

Android スマートフォンは Android Auto 用の機器として、本機に登録されます。



4. **Android** スマートフォンに表示される内容に従って **Android** スマートフォンを操作する

Android Auto の画面が本機に表示されます。

知識

- 手順3で、本機に Android Auto 用の Android スマートフォンがすでに6台登録されているときは登録できません。登録の削除確認のメッセージが表示されたときは、[はい]をタッチして登録機器一覧から使用しない Android スマートフォンの登録を消去してください。
- 接続が完了したとき、本機のWi-Fiモードはアクセスポイントモードに設定されます。ステーションモードでのWi-Fi接続は切断されます。
- USBケーブルで接続している Android スマートフォンは、USB接続による Android Auto が優先されます。
- ワイヤレス接続で Android Auto を利用中、USBケーブルを接続すると、Android Auto はワイヤレス接続したまま Android スマートフォンの充電を開始します。

- トップメニューの[Android Auto]をタッチして Android スマートフォン選択画面が表示された場合は、接続するスマートフォンの[接続]をタッチするか、[機器登録]をタッチして追加の機器登録を行ってください。

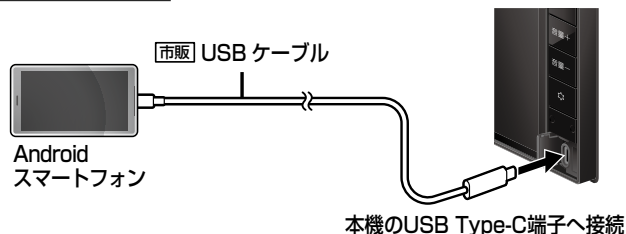
➡ Android Auto を切断／再接続する (P.146)

USBケーブルで接続する

1. Android スマートフォンと本機をUSBケーブルで接続する

USB Type-C 端子カバーの開き方については、下記をご覧ください。

➡ [各部の名称と機能\(P.16\)](#)



Android スマートフォンがロック画面のときは、ホーム画面を表示してください。

(以降の手順は初回接続時のみ)

2. 画面のメッセージの内容を確認し、[はい]をタッチする

Android スマートフォンは Android Auto 用の機器として、本機に登録されます。

3. Android スマートフォンに表示される内容に従って、Android スマートフォンを操作する

Android Auto の画面が本機に表示されます。

アドバイス

- プラグは確実に差し込んでください。
- Android スマートフォンの接続・取り外しをするときにケーブルを引っ張らないでください。

知識

- Android Auto のUSB接続が完了すると、**BLUETOOTH®** 機器登録が自動的に行われます。ただし、機器登録後も Android Auto へのUSB接続が維持されます。
- 接続方法がUSB接続の場合でも、通話機能には本機との**BLUETOOTH®** 通信を利用します。
- 手順2で、本機に Android Auto 用の Android スマートフォンがすでに6台登録されているときは登録できません。登録の削除確認のメッセージが表示されたときは、[はい]をタッチして登録機器一覧から使用しない Android スマートフォンの登録を消去してください。

Android Auto を起動する

＜メニュー＞スイッチを押して、[Android Auto]をタッチする

Google アシスタント(音声アシスタント)を起動する

＜メニュー＞スイッチを長押しする

Android Auto で音楽を再生する

AVソース一覧の[Android Auto]をタッチする

➡AVソース一覧から(P.80)

Android Auto の音楽再生画面を表示します。

Android Auto の画面から本機の画面に切り替える

＜現在地＞スイッチまたは＜メニュー＞スイッチを押す

＜現在地＞：本機の地図画面を表示します。

➡現在地の地図表示(P.32)

＜メニュー＞：本機のトップメニューを表示します。

➡トップメニューを表示する(P.20)

知識

- Android Auto 画面のMITSUBISHI MOTORSアイコンをタッチしても、本機のトップメニューを表示できます。

Android Auto を切断／再接続する

1. ＜メニュー＞スイッチを押して、[情報・設定]→[スマートフォン接続設定]→[Android Auto設定]をタッチする
2. 切断または再接続したい Android スマートフォンの[切断]／[接続]をタッチする



[機器登録]：Android スマートフォンを登録できます。

知識

- 接続中の Android スマートフォンがある場合、別の Android スマートフォンを接続すると、接続中の Android スマートフォンは切断されます。
- 切断した Android スマートフォンの Android Auto には自動接続しなくなります。
- Android Auto を切断しても、**BLUETOOTH®**設定の[AV]の✓印は外れたままです。ご使用になる機能の**BLUETOOTH®**設定を再度行ってください。
➡**BLUETOOTH®**接続する機器で使用する機能を変更する(P.28)

Android スマートフォンの設定を変更する

Android Auto の有効／無効を切り替える

1. ＜メニュー＞スイッチを押して、[情報・設定]→[スマートフォン接続設定]→[Android Auto 設定]をタッチする
2. **Android** スマートフォン選択画面から、**Android Auto** の有効／無効を切り替えたい **Android** スマートフォンをタッチする

Android Auto™ を利用する

3. Android Auto 設定画面から、Android Auto の有効／無効を設定する

[有効]: Android スマートフォンを Android Auto 用の機器として使用する

[無効]: Android スマートフォンを本機その他の機能と接続して使用する

[無効]から[有効]に切り替えた Android スマートフォンで Android Auto を使用する場合は、引き続き[接続]をタッチしてください。

Android スマートフォンの登録を消去する

1. <メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[スマートフォン接続設定]→[Android Auto 設定]をタッチする

2. Android スマートフォン選択画面から、消去したい Android スマートフォンをタッチする

3. Android Auto 設定画面から、[消去]→[はい]をタッチする

タッチした Android スマートフォンが消去されます。

BLUETOOTH®設定画面からも消去されます。

🔗登録したスマートフォンの登録を消去する(P.28)

Android Auto ご利用時の留意点

- Android Auto のワイヤレス接続中／USB 接続中は本機の iPod 再生機能は利用できません。
- Android Auto のワイヤレス接続中は、Wi-Fi 接続して利用する Android Auto 以外の機能(名称(オンライン)、ソフトウェア・地図更新(Wi-Fi 接続)、ネット動画、レコーダーリンク、Apple CarPlay)は使用できません。
- スマートフォンが正しく動作しないときは、本機からスマートフォンを取り外して電源を入れなおし、再度接続してください。
- Android Auto で地図を表示させたり、ルートを探索する場合は、本機の地図データは使用しません。
- 本機のルート案内中に、Android Auto でルートを設定すると、本機のルート案内は停止します。
- Android Auto で音楽再生中に車のエンジンを切り(ACC OFF)、再度エンジンをかけると(ACC ON)、曲が自動で再生されない場合があります。そのときは、手動で操作して再生してください。
- Android Auto のルート案内が終了しても、本機の割込み案内を行わない場合

があります。そのときは、本機でルートを設定するか、または、Android Auto の地図画面上に表示される完了ボタンをタッチしてください。

NaviCon[®]を使う

NaviCon[®]について

■NaviCon[®]とは

NaviCon[®]は多彩な連携アプリで探した行先を、ワンタッチで本機に転送し目的地に設定できるおでかけサポートアプリです。無料でご利用いただけます。

- 入手方法や対応スマートフォンなど、詳細は下記サイトをご覧ください。

NaviCon[®]サポートサイト：

<https://navicon.com/>

アドバイス

- NaviCon[®]アプリのバージョンによっては、NaviCon[®]連携できない場合があります。NaviCon[®]アプリは最新のバージョンでご使用ください。

知識

- スマートフォンにNaviCon[®]アプリをインストールしてください。(無料)
- スマートフォンを本機にBLUETOOTH[®]機器登録し、ハンズフリー接続してください。
- ➡ スマートフォンを本機とBLUETOOTH[®]接続する(P.25)
- ご利用時には通信費用がかかります。
- iPodまたはiPhoneをケーブル接続すると、そちらでの接続が優先されます。iPhoneでNaviCon[®]を利用する場合は、iPodまたはiPhoneを取り外してください。
- Apple CarPlayを接続しているとき、本機能は利用できません。
- アプリは、予告なく機能が変更されたり、サービスが終了となることがあります。

NaviCon[®]を使う

■NaviCon[®]で検索した地点を本機に送信する

スマートフォン側でNaviCon[®]アプリから、地点を検索し、目的地として本機に送信する

本機で地点情報を受信し、全ルート図が表示されます。

- ➡ 目的地までのルートを作るには(P.48)

知識

NaviCon[®]のルート探索について

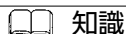
- 現在地がルートの出発点に設定されます。
- ルートが設定されている場合は、前のルートは消去されます。
- スマートフォンから受信した地点は、本機の目的地履歴に保存されます。登録地には保存されません。
- ➡ 目的地・経由地の履歴から探す(P.51)
- ➡ 登録地について(P.66)

■NaviCon[®]で本機の地図の位置を変更する

1. 本機で現在地画面または地図モード画面を表示させる
2. スマートフォン側でNaviCon[®]アプリの地図をスクロールする
NaviCon[®]アプリでスクロールさせた地点の地図が、本機の地図画面に表示されます。

■NaviCon[®]で本機の地図の縮尺を変更する

1. 本機で現在地画面または地図モード画面を表示させる
2. スマートフォン側でNaviCon[®]アプリの地図の縮尺を変更する
本機の地図の縮尺が、NaviCon[®]アプリで変更した縮尺に切り替わります。



知識

NaviCon[®]での地図操作(位置・縮尺の変更)について

- 縮尺は、30 m／37.5 m／50 m／100 m／200 m／500 m／1 km／2.5 km／5 km／10 km／25 km／100 km／250 kmのいずれかに切り替わります。
- NaviCon[®]アプリで30 mよりも詳細な縮尺に切り替えた場合、本機の地図は30 m縮尺に切り替わります。
- NaviCon[®]アプリで250 kmよりも広域な縮尺に切り替えた場合、本機の地図は250 km縮尺に切り替わります。

MEMO

その他の機能と設定

メニューなどを表示する言語を変更する	P.152
オプションスイッチを設定する	P.152
時計表示を設定する	P.152
操作音を設定する	P.152
セキュリティ機能を設定する	P.153
画面の画質調整／サイズ切り替えをする	P.155
音声はそのまま画面を消す	P.156
取り付け・配線の確認	P.156
本機の情報を確認する	P.157
各種設定をお買い上げ時の状態に戻す	P.158

困ったとき

故障かな？と思ったら	P.160
こんなメッセージが表示されたら	P.181
本体リセット機能について	P.186

必要なとき

GPS 電波受信と現在地測位	P.187
VICS について	P.189
地図ソフトについて	P.192
表示できる施設	P.197
USB メモリーについて	P.200
BLUETOOTH® について	P.201
Wi-Fi について	P.202
音楽ファイルについて	P.204
動画ファイルについて	P.209
テレビ／ラジオの受信について	P.211
別売品(システムアップ)について	P.212
初期設定一覧	P.213
商標などについて	P.216
ソフトウェア、およびオープンソースソフトウェアについて	P.218
保証とアフターサービス	P.220
仕様	P.220
さくいん	P.221

メニューなどを表示する言語を変更する

メニューなどの表示言語を日本語／英語／韓国語／中国語に切り替えることができます。

1. <メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[システム情報・設定]→[言語]をタッチする
2. [Japanese]／[English]／[Korean]／[Chinese]から選んでタッチする

一部の画面が選んだ言語で表示され、ルート案内も選んだ言語で案内します。日本語の表示や案内に戻したい場合は、[Japanese]をタッチしてください。

知識

- 地図の地名などは日本語で表示されます。

オプションスイッチを設定する

本機の<  >スイッチ(オプションスイッチ)によく使う機能をひとつ選んで設定できます。

1. <メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[システム情報・設定]→[オプションスイッチ設定]をタッチする
2. オプションスイッチに設定する機能を選んでタッチする

設定する機能

[消音]	AVソースの音声を消したり、消音を解除したりします。
[AVソース切替]	AVソースを切り替えます。
[電話リダイヤル発信]	ハンズフリーフォンで前回電話をかけた番号に発信します。
[自宅]	現在地の地図画面のとき、自宅を目的地にしてルート探索します。

アドバイス

- マルチアラウンドモニター搭載車に本機を装着している場合は、オプションスイッチ設定はできません。

時計表示を設定する

ステータスバーの時計の表示／非表示を切り替えることができます。
<メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[システム情報・設定]→[時計表示]をタッチする

設定項目

[時計表示]	[ON]：時計を表示する [OFF]：時計を表示しない
--------	--------------------------------

※本機はGPSアンテナで受信した時刻を表示しているため、テレビ番組の時刻表示とは異なる時刻が表示される場合があります。

※Apple CarPlay接続中、現在時刻はApple CarPlayを接続しているiPhoneが受信した時刻が表示されます。

操作音を設定する

コントロールパネルのスイッチを押したり、タッチパネルのボタンをタッチしたりしたときに鳴る操作音を設定できます。
<メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[システム情報・設定]→[操作音]をタッチする

設定項目

[操作音]	[ON]：操作音を鳴らす [OFF]：操作音を鳴らさない
-------	---------------------------------

セキュリティ機能を設定する

アドバイス

- お客さまが設定したセキュリティコードは、お客さまご自身で管理をお願いします。
- セキュリティコードを忘れた場合は三菱自動車販売会社へご相談ください。

セキュリティコードを設定する

1. <メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[システム情報・設定]→[セキュリティ設定]をタッチする
2. [セキュリティ設定]の[ON]をタッチする
3. [OK]をタッチして、初期パスワード「9876」を入力し、[決定]→[はい]をタッチする
この操作は初めて設定する場合のみ行います。
4. [OK]をタッチする
5. セキュリティコードを入力し、[決定]をタッチする
[]：1文字削除
文字種：数字・A～Fの大文字
文字数：4文字～12文字

※第三者から推測されやすい文字列(例：生年月日、0000のような同じ文字の繰り返し、わかりやすい並びの文字など)を避けて設定してください。

6. [はい]をタッチする

セキュリティコードが設定されます。

本機を起動時にセキュリティコード認証画面が表示されたら

バッテリーコードが外されたあと本機を起動した場合などに、セキュリティコード認証画面が表示されます。

セキュリティコードを入力してください。

セキュリティコードを入力し、[決定]をタッチする

ロックが解除され、本機が再起動します。

セキュリティコードの設定を解除する

他人に譲渡する場合などは、セキュリティ設定を解除してください。

1. セキュリティ画面から[セキュリティ設定]の[OFF]をタッチする
2. セキュリティコードを入力し、[決定]をタッチする
セキュリティ設定が解除されます。

セキュリティインジケータを設定する

[セキュリティ設定]が[ON]に設定されているとき、セキュリティインジケータを点滅する／しないを設定できます。

セキュリティ設定画面から、[セキュリティインジケータ]の[ON]／[OFF]をタッチする

[セキュリティ設定]が[OFF]の状態では、セキュリティインジケータの設定を変更できません。

- < ☆ >が、セキュリティインジケータとして点滅します。

盗難多発地点案内の設定をする

セキュリティ設定画面から、各項目の [ON]
／ [OFF] を選んでタッチする

項目	設定内容
[盗難多発地点表示案内]	[ON]：盗難多発地点を地図に表示する [OFF]：盗難多発地点を地図に表示しない
[市街地図での盗難多発地点表示案内]	[ON]：盗難多発地点を市街地図に表示する [OFF]：盗難多発地点を市街地図に表示しない

知識

- 盗難多発地点マーク()は盗難の危険が高い順に赤色→橙色→黄色で表示します。(地域により基準は異なります。)
➡ 地図表示記号(例)(P.45)
- [市街地図での盗難多発地点表示案内]は[盗難多発地点表示案内]を[ON]に設定している場合のみ設定できます。

盗難多発地点対応エリア

- 盗難多発地点は全国46都道府県(徳島県を除く)に対応しています。
※地図更新をすると対応エリアが変更される場合があります。

画面の画質調整／サイズ切り替えをする

1. 調整したい画面を表示して、画質調整画面または画面調整画面が表示されるまで、＜現在地＞スイッチを2秒以上押す

2. 各項目を設定する

調整する画面によって、調整可能な項目は異なります。

項目	設定内容
[明るさ]	[－]：暗くなる 調整範囲(昼)：1～31 [＋]：明るくなる 調整範囲(夜)：1～31
[コントラスト]	[－]：明暗の差 小 調整範囲：1～31 [＋]：明暗の差 大
[色合い]	[－]：緑みが強くなる 調整範囲：1～31 [＋]：赤みが強くなる
[色の濃さ]	[－]：薄くなる 調整範囲：1～31 [＋]：濃くなる
[画面サイズ]	アスペクト比を調整 [ノーマル]：映像を4：3で表示します。 ^{*1} ※ 16：9の映像は横方向に圧縮されます。 [フル]：映像が画面全体で表示されるよう引きのばして表示します。 [ワイド]：映像を16：9で表示します。 ^{*1} ※ 4：3の映像は横方向に引きのばして表示されます。 ^{*1} …映像の比率が本機画面の比率と異なるため、画面の一部が黒く表示される場合があります。

3. [OK]をタッチする

知識

- 別売の各カメラのカメラ映像とAVソースの各映像画面については、画面ごとに個別で調整できます。
(一部、調整結果が互いに連動する画面があります。)
- [初期値]をタッチすると、お買い上げ時の調整に戻します。
- 明るさ調整は車のライトがONのときとOFFのときとで別々に設定できます。
- 各AVソースの入力映像の縦横比によっては、アスペクト比の設定を変更しても映像サイズが変わらない場合があります。

音声はそのまま画面を消す

＜メニュー＞スイッチを押して、[情報・設定]→[システム情報・設定]→[画面消し]をタッチする

画面をもとに戻すには、＜現在地＞＜メニュー＞＜AV＞のいずれかを押すか、画面をタッチする

知識

- ディーラーオプションのリアビューカメラを接続している場合、またはマルチアラウンドモニター搭載車に本機を装着している場合、車のシフトレバーをリバースに入れると、画面消し(黒画面)中でも、カメラ映像に自動的に切り替わります。
※シフトレバーをリバース以外に入れると、画面消し状態(黒画面)に戻ります。

取り付け・配線の確認

車両信号情報を確認する

本機が車側に正しく接続されていない場合、本機の機能が正常に働きません。
車両信号情報画面で接続の確認ができます。

1. ＜メニュー＞スイッチを押して、[情報・設定]→[システム情報・設定]→[車両信号情報]をタッチする
2. 車両信号情報を確認する

項目	確認内容
[パーキングブレーキ信号]	正しく接続されていれば、車のパーキングブレーキをかけると「ON」に、解除すると「OFF」に変わります。
[リバース信号]	正しく接続されていれば、車のシフトレバーをリバースに入れると「ON」、解除すると「OFF」に変わります。 ※リアビューカメラを接続している場合、またはマルチアラウンドモニター搭載車に本機を装着している場合、車のシフトレバーをリバースに入れるとカメラ映像が表示されます。
[イルミネーション信号]* ¹	正しく接続されていれば、車のライト(イルミネーション)を点灯させると「ON」、消灯させると「OFF」に変わります。
[車速パルス]	正しく接続されていれば、走行後、数字が変化します。
[+B 電圧]	正しく接続されていれば、バッテリーの電圧が表示されます。 12 V(11 V～16 V)になっていますか？

* 1… 車種やグレードによっては、表示が車両のスイッチに連動しない場合があります。

■ センサー学習レベルを確認／初期化する

車両信号情報画面の以下の項目を確認する

項目	確認内容
[センサー学習レベル]	センサー学習レベルを確認できます。 距離：0～4 回転：未補正／補正中／補正完 3D：補正中／補正完
[センサー学習値初期化]	車速パルスと学習レベルを初期化します。 初期化後は、車のエンジンを止め(ACC OFF)、約10秒以上過ぎてから再度電源を入れてください。

拡張ユニット情報を確認する

1. <メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[システム情報・設定]→[拡張ユニット情報]をタッチする

2. 拡張ユニット情報を確認する

項目	確認内容
iPod * 1	iPod／iPhoneを接続して本機から再生している場合、「接続済み」表示になっていますか？ ➡ iPod／iPhoneを再生する(P.107)
USB * 1	市販のUSB メモリーを接続している場合、「接続済み」表示になっていますか？
[ナビ連動ETC2.0]	別売のETC2.0車載器を接続している場合、「接続済み」表示になっていますか？
[ドライブレコーダー]	別売の三菱自動車オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーを接続している場合、「接続済み」表示になっていますか？

* 1… 同時には接続できません。なお、iPod／iPhoneを接続時は、iPodとUSBが「接続済み」表示になります。



知識

- 正しい表示に変わらない場合は、[更新]をタッチすると、正しい表示に変わります。

本機の情報を確認する

利用開始日・無料地図更新の実施状況などを確認する

本機の利用開始日、地図データのバージョン、無料地図更新の実施状況や更新期限などを確認できます。

1. <メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[システム情報・設定]→[システム情報]をタッチする

2. 各種情報を確認する

- 利用開始日
- 地図データバージョン
- 無料全地図更新(1回目)
- 無料全地図更新(2回目)
- 無料全地図更新(3回目)
- Wi-Fi／PC無料全地図更新有効期限
- 地図データクーポン
- Wi-Fi／PC部分地図更新有効期限
- Wi-Fi／PC地図更新最終実施日
- ナビゲーションバージョン
- ナビゲーションID
- 地図更新ID

端末情報を確認する

本機の端末情報を確認できます。

1. <メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[システム情報・設定]→[端末情報]をタッチする

2. 端末情報を確認する

- 端末の状態
 - ー IPアドレス
 - ー Wi-Fi MACアドレス
 - ー 稼働時間
 - ー 位置情報
- 法的情報：各種ライセンス情報など
- モデル番号：本機の機種品番
- Android バージョン
- カーネル バージョン
- ビルド番号

各種設定をお買い上げ時の状態に戻す

1. <メニュー>スイッチを押して、[情報・設定]→[システム情報・設定]→[初期化]をタッチする

2. 初期化する項目をタッチする

初期化したい項目

[TVの初期化]	TVで設定した内容を初期化することができます。
[キーボード学習結果の初期化]	キーボードの学習機能を初期化することができます。
[出荷状態に戻す]	本機のすべての設定* ¹ をお買い上げ時の状態に戻すことができます。 ● AVがOFFに切り替わります。

* 1…三菱自動車オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの設定は初期化されません。

3. [はい]をタッチする

[キーボード学習結果の初期化]をタッチした場合は、ここで初期化されます。

4. [はい]をタッチする

選んだ項目が初期化されます。

TVの初期化を行った場合は、車のエンジンを止め(ACC OFF)、ボタン照明が消えて約10秒経過してから、再度車のエンジンをかけてください(ACC ON)。

上記以外の項目の初期化について

以下の項目を初期化するには、下記ページをご覧ください。

- 三菱自動車オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの設定の初期化
- ⑤ [三菱自動車オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの設定をする\(P.125\)](#)

注意

- 初期化中はAVソースを切り替える、車両のキースイッチを切り替えるなど他の操作をしないでください。他の操作をすると故障の原因となります。
- 初期化すると、選んだ項目は消去され、もとに戻せません。

知識

- 他人に譲渡または処分などされる際は、お客様が入力された個人情報(登録地の住所や電話番号、ネット動画のユーザー登録情報など)、自宅などの登録情報は必ず削除してください。
- 本機を別の車に載せかえた場合や、タイヤを交換またはローテーションした場合は、センサー学習値初期化をしてください。
 車両信号情報を確認する
(P.156)
- バッテリー交換をした際には、下記の設定が初期化されます。
 - － AV OFF / ON
 - － AM・FMで受信中の周波数
 - － USB(音楽／動画)の再生位置
 - － USBの再生モード

故障かな？と思ったら

ちょっとした操作のミスや接続のミスで故障と間違えることがあります。修理を依頼される前に、下記内容をチェックしてください。それでもなお異常があるときは、使用を中止して三菱自動車販売会社にご連絡ください。

電源・共通

	症状	考えられる原因	処置
動作	電源が入らない(動作しない)	各リード線や各コネクタが正しく接続されていない。	三菱自動車販売会社にご相談ください。
	タッチパネルの反応が悪い／反応しない	フリック／ドラッグ／ピンチ／2点タッチ／ダブルタップ／2点ドラッグ／回転ドラッグの操作をしている。	画面によっては、左記の操作ができません。
		指の腹でタッチしている。	指の先でタッチしてください。指の腹でタッチすると、2点タッチなどと誤動作することがあります。
		爪でタッチしている。	指の先でタッチしてください。爪でタッチすると、反応しない場合があります。
		指の動きより遅れて反応している。	故障ではありません。指の動きより遅れて反応する場合があります。
		手袋をして操作している。	素手でご使用ください。手袋をして操作すると反応しない場合があります。
		金属を近づけたり、水滴が付いている。	故障ではありません。金属を近づけたり、水滴が付いている場合は反応しないことがあります。
		タッチ操作が速い。	ゆっくり操作してください。
	USBメモリーを認識していない	USBメモリーが本機に対応していない	本機で対応しているUSBメモリーか確認してください。 ➡USBメモリーについて(P.200)
		USB Type-C端子に正しく接続されていない。	正しく接続してください。 ➡USBメモリーを本機と接続する(P.103)
その他	本機に登録した情報が消失している	● 本機の使用を誤った。 ● ノイズの影響を受けた。 ● 修理を依頼したなどにより本機に登録した情報が消失する場合がある。	消失したデータについては補償できません。
	時計表示が「--:--」と表示される	GPS衛星からの時刻情報を受信できていない。	GPS衛星からの電波が安定するまでお待ちください。 見晴らしのよい場所を一定速度でしばらく走行し、GPS衛星電波を受信してください。

	症状	考えられる原因	処置
画面／映像	映像が暗い／白っぽい／色あいが悪い／色が薄い	画質調整が適切でない。 ● 車両側のオートライトにより、ライトが点灯している。 ● ライトをONにした。	各項目を調整してください。 ➡ 画面の画質調整／サイズ切り替えをする(P.155) 画面の明るさはライト(イルミネーション)に連動します。(トンネル内など画面が急に暗くなります。)
	画面に赤、青または緑の点や、光る点がある	液晶パネルは99.99 %以上の有効画素があるが、0.01 %以下の画素欠けや常時点灯等が生じることがある。	故障ではありません。
	地図画面全体が黄色の透過色で表示される	表示されている地図画面全体が、VICS情報の範囲表示(黄色の透過色)の対象エリアとなっている。	故障ではありません。地図画面の[ >] (広域) をタッチして、地図の縮尺を広域に変更すると、対象エリアの範囲を確認できます。 ※ VICS情報の範囲表示については、下記をご覧ください。 ➡ 地図上に表示されるVICS情報(レベル3) (P.42)
	地図画面全体が赤色の透過色で表示される	表示されている地図画面全体が、VICSの緊急情報(特別警報)などの範囲表示(赤色の透過色)の対象エリアとなっている。	故障ではありません。地図画面の[ >] (広域) をタッチして、地図の縮尺を広域に変更すると、対象エリアの範囲を確認できます。 ※自動割り込み表示については、下記をご覧ください。 ➡ 緊急情報(特別警報)を受信すると(P.70)
	画面が乱れる	本機の近くにスマートフォンや無線機がある。	スマートフォンや無線機が通信に使う電波の影響などにより画面が乱れる場合がありますので、本機と離してください。
	ディスプレイに何も表示されない	HDMIソースになっている。 一時的に画面を消している(画面消し)。	外部機器の電源を入れる、または他のソースに切り替えてください。(HDMI未入力時は黒い画面になります。) ➡ 再生／視聴するAVソースを選ぶ(P.80) 音声はそのまま画面を消す(P.156)
	音声は出るが、映像が出ない	一時的に画面を消している(画面消し)。 パーキングブレーキをかけていない。	音声はそのまま画面を消す(P.156) 安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてください。

	症状	考えられる原因	処置
音声	左右前後のいずれかの音が出ない	フェーダー／バランスが片方に寄っている。	フェーダー／バランスの設定を確認してください。 ➡ <u>フェーダー／バランスの出力レベルを調整する(P.87)</u>
	音が出ない	音量が小さい、または“0”になっている。 本機の近くにスマートフォンや無線機を置いている。	＜音量＋／－＞スイッチで調整してください。 妨害を受ける可能性がありますので離してご使用ください。
	雑音が出る	スマートフォンなどの影響を受けている。	スマートフォンなどを本機から離してください。
	音量が勝手に変わる	車速連動音量が[LOW]／[MID]／[HIGH]になっている。	車速連動音量を[OFF]に設定してください。 ➡ <u>車速連動音量を設定する(P.86)</u>

ナビゲーション

	症状	考えられる原因	処置
案内	音声案内されない／AVソースの音声は出力されるのに、ナビゲーションの音声案内が出力されない	音量設定で、[ナビ案内音]の音量が「0」に設定されている。	[ナビ案内音]の音量を調整してください。 ➡ <u>音量を設定する(P.19)</u>
		フェーダー／バランスが片方に寄っている。	フェーダー／バランスの設定を確認してください。 ➡ <u>フェーダー／バランスの出力レベルを調整する(P.87)</u>
		ルートから外れている。	現在地画面で自車がルート上にあるかを確認し、ルートに戻ってください。 ➡ <u>現在地の地図表示(P.32)</u>
			再探索してください。 ➡ <u>もう一度ルートを探索する(P.61)</u>
		ルートに対して逆走行している。	目的地の方向を確認してください。 ➡ <u>地図モード画面(P.34)</u>
			再探索してください。 ➡ <u>もう一度ルートを探索する(P.61)</u>
	ルート設定時に料金表示されない	ルートが有料道路上から始まっている。	故障ではありません。有料道路上で自動再探索や再探索してルートが有料道路上から始まっているときは、料金表示されない場合があります。

	症状	考えられる原因	処置
案内	有料道路以外で有料案内する	地図データで有料道路判定されている。 有料道路の手前で音声案内している。	故障ではありません。地図データで有料道路判定をするため、最近無料化された道路などは、実際と異なり有料案内することがあります。 故障ではありません。料金所が入口付近になくても、有料道路の手前で音声案内します。
	高速道路を走行中に一般道路の案内をする／一般道路を走行中に高速道路の案内をする	高速道路と一般道路が平行にあるときは、誤った道路が案内される場合があります。	ランチャーから、[道路切替] をタッチしてください。 ➡ 走行中の道路を誤って認識したとき(道路切替)(P.47)
	一般道優先で探索しているのに、有料道路上にルートを作る	現在地と目的地の場所によっては、一般道優先で探索しても有料道路上にルートを作ることがあります。(故障ではありません。)	通りたい一般道路上に経由地を設定してください。 ➡ 検索した施設を目的地・経由地に設定する(P.55) ➡ ルートを編集する(P.56)
	登録地が登録されない／設定が変更されない／探索したルートが削除された	操作のあと、すぐに電源を切った。	再操作してください。
動作	[<] をタッチしても、前の画面に戻らない	[<] をタッチしても前の画面に戻らない画面で操作した。	故障ではありません。画面によっては、[<] をタッチしても前の画面に戻らない場合があります。
	地図画面上でフリック／ドラッグ以外の操作ができない	フリック／ドラッグ操作でスクロール中は、画面上でそれ以外の操作はできません。	約1秒間何も操作せずに、地図モード画面になってから操作してください。
	地図画面上の方位ボタンのGPS受信表示がいつまでも赤色のままになっている	GPSアンテナ上に雪や物などが覆い被さって、GPS衛星からの電波が受信できない。 GPS衛星の受信感度が悪い。	雪や物などを取り除いてください。 GPS衛星からの電波が安定するまでお待ちください。 見晴らしのよい場所を一定速度でしばらく走行し、GPS衛星電波を受信してください。
表示	VICS 情報が表示されない(FM VICS)	VICSを放送している放送局を受信していない。	VICSを放送している放送局を受信してください。 ➡ FM多重放送の選局をする(VICS受信)(P.71)

	症状	考えられる原因	処置
表示	VICS 情報が表示されない(FM VICS)	FM の電波が弱い。	障害物(トンネルやビルの陰など)のない場所に移動してください。 電波の強い周波数の放送局を選局してください。 ➡FM多重放送の選局をする(VICS受信)(P.71)
		地図に表示するVICS情報の保持時間が過ぎた。	新しい情報を再受信するまでお待ちください。
		VICSのサービス外の地図を表示している。	VICSのサービスを行っている圏内の地図を表示し確認してください。
	ランドマークの表示が実際と異なる	地図データが古い。	地図データが古い場合があります。地図更新を行うか、三菱自動車販売会社にご相談ください。 ➡ソフトウェア・地図を更新する(P.73)
自転車マーク	現在地が正しく表示されない	走行条件やGPS衛星の受信状態により、表示誤差が生じた。	見晴らしのよい場所を一定速度でしばらく走行し、GPS衛星電波を受信してください。
	自転車を移動しても地図がスクロールしない	現在地画面になっていない。	<現在地>スイッチを押してください。
	自転車マークが表示されない		
	自転車位置精度が悪い	タイヤチェーンの装着、本機のお車への載せ替えなどにより、車速パルスからの車速推定にずれ(進みや遅れ)が発生した。	見晴らしの良い道路をしばらく走行すると自動的に調整されます。または、センサー学習結果の初期化を行ってください。 ➡車両信号情報を確認する(P.156)
		GPS内蔵レーダー探知機を設置している。	GPS内蔵レーダー探知機を使用しないでください。

AV[TV]

	症状	考えられる原因	処置
映像／音声	映像も、音声も出ない	受信状態が悪い。	車のある場所や方向により、受信状態が変化します。受信状態の良い場所へ移動してください。
	電源を入れても映像がすぐに出ない	ソフトウェアが起動して映像を表示するまでに時間がかかっている。	故障ではありません。
	映像や音声(ときどき)出なくなる／静止する、音声が遅れて聞こえる	車のある場所や方向により受信状態が変化した。	故障ではありません。視聴中に、受信状態により「黒色」画面になることがあります。
		自動車／バイク／高圧線／ネオンサイン等の近くを車が通過したとき、アンテナレベルが低下することがあります。	故障ではありません。
		地上デジタル放送の受信状態が良くないときに、受信モードが[地上D]になっている。	地上デジタル放送の電波が弱い地域では、受信モードを[ワンセグ]に切り替えてください。(ワンセグに切り替わるときに、映像や音声が一時的にとぎれたり、遅れたりする場合があります。) ➡[受信モード](P.91)
	地上デジタル放送が受信できない／受信状態が悪い	地上デジタル放送の放送エリア外にいる。または、受信障害がある環境にいる。 長距離移動などで現在のチャンネル設定では受信できない場所にいる。	放送エリア外では受信できません。また、受信障害がある場合は、放送エリア内でも受信できない場合があります。 ユーザープリセットのスクリーンを行ってください。 ➡[ユーザープリセット設定](P.92)

AV[FM/AM]

	症状	考えられる原因	処置
音声	ラジオが受信できない／ノイズが多い	放送局の電波が弱い。	放送局を変えてください。 ➡ラジオ(FM／AM)を聴く(P.95)
		ラジオアンテナが十分に伸びていない。	ラジオアンテナが十分に伸びているか確認してください。
		周波数再編が実施された。(これまで受信できた放送局が受信できなくなった)	新しい周波数をプリセットのリストに記憶させてください。 ➡ラジオ(FM／AM)を聴く(P.95)
		エアコンやワイパー動作に連動したノイズが発生している。	車両側の電装品の動作を止めてください。電装品が動くとノイズが入る場合があります。
		本機の近くにスマートフォンや無線機を置いている。	妨害を受ける可能性がありますので、なるべく本機から離してご使用ください。また、使用しない場合はスマートフォンや無線機の電源を切ってください。

AV[レコーダーリンク]

	症状	考えられる原因	処置
動作	再生が途切れるなど安定しない	圏外または電波が弱い。	電波の強い場所へ移動してください。
	レコーダーと接続できなくなった	本機とスマートフォンなどがWi-Fi接続(ステーションモード)できていない。 本機とレコーダーとの通信が安定しない。	本機とスマートフォンなどがWi-Fi(ステーションモード)接続しているか、ステータスバーのアイコンで確認してください。 ➡ ステータスバー(P.33) ※ Wi-Fi接続ができない場合は以下をご覧ください。 ➡ Wi-Fi(ステーションモード)(P.174) スマートフォンアプリを操作して、スマートフォンと本機の接続をいったん解除し、再接続してください。 ➡ レコーダーリンクで自宅の録画番組を視聴する(P.96)

AV[ネット動画]

	症状	考えられる原因	処置
動作	再生が途切れるなど安定しない	圏外または電波が弱い。	電波の強い場所へ移動してください。
	再生できない、または動画サービスメニュー画面で、動画配信サービスのボタンが表示されない	本機とスマートフォン／モバイルWi-FiルーターなどがWi-Fi接続(ステーションモード)できていない。 GPS衛星から時刻情報を受信できず、本機に表示される時計の時刻が正しくない。 動画配信サービス側のサーバー障害、またはサーバーメンテナンス中である。	本機とスマートフォン／モバイルWi-FiルーターなどがWi-Fi接続(ステーションモード)できているか、ステータスバーのアイコンで確認してください。 ➡ ステータスバー(P.33) GPS衛星からの電波が安定するまでお待ちください。 見晴らしのよい場所を一定速度でしばらく走行し、GPS衛星電波を受信してください。 しばらく待ってから、トップメニューの[ネット動画]をタッチしてください。
	しばらく待っても動画が再生されない	—	動画配信サービス提供者の都合またはサービスの仕様変更により、サービスが予告なく変更・停止・終了する場合があります。
		動画配信サービスとの通信で異常が発生した。	[×]ボタンで本機能を終了し、トップメニューなどから再度[ネット動画]をタッチしてください。 (動画を全画面表示しているときに異常が発生した場合は、画面を上方向にフリックして全画面表示を解除してから[×]ボタンをタッチしてください。)
	本機の音量を上げてても動画の音声が小さい、または出ない	コンテンツ側の音量設定が小さい、またはミュートになっている。	コンテンツ側の音量設定を操作してください。

AV[USB]

	症状	考えられる原因	処置
動作	[USB] がタッチできない	USB メモリー未接続である。	USB メモリーを接続してください。 ➡ USB メモリーを本機と接続する (P.103)
	再生するまで時間がかかる	記録されているフォルダ／ファイル階層が多い。	本機が対応していない形式のファイルや必要ないフォルダなどは、書き込まないようにしてください。 ➡ 音楽データの規格について (P.204) ➡ 再生可能な動画ファイルについて (P.209)
		ファイルのサイズが大きすぎる。	故障ではありません。サイズが大きいファイルは、読み込みに時間がかかります。
	再生できない	USB メモリーによっては、認識しないものもあります。 別の USB メモリーをお試しください。	本機に対応したメディアを再生してください。 ➡ USB メモリーについて (P.200) ➡ 音楽データの規格について (P.204) ➡ 再生可能な動画ファイルについて (P.209)
		使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって、正しく再生されない場合があります。	故障ではありません。
		本機で再生できない規格データを再生しようとした。	データが本機で再生できる規格かを確認してください。 ➡ 音楽データの規格について (P.204) ➡ 再生可能な動画ファイルについて (P.209)
		ファイルが破損している。	本機が再生できる形式で、ファイルを作りなおしてください。 ➡ 音楽データの規格について (P.204) ➡ 再生可能な動画ファイルについて (P.209)
		ファイルの形式と拡張子が合っていない。	ファイルの形式と拡張子が合っていないファイルは再生しないでください。 ➡ 音楽データの規格について (P.204) ➡ 再生可能な動画ファイルについて (P.209)
		結露している。	USB メモリーを取り出して電源を切った状態でしばらく放置してから使用してください。

	症状	考えられる原因	処置
映像／音声	音質が悪い(音が飛ぶ)／画質が悪い(画像が乱れる)	音質・画質は、使用したエンコーダソフトやオーサリングソフト、ビットレートなどの設定などにより異なります。	詳しくは、エンコーダソフトの説明書をご覧ください。 ➡ 音楽データの規格について(P.204) ➡ 再生可能な動画ファイルについて(P.209)
	音声のみ再生される／映像のみ再生される	—	データが本機で再生できる規格が確認してください。 ➡ 再生可能な動画ファイルについて(P.209)
表示	ファイル名・フォルダ名が正しく表示されない／曲情報が正しく表示されない	文字種・文字数が規格に準拠していない。 使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって文字などが正しく表示されない場合があります。	規格に準拠した文字種・文字数で入力してください。 故障ではありません。
	再生経過時間の表示が実際と一致していない	再生中、ACCをOFFにした。 可変ビットレート(VBR)で記録されたファイルは、再生経過時間が正しく表示されない場合があります。	他のファイルを選んで再生すると、正常に戻ります。 故障ではありません。

AV[iPod]

	症状	考えられる原因	処置
動作	iPodが正しく動作しない	iPod／iPhoneが正しく認識されていない。	接続を確認してください。 iPod／iPhoneをリセットしてから再度接続してください。
		iPod／iPhoneのバージョンが古い。	iPod／iPhoneのバージョンを確認してください。 ➡ iPod／iPhoneを再生する(P.107)
		Apple CarPlayを接続しているiPhoneを iPod として利用しようとした。または、Android Autoの接続中にiPodを利用しようとした。	Apple CarPlay／Android Auto とiPod再生機能は、同時には利用できません。 ➡ iPod／iPhoneを再生する(P.107)

BLUETOOTH®

	症状	考えられる原因	処置
記録	スマートフォンを本機に機器登録できない	スマートフォンの BLUETOOTH® 通信がOFFに設定されている。	スマートフォンを操作して、 BLUETOOTH® をONに設定してください。
		本機の BLUETOOTH® 機能がOFFに設定されている。	本機の BLUETOOTH® 機能をONに設定してください。 ➡ 本機の BLUETOOTH® 機能をON / OFFする(P.28)
		スマートフォンがA2DP(Advanced Audio Distribution Profile)に対応していない。	A2DP(Advanced Audio Distribution Profile)に対応したスマートフォンを登録してください。
		スマートフォンがHFP(Hands-Free Profile)に対応していない。	HFP(Hands-Free Profile)に対応したスマートフォンを登録してください。
音声	音質が悪い(音がゆがむ・ノイズが発生する)	スマートフォンのOSのバージョンが最新ではない。	スマートフォンのOSのバージョンを最新にすると、登録できるようになる場合があります。
		本機の近くに、他のスマートフォンや2.4 GHz帯を使用する機器がある。	混信するため、他の機器を本機から離してください。 ➡ BLUETOOTH® について(P.201) それでも混信する場合は、他の機器の電源を切ってください。
		スマートフォンの電池残量が少ない。	充電してください。
接続	本機に接続できない	スマートフォンが本機に機器登録されていない。	機器登録してください。 ➡ スマートフォンを本機に登録する(P.26)
		スマートフォンがHFP(Hands-Free Profile)に対応していない。	スマートフォンがHFP(Hands-Free Profile)に対応していないと BLUETOOTH® 接続できません。(機種によっては、HFPに対応していなくても本機に登録される場合があります。)
		スマートフォンが本機から遠い。	スマートフォンを本機に近づけてください。
		障害物等の影響で通信距離が短くなるおそれがあります。特に金属や人体(ポケットなどに入れている時など)に近接すると途切れたり通信不能になる場合があります。	スマートフォンと見通しの良い状態で通信を行ってください。
		BLUETOOTH® 対応の周辺機器(ヘッドフォン等)や無線LAN、その他無線機器などの電波を発する機器が多い環境、その他電波状態の悪い環境で使用している。	電波状態の悪い環境で使用しないでください。 接続が頻繁に途切れたり、通信不能になる場合があります。
		自動接続が完了していない。	スマートフォンが本機と自動接続されるまで、しばらく時間がかかる場合があります。

	症状	考えられる原因	処置
接続	登録したスマートフォンが自動的に本機と再接続されない	本機の BLUETOOTH® 機能がOFFに設定されている。	本機の BLUETOOTH® 機能をONに設定してください。 ➡ 本機の BLUETOOTH® 機能をON / OFF する (P.28)
		スマートフォンが省電力モードに設定されている。	一定時間経過後に自動的に BLUETOOTH® 接続が解除される場合があります。スマートフォンの設定を変更してください。
		スマートフォンを操作して、 BLUETOOTH® による本機との接続を解除した。	再度本機と BLUETOOTH® 接続してください。 それでも BLUETOOTH® 接続できない場合は、本機からスマートフォンの登録を削除し、スマートフォンの登録機器リストから本機を削除して、機器登録からやりなおしてください。 ➡ 登録したスマートフォンの登録を消去する (P.28) ➡ スマートフォンを本機に登録する (P.26)
		スマートフォンが操作待ちになっている。(機種によっては、本機からの BLUETOOTH® 接続に対し、確認操作が必要な場合があります。)	スマートフォンを操作して BLUETOOTH® 接続を許可してください。
		本機の近くに、他のスマートフォンや2.4 GHz 帯を使用する機器がある。	混信するため、他の機器を本機から離してください。 ➡ BLUETOOTH® について (P.201) それでも混信する場合は、他の機器の電源を切ってください。
		スマートフォンが金属物に触れている。	スマートフォンと金属物を離してください。
		スマートフォンと本機の間に障害物がある。	障害物を取り除いてください。
		スマートフォンが本機から遠い。 BLUETOOTH® による自動接続に失敗した。	スマートフォンを本機に近づけてください。 いったんスマートフォンの電源を切り、再度電源を入れてください。 それでも BLUETOOTH® 接続できない場合は、本機からスマートフォンの登録を削除し、スマートフォンの登録機器リストから本機を削除して、再度機器登録からやりなおしてください。 ➡ 登録したスマートフォンの登録を消去する (P.28) ➡ スマートフォンを本機に登録する (P.26)
		スマートフォンが BLUETOOTH® 接続待機状態になっていない。	スマートフォンが BLUETOOTH® 接続待機状態でないと、本機と BLUETOOTH® 接続されません。スマートフォンを接続待機状態に設定してください。
		スマートフォンが自動接続に対応していない。	本機から手動で接続してください。 ➡ スマートフォンを本機に登録する (P.26)

	症状	考えられる原因	処置
接続 NaviCon [®]	登録したスマートフォンが自動的に本機と再接続されない	スマートフォンがハンズフリー接続待機状態になっていない。	スマートフォンがハンズフリー接続待機状態でないと、本機とハンズフリー接続されません。スマートフォンを接続待機状態に設定してください。
	NaviCon [®] アプリのデータを本機で取得できない	スマートフォンが本機に正常に接続されていない。	BLUETOOTH[®] 接続状態を確認してください。 スマートフォンをハンズフリー接続してください。 ➡BLUETOOTH[®] 接続する機器で使用する機能を変更する (P.28)
			BLUETOOTH[®] 接続をいったん解除してから、再接続してください。 ➡BLUETOOTH[®] 接続する機器で使用する機能を変更する (P.28)
			iPhoneまたはiPodをケーブルで接続した状態でiPhoneを BLUETOOTH[®] 接続しようとした。 iPhoneまたはiPodをケーブルで接続すると、ケーブルでの接続が優先されるため、iPhoneでNaviCon [®] を利用することはできません。iPhoneまたはiPodをケーブルから取り外してください。
		本機とApple CarPlay接続中のiPhoneを BLUETOOTH[®] 接続しようとした。	Apple CarPlay接続中のiPhoneでは、Apple CarPlay以外の BLUETOOTH[®] 接続を利用した本機の機能は利用できません。Apple CarPlayを切断してから、 BLUETOOTH[®] 接続してください。 ➡Apple CarPlayを切断／再接続する (P.141)
	NaviCon [®] アプリを終了しても BLUETOOTH[®] 接続が解除されない	—	手動で BLUETOOTH[®] 接続を解除してください。 ➡BLUETOOTH[®] 接続する機器で使用する機能を変更する (P.28)

	症状	考えられる原因	処置
ハンズフリーフォン	本機に機器登録されたスマートフォンでハンズフリー通話できない	通話がスマートフォンに切り替わっている。	[ハンズフリー切替]をタッチし、ハンズフリー通話に切り替えてください。 ➡ <u>ハンズフリーフォンで通話する(P.132)</u>
		スマートフォンのサービス圏外で使用している。	サービス圏内で使用してください。
		BLUETOOTH® による接続がされていない。	再接続してください。 ➡ <u>BLUETOOTH®接続する機器で使用する機能を変更する(P.28)</u>
		スマートフォンがマナーモードになっている。	機種によっては、マナーモードに設定していると本機から着信音が出力されない場合があります。マナーモードを解除してください。
	ハンズフリー通話中、エコーやハウリングが起こる	—	受話音量を下げてください。 ➡ <u>音量を設定する(P.19)</u>
	通話中、相手の音声聞き取りにくい	自分と相手が同時に発声した。	交互に話してください。
			受話音量を上げてください。 ➡ <u>音量を設定する(P.19)</u>
	着信履歴から発信できない	番号非通知の相手にかけようとした。	番号非通知の相手には発信できません。
		国際電話を受けた。	スマートフォンの契約によっては、国際電話への発信ができない場合があります。
		スマートフォンの機種によっては、相手先の電話番号を本機に通知しないものがあります。	スマートフォンの着信履歴から直接発信してください。
その他	通話音量が大きすぎる・小さすぎる／通話しづらい	マイクと話者の距離が近いまたは離れている。	適切な距離でお話してください。
		エアコンの送風音をマイクが拾っている。	エアコンの送風を弱くするか、止めてください。
	スマートフォンの通話中に、自動的にハンズフリー通話に切り替わる／本機と接続中、スマートフォンで通話できない	機種によっては、 BLUETOOTH® により接続されると自動的にハンズフリー通話しかできなくなる場合があります。	スマートフォンで通話するときは、スマートフォンを操作して本機との BLUETOOTH® 接続を解除してください。
		走行中にハンズフリー通話していたら、回線切断のメッセージが表示された	電波の状態が良い場所でご使用ください。

	症状	考えられる原因	処置
ハンズフリーフォン	着信していないのに突然通話中画面が表示され、しばらくすると通話終了する	スマートフォンのアプリによっては、通話していない場合でも、本機が通話中と認識し通話中画面を表示することがあります。	故障ではありません。
	- 電話に出ていないのに通話中になった - 通話相手の電話番号が正しく表示されない	通常の音声通話(電話回線を使用した通話)以外の場合、正常に動作しない場合があります。 ➡BLUETOOTH®接続をするには(P.26)	故障ではありません。
	電話帳転送ができない	スマートフォンがPBAP(Phone Book Access Profile)に対応していないと、電話帳転送できません。	故障ではありません。
BLUETOOTH® Audio	BLUETOOTH® Audio画面から操作できない(再生はできる)	スマートフォンがAVRCP(Audio/Visual Remote Control Profile)に対応していない。	AVRCPに対応していないと、本機から操作できません。スマートフォンで操作してください。(機種によっては、AVRCPに対応していても一部の操作ができない場合があります。)
	再生できない	接続機器や音楽再生アプリによっては、本機での操作を受け付けられない場合があります。	本機画面の[▶]を押しても再生できない場合は、接続機器側の再生ボタンを押すことで、再生できる場合があります。
	音量が小さい 音質が悪い(音がゆがむ、音が途切れる、ノイズが発生する)	スマートフォンの音量が小さい。 スマートフォンが本機から遠い。	スマートフォンの音量を調整してください。 スマートフォンを本機に近づけてください。
その他	P.169～P.173の処置をしても問題が解決しない／その他の問題がある	—	いったん車のエンジンを止めて、再度エンジンをかけてください。 いったんスマートフォンの電源を切り、再度電源を入れてください。 機器登録を削除し、再登録してください。 ➡登録したスマートフォンの登録を消去する(P.28) ➡スマートフォンを本機に登録する(P.26) それでも解決しない場合は、お買い上げの三菱自動車販売会社にご相談ください。

Wi-Fi(ステーションモード)

	症状	考えられる原因	処置
動作	スマートフォン／モバイルWi-Fiルーターなどを本機に機器登録できない	本機のWi-FiモードがOFFになっている。	本機のWi-Fiモードを「ステーション」に設定してください。 ➡ <u>本機のWi-Fiモードを切り替える(P.30)</u>
		スマートフォンのテザリングモードがOFF になっている。	スマートフォンを操作してWi-Fiテザリング(APモード)を設定してください。または、モバイルWi-FiルーターなどのWi-Fi機能を有効にしてください。
		スマートフォンがテザリングに対応していない。	本機でWi-Fi 機能はご使用になれません。
	登録したスマートフォン／モバイルWi-Fiルーターなどが自動的に本機と再接続されない	本機またはスマートフォン／モバイルWi-FiルーターなどのWi-Fi 機能がOFF になっている。	本機のWi-Fiモードを[ステーション]に設定してください。 ➡ <u>本機のWi-Fiモードを切り替える(P.30)</u>
		スマートフォンのテザリングモードがOFF になっている。	スマートフォンを操作してWi-Fiテザリング(APモード)を設定してください。または、モバイルWi-FiルーターなどのWi-Fi機能を有効にしてください。
	本機にスマートフォン／モバイルWi-Fiルーターなどを接続できない	スマートフォン／モバイルWi-Fiルーターなどが本機に機器登録(ステーションモード)されていない。	機器登録(ステーションモード)してください。 ➡ <u>本機をインターネットにWi-Fi接続(ステーションモード)する(P.28)</u>
			ステータスバーのWi-Fiの接続状態を確認してください。 ➡ <u>ステータスバー(P.33)</u>

Apple CarPlay

	症状	考えられる原因	処置
接続	Apple CarPlayとの接続ができない	同じ機器名称で登録されている、別の機器を選択した。	本機で Apple CarPlay 用登録機器を消去し、iPhone の Apple CarPlay の設定からも本機 (NM1M) を消去してから、再度機器登録からやりなおしてください。 ➡ iPhone の登録を消去する (P.141)
		● GPS アンテナが正しく接続されていない。 ● 車速センサーが正しく接続されていない。	GPS 受信状況、車速パルス取得状況を確認してください。 ➡ iPhone の登録を消去する (P.141) ➡ 車両信号情報を確認する (P.156) GPS アンテナの接続を確認してください。また、車速パルスが正常な状態にならない場合は、お買い上げの三菱自動車販売会社にご相談ください。
		● iPhone 側で Apple CarPlay アプリが異常終了した。 ● 使用中に iPhone の電源を切った。	ワイヤレス接続の場合 iPhone の電源を入れなおしてから、iPhone と本機をワイヤレス接続してください。 ➡ ワイヤレスで接続する (P.138) USB ケーブル接続の場合 iPhone を USB ケーブルから取り外し、iPhone の電源を入れなおしてから、iPhone と本機を USB ケーブル接続してください。 ➡ USB ケーブルで接続する (P.140)
		USB ケーブルがしっかりと接続されていない。	USB ケーブルを本機の USB Type-C 端子にしっかりと接続しなおしてください。 ➡ USB ケーブルで接続する (P.140)
		USB ケーブルが破損している。	破損していない Apple 純正の USB ケーブルを使用してください。
		iPhone 側の Apple CarPlay の設定が OFF になっている。	iPhone 側の Apple CarPlay の設定を ON にしてください。
		iPhone が Apple CarPlay に対応していない。	Apple CarPlay に対応した iPhone を使用してください。

	症状	考えられる原因	処置
動作	Apple CarPlay が正しく動作しない (動きや立ち上がりが遅い、地図を表示しようとしたら真っ白、など)	USBケーブルがしっかりと接続されていない。	USBケーブルを本機のUSB Type-C端子にしっかりと接続しなおしてください。 ➡ USBケーブルで接続する(P.140)
		USBケーブルが破損している。	破損していないApple純正のUSBケーブルを使用してください。
		iPhone側で通信制限が発生している。 iPhone側の動作が不安定になっている。	iPhoneの契約データプランを確認してください。 iPhone側の性能、通信状況を確認し、iPhoneの電源をOFFにし、再度ONにしてください。状況が改善される場合があります。
	<メニュー>スイッチを長押ししても Siri (音声認識)が起動しない	iPhone側のSiriの設定がOFFになっている。	iPhone側のSiriの設定をONにしてください。
	音声が出ない	Apple CarPlayのSiri(音声認識)が正常に終了していない。	ワイヤレス接続の場合 iPhoneの電源を入れなおしてから、iPhoneと本機をワイヤレス接続してください。 ➡ ワイヤレスで接続する(P.138) USBケーブル接続の場合 iPhoneをUSBケーブルから取り外し、iPhoneの電源を入れなおしてから、iPhoneと本機をUSBケーブル接続してください。 ➡ USBケーブルで接続する(P.140)

Android Auto

	症状	考えられる原因	処置
接続	Android Auto との接続ができない	同じ機器名称で登録されている、別の機器を選択した。	本機で Android Auto 用登録機器を消去し、Android スマートフォンの BLUETOOTH® の設定からも本機(NM11M)を消去してから、再度機器登録からやりなおしてください。 ➡ Android スマートフォンの登録を消去する(P.147)
		● GPS アンテナが正しく接続されていない。 ● 車速センサーが正しく接続されていない。	GPS 受信状況、車速パルス取得状況を確認してください。 ➡ Android スマートフォンの登録を消去する(P.147) ➡ 車両信号情報を確認する(P.156) GPS アンテナの接続を確認してください。また、車速パルスが正常な状態にならない場合は、お買い上げの三菱自動車販売会社にご相談ください。
		● Android スマートフォン側で Android Auto アプリが異常終了した。 ● 使用中に Android スマートフォンの電源を切った。	ワイヤレス接続の場合 Android スマートフォンの電源を入れなおしてから、Android スマートフォンと本機をワイヤレス接続してください。 ➡ ワイヤレスで接続する(P.143) USB ケーブル接続の場合 Android スマートフォンを USB ケーブルから取り外し、Android スマートフォンの電源を入れなおしてから、Android スマートフォンと本機を USB ケーブル接続してください。 ➡ USB ケーブルで接続する(P.145)
		Android スマートフォンの USB 接続モードが、USB メモリーとして認識されるモード(例:「ファイル転送/Android Auto」など)に設定されていない。	Android スマートフォンを操作して、USB 接続モードの設定を確認してください。 ※名称や設定のしかたは機器によって異なりますので、Android スマートフォンの説明書をご覧ください。もしくは、スマートフォンメーカーにお問い合わせください。
		USB ケーブルがしっかりと接続されていない。	USB ケーブルを本機の USB Type-C 端子にしっかりと接続しなおしてください。 ➡ USB ケーブルで接続する(P.145)
		USB ケーブルが破損している。	破損していない USB ケーブルを使用してください。

	症状	考えられる原因	処置
接続	Android Auto との接続ができない	Android スマートフォン側の Android Auto の設定が OFF になっている	Android スマートフォン側の Android Auto の設定を ON にしてください。
		Android スマートフォン側の Android Auto 設定に“拒否された車”として登録されている。	Android スマートフォン側の“拒否された車”から本機を削除したあと、接続をやりなおしてください。
		Android スマートフォンが Android Auto に対応していない。	Android Auto に対応した Android スマートフォンを使用してください。
動作	Android Auto が正しく動作しない (動きや立ち上がりが遅い、地図を表示しようとしたら真っ白、など)	USB ケーブルがしっかりと接続されていない。	USB ケーブルを本機の USB Type-C 端子にしっかりと接続しなおしてください。 ➡ USB ケーブルで接続する (P.145)
		USB ケーブルが破損している。	破損していない USB ケーブルを使用してください。
		Android スマートフォン側で通信制限が発生している。	Android スマートフォンの契約データプランを確認してください。
		Android スマートフォン側の動作が不安定になっている。	Android スマートフォン側の性能、通信状況を確認し、Android スマートフォンの電源を OFF にし、再度 ON にしてください。状況が改善される場合があります。
	<メニュー>スイッチを長押ししても Google アシスタント (音声アシスタント)が起動しない	Android スマートフォン側の Google アシスタントの設定が OFF になっている。	Android スマートフォン側の Google アシスタントの設定を ON にしてください。
	音声が出ない	Android Auto の Google アシスタント(音声アシスタント)が正常に終了していない。	ワイヤレス接続の場合 Android スマートフォンの電源を入れなおしてから、Android スマートフォンと本機をワイヤレス接続してください。 ➡ <u>ワイヤレスで接続する (P.143)</u> USB ケーブル接続の場合 Android スマートフォンを USB ケーブルから取り外し、Android スマートフォンの電源を入れなおしてから、Android スマートフォンと本機を USB ケーブル接続してください。 ➡ <u>USB ケーブルで接続する (P.140)</u>

HDMI

	症状	考えられる原因	処置
映像／音声	音が出ない	本機と接続した機器が、本機以外の機器と BLUETOOTH® 接続している。	本機以外の機器との BLUETOOTH® 接続を解除してください。
	映像が出ない	正しく接続されていない。	接続を確認してください。 ➡ 外部機器の接続について (P.111)

ソフトウェア・地図更新

	症状	考えられる原因	処置
動作	本機をインターネットに Wi-Fi 接続してもソフトウェア・地図更新できない	更新用USBメモリー* ¹ が本機に接続された状態でスマートフォン／モバイルWi-Fiルーターなどを利用したインターネットへのWi-Fi接続(ステーションモード)でソフトウェア・地図更新しようとした。	更新用USBメモリー* ¹ を取り出し、再度インターネットにWi-Fi接続(ステーションモード)してから更新してください。 ➡ インターネットにWi-Fi接続してソフトウェア・地図を更新する (P.75)
		完了していない更新データがある状態で、ソフトウェア・地図更新をしようとした。	前回行った更新を完了させてから、再度ソフトウェア・地図更新をしてください。 ➡ インターネットにWi-Fi接続してソフトウェア・地図を更新する (P.75)

* 1…USBメモリーでの更新については、下記をご覧ください。

➡ [パソコンを使用してソフトウェア・地図を更新する \(P.77\)](#)

その他

	症状	考えられる原因	処置
リヤビューカメラ	映像が出ない	シフトレバーがリバースの位置になっていない。	シフトレバーがリバースの位置になっているか確認してください。 ※車両装備のリヤビューモニターの映像は表示することができません。
	映像の映りが悪い	カメラのレンズが汚れている。 太陽光や後続車のヘッドライトの光が直接カメラレンズ面にあたっている。	水を含ませた柔らかい布等で軽く拭いてください。 レンズ面にあたっている光が消えればもとに戻ります。
	映像が暗い	画面の明るさ等が正しく調整されていない。	画面の明るさ等の調整を行ってください。 ➡ <u>画面の画質調整／サイズ切り替えをする (P.155)</u>
	目安線が表示されない	目安線が非表示になっている。	目安線を表示してください。 ➡ <u>目安線の表示／非表示を切り替える (P.116)</u>
マルチアラウンドモニター	映像が表示されない	車の速度が表示条件を満たしていない。 ● 接続に異常がある。 ● 接続した機器のヒューズが切れている。	減速してください。 ※表示条件は車両取扱説明書をご覧ください。 三菱自動車販売会社にご相談ください。
	映像の映りが悪い	レンズが汚れている。	水を含ませた柔らかい布等で軽く拭いてください。
	画面上に×や！マークが表示される	エラーが発生している。	三菱自動車販売会社にご相談ください。
	映像が表示されない	ドライブレコーダーが起動していない。	ドライブレコーダーの取扱説明書に従って起動してください。
ドライブレコーダー*	ドライブレコーダーの操作や設定ができない	三菱自動車オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー以外のドライブレコーダーを接続している。	本機でドライブレコーダーの操作や設定ができるのは、三菱自動車オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーを接続している場合のみです。

* 1…三菱自動車オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーに関しては、三菱自動車オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

こんなメッセージが表示されたら

電源・共通

	メッセージ表示	考えられる原因	処置
動作	車速信号が検出できません。車速信号コードの接続をご確認ください。	—	お買い上げの三菱自動車販売会社に依頼し、車速信号コードまたは車速信号中継コードの接続を確認してください。
	電源を入れ直してください。 ※このメッセージが繰り返し表示される場合はお買い上げの販売会社またはお近くのサービス窓口にご相談ください。	アンプに異常が発生した。	いったん本機の電源を切って、再度電源を入れてください。
	本機に接続しているUSBケーブルに異常がありました。 ケーブルを取り外して、電源を入れ直してください。	接続されたUSB機器やケーブルの異常などで、出力電圧がショートしている。	金属物から離してください。 接続している機器やUSBケーブルに異常がないことを確認してください。 それでも正常に戻らない場合は、お買い上げの三菱自動車販売会社にご相談ください。

ナビゲーション

	メッセージ表示	考えられる原因	処置
動作	情報を受信していません。	VICS 情報がない。	FM VICS チューナーの周波数設定を確認してください。
	走行中はスクロールできません。	市街地図を表示した状態で、走行中に地図をスクロールした。	安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてご覧ください。
		パーキングブレーキをかけているにもかかわらず、メッセージが表示される場合は、サイドブレーキコードが正しく接続されていない。	お買い上げの三菱自動車販売会社に依頼し、サイドブレーキコードの接続を確認してください。

AV[TV]

	メッセージ表示	考えられる原因	処置
映像／音声	受信できません (0020)	地上デジタル放送／ワンセグの受信レベルが低い。	受信できる場所に移動してください。
	受信できません (E202)	地上デジタル放送／ワンセグの電波を受信できていない。	受信できる場所に移動してください。
	受信できません (E203)	地上デジタル放送／ワンセグの受信レベルが非常に低い。 放送休止のチャンネルを見ている。	受信できる場所に移動してください。 視聴できるチャンネルを選んでください。

AV[USB]

	メッセージ表示	考えられる原因	処置
動作	このファイルは再生できません。	再生できない形式の音楽データを再生した。	ファイルを確認してください。
	再生可能なファイルがありません。	異常のある動画を再生した。 再生できるファイルがない。	ファイルを確認してください。 再生できるファイルのあるメディアを接続してください。

AV[iPod]

	メッセージ表示	考えられる原因	処置
動作	再生可能なファイルがありません。	再生できるファイルがない。	再生できるファイルのある iPod／iPhone を接続してください。

AV[BLUETOOTH® Audio]

	メッセージ表示	考えられる原因	処置
動作	再生可能なファイルがありません。	再生できるファイルがない。	再生できるファイルのある BLUETOOTH® 対応オーディオ機器を接続してください。

ハンズフリーフォン

	メッセージ表示	考えられる原因	処置
動作	電話帳データの件数が多すぎます。 最大2000件の電話帳データを読み込むことができます。	電話帳データの件数が多すぎる。	最大2 000件の電話帳データを読み込むことができます。

Apple CarPlay

	メッセージ表示	考えられる原因	処置
接続	Apple CarPlayを開始するには、GNSSアンテナを接続してください。 (iPhoneの端末名)のApple CarPlay機能が無効に設定されています。 設定を見直すか、BLUETOOTH®接続を使用してください。	— —	GPSアンテナの接続に異常がないか、お買い上げの三菱自動車販売会社にご相談ください。 Apple CarPlayを利用する場合は、iPhone側の設定でApple CarPlayを有効にして、本機と接続してください。 ➡ 本機とiPhoneを接続する(P.138) Apple CarPlayを利用しない場合は、iPhoneをBLUETOOTH®対応機器として接続してください。 ➡ BLUETOOTH®接続する機器で使用する機能を変更する(P.28)

Android Auto

	メッセージ表示	考えられる原因	処置
接続	接続できませんでした。 接続機器を確認してください。	Android スマートフォンが本機とのAndroid Autoの接続に対応していない。	本機で Android Auto が使用できるスマートフォンをご確認ください。 ➡ 本機で Android Auto が使用できるスマートフォン(P.143)

ソフトウェア・地図更新

	メッセージ表示	考えられる原因	処置
動作	更新が中断されました。	本機に送信した更新データと本機の情報が合っていない。	いったん本機とスマートフォン／モバイルWi-FiルーターなどのWi-Fi接続を解除して、再度Wi-Fi接続(ステーションモード)してください。 ➡ <u>Wi-Fi接続する機器を変更する(P.29)</u> Wi-Fi接続(ステーションモード)が確認できたら、再度、更新データのダウンロードからやりなおしてください。 ➡ <u>インターネットにWi-Fi接続してソフトウェア・地図を更新する(P.75)</u>
	サーバーから情報を取得できないためオンラインバージョンアップを利用できません。更新用USBメモリを作成し、更新を実施してください。	本機の地図データにファイル破損などの異常がある。	パソコンを使用して地図の更新を実施してください。 ➡ <u>パソコンを使用してソフトウェア・地図を更新する(P.77)</u>
	サーバーと通信ができませんでした。	Wi-Fi接続(ステーションモード)ができない。	スマートフォンのテザリング／モバイルWi-FiルーターなどをOFFにし、再度ONにして、スマートフォン／モバイルWi-Fiルーターなどと本機をWi-Fi接続(ステーションモード)してください。 ➡ <u>本機をインターネットにWi-Fi接続(ステーションモード)する(P.28)</u>
	地図/ソフトウェアの更新ができませんでした。再度更新処理を行ってください。	本機をインターネットにWi-Fi接続(ステーションモード)して行うソフトウェア・地図の更新に失敗した。	スマートフォンのテザリング／モバイルWi-FiルーターなどをOFFにし、再度ONにして、スマートフォン／モバイルWi-Fiルーターなどと本機をWi-Fi接続(ステーションモード)してください。 ➡ <u>本機をインターネットにWi-Fi接続(ステーションモード)する(P.28)</u> Wi-Fi接続(ステーションモード)が確認できたら、再度、更新データのダウンロードからやりなおしてください。 ➡ <u>インターネットにWi-Fi接続してソフトウェア・地図を更新する(P.75)</u>
	地図データの読み込みに失敗したため、オンラインバージョンアップを利用できません。更新用USBメモリを作成し、更新を実施することで復旧する場合があります。	パソコンを利用したソフトウェア・地図の更新に失敗した。 本機の地図データにファイル破損などの異常がある。	再度、更新用USBメモリの作成からやりなおしてください。 ➡ <u>パソコンを使用してソフトウェア・地図を更新する(P.77)</u> パソコンを使用して地図の更新を実施してください。 ➡ <u>パソコンを使用してソフトウェア・地図を更新する(P.77)</u>

ドライブレコーダー

	メッセージ表示	考えられる原因	処置
動作	ドライブレコーダーと接続できません。 (ID:D01)	三菱自動車オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーと通信エラー、コネクター部の接触不良、ワイヤーの断線、コネクターの抜けが発生している。	本機の電源を入れなおしてください。三菱自動車オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの操作については三菱自動車オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの取扱説明書をご覧ください。電源を入れなおしても改善されない場合はお買い上げの三菱自動車販売会社にご相談ください。

ETC

	メッセージ表示	考えられる原因	処置
動作	ETCエラーコード：XX (XXには数字が入ります)	原因と処置については別売のETC2.0車載器の取扱説明書をご覧ください。	

本体リセット機能について

画面が正しく表示されない、操作しても反応しないなど正常に動作しないときは、いったん車のエンジンを止めて、再度エンジンをかけてください。

それでも正常に戻らない場合は下記の操作で本体リセットを行い、再起動させてください。

<AV>スイッチを長押し(15秒)する

アドバイス

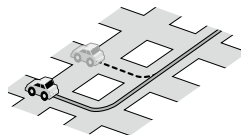
- セキュリティコードを設定している場合、本体リセットを行うと再起動時にセキュリティコードの入力が必要になります。
 - ➡ 本機を起動時にセキュリティコード認証画面が表示されたら(P.153)

GPS 電波受信と現在地測位

現在地測位について

- 本機はGPS衛星から送信された電波を利用して、現在地を測位しています。また自律航法やマップマッチングを行って、測位誤差を補正しています。
- 本機は準天頂衛星システム「みちびき」も利用して、現在地を測位しています。GPSを補い、より安定した測位を行います。(2025年4月時点)
- 本機表示の現在地や進行方向は、以下のような走行条件などによってずれることがあります。故障ではありませんので、しばらく走行を続けると正常な表示に戻ります。

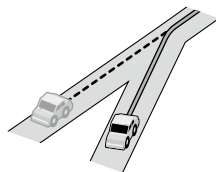
碁盤目状の道路や近くに似た形状の道路がある場所を走行しているとき



S字の連続する道路を走行しているとき



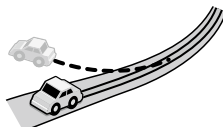
角度の小さなY字路を走行しているとき



勾配の急な山道や、高低差のある道路を走行したとき



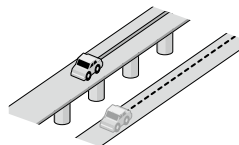
直線や緩やかなカーブを長距離走行しているとき



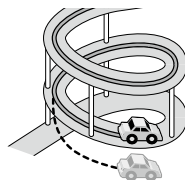
砂利道や雪道などで、タイヤがスリップしたとき



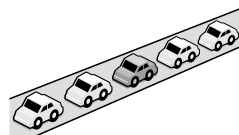
高速道路と一般道路が近くにあるとき



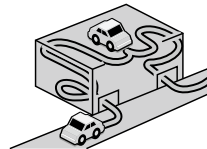
らせん状の道路などを走行しているとき



渋滞や駐車などで、低速で発進や停車を繰り返したとき

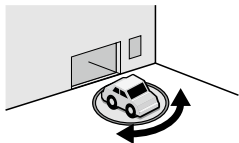


旋回、切り返しを繰り返したとき



必要なとき

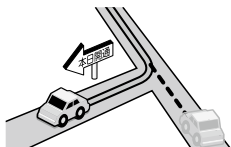
本機の電源が切れている間にターンテーブルなどで旋回したとき、また立体駐車場から出てきたとき



地下駐車場やトンネルなど、GPS衛星による測位が長時間できないとき



地図画面に表示されない道路上の走行や新設された道路、改修などにより形状が変わった道路などを走行しているとき



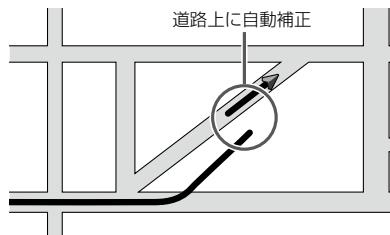
知識

自律航法とは

本機に内蔵のジャイロセンサーで車の移動方向を判断し、車から得た車速パルスから車の走った距離を算出することにより、現在地を割り出す方法

マップマッチングとは

現在地測位をして道路以外の場所を走行しているという結果が出た場合、測位に誤差が生じたと判断し、近くの道路に現在地補正すること



準天頂衛星システム「みちびき」とは

内閣府により整備が進められている、日本の衛星測位システム

- GPS衛星はアメリカ国防総省により管理されており、故意に位置精度を落とすことがあります。
- 自律航法は実際の走行を重ねてデータを蓄積することで算出精度の向上を図っています。そのため、初めてお使いのときや、蓄積データを初期化（センサー学習結果の初期化）をした直後は十分に現在地測位ができない場合があります。
- 測位の誤差が大きくなったり、タイヤ交換やチェーンの装着、他車への載せ替え、他人に譲渡または処分などされる場合は、センサー学習結果の初期化を行ってください。
- ➡ 車両信号情報を確認する(P.156)
- エンジンを開始してすぐ車を動かしたときも、自車マークの向きがずれることがあります。
- 高速道路と一般道路が近くにある場合、自車マークが実際と異なる道路に表示されることがあります。その場合は、道路切り替えを行うと自車位置を修正できることがあります。
- ➡ 走行中の道路を誤って認識したとき(道路切替)(P.47)

GPS電波受信について

- 以下のような場所ではGPS電波がさえぎられやすいため受信しにくくなります。

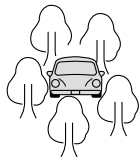
トンネルの中



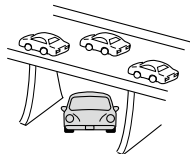
高層ビルに囲まれた所



樹木の密集した所



高速道路の下など



- 車内でご使用の電子機器(レーダー探知機、ドライブレコーダー、ETCなど)からの電波により、また一部の車種に使用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムなどにより電波がさえぎられ、受信しにくくなる場合があります。
- 通常は、本機を起動してから数分でGPS電波を受信します。ただし、初めてお使いのときや車のバッテリーなど交換後、また長時間ご使用にならなかったときは、現在地を表示するまでに15～20分程度かかることがあります(GPS衛星から送られる衛星の軌道データの受

信周期により、データの取り込みに時間がかかるため)。走行すると受信や現在地測位に時間がかかるため、受信できるまで走行せずにお待ちください。

VICSについて

VICSに関する問い合わせ先について

- VICS関連商品、VICS情報の受信エリアや内容の概略、レベル3(地図)表示の内容に関することは三菱自動車販売会社へお問い合わせください。
- VICSの概念、計画、または表示された情報内容に関することはVICSセンターへお問い合わせください。(ただし、レベル3(地図)表示の表示内容は除く)

一般財団法人道路交通情報通信システムセンター(VICSセンター)

電話番号 0570-00-8831
 ※ PHS、IP電話等からはご利用いただけません。
 ※ 全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。

電話受付時間 平日9:30～17:45
 (土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く)

FAX番号 (03)3562-1719
 FAX受付時間 24時間
 URL <https://www.vics.or.jp/>

VICS削除リンクに関する告知

VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)を地図上に表示するためあらかじめ本機に情報提供用の単位(以下、VICSリンクと称します)を設定しています。道路形状や交通施設の変化にともない、より正確な情報提供をするため、必要に応じ、毎年、VICSリンクの追加・変更が行われます。過去からのVICSリンクの情報を永続的に提供することは容量などの理由で不可能です。追加・変更が行われた場合、該当のVICSリンクについて3年間は情報提供が行われますが、それ以降は、情報提供が打ち切られることになっております。このため、VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)の表示は「本製品」発売後、3年程度で一部の道路において情報が表示されなくなることがあります。

VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章 総則

(約款の適用)

第1条 一般財団法人道路交通情報通信システムセンター(以下「当センター」といいます。))は、放送法(昭和25年法律第132号)第147条の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款(以下「この約款」といいます。))を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第2条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第3条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

(1) VICS サービス

当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

(2) VICS サービス契約

当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約

(3) 加入者

当センターとVICSサービス契約を締結した者

(4) VICS デスクランブラー

FM多重放送局からのスクランブル化(攪乱)された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章 サービスの種類等

(VICS サービスの種類)

第4条 VICS サービスには、次の種類があります。

(1) 文字表示型サービス

文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

(2) 簡易図形表示型サービス

簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

(3) 地図重畳型サービス

車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICS サービスの提供時間)

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章 契約

(契約の単位)

第6条 当センターは、VICS デスクランブラー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第7条 VICS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域(全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内)とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条 VICS サービスは、VICS 対応FM受信機(VICS デスクランブラーが組み込まれたFM受信機)を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICS サービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICS サービスの種類に対応したVICS 対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICS サービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者がVICS サービス契約を解除したものとみなします。

(1) 加入者がVICS デスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき

(2) 加入者の所有するVICS デスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第12条 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。

2 第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料金

(料金の支払い義務)

第13条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保守

(当センターの保守管理責任)

第14条 当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第15条 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。

2 当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雑則

(利用に係る加入者の義務)

第16条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第17条 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは、当該変更においても、変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービ

スが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2 VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

[別表] 視聴料金 330円(税込み)
ただし、車載機購入価格に含まれております。

令和2年12月1日改訂

地図ソフトについて

重 要 !!

本使用規定(「本規定」)は、お客様と株式会社ゼンリン(「(株)ゼンリン」)間の「本機」(「機器」)に格納されている地図データおよび検索情報等のデータ(「本ソフト」)の使用許諾条件を定めたものです。本ソフトのご使用前に、必ずお読みください。本ソフトを使用された場合は、本規定にご同意いただいたものとしします。

使 用 規 定

1. (株)ゼンリンは、お客様に対し、機器の取扱説明書(「取説」)の定めに従い、本ソフトを本ソフトが格納されている機器1台に限り使用する権利を許諾します。
2. (株)ゼンリンは、本ソフトの媒体や取説にキズ・汚れまたは破損があったときは、お客様から本ソフト購入後90日以内にご通知いただいた場合に限り、(株)ゼンリンが定める時期、方法によりこれらが無いものと交換するものとします。但し、本ソフトがメーカー等の第三者(「メーカー」)の製品・媒体に格納されている場合は、メーカーが別途定める保証条件によるものとします。
3. お客様は、本ソフトのご使用前には必ず取説を読み、その記載内容に従って使用するものとし、特に以下の事項を

遵守するものとします。

- (1) 必ず安全な場所に車を停止させてから本ソフトを使用すること。
 - (2) 車の運転は必ず実際の道路状況や交通規制に注意し、かつそれらを優先しておこなうこと。
4. お客様は、以下の事項を承諾するものとします。
 - (1) 本ソフトの著作権は、(株)ゼンリンまたは(株)ゼンリンに著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属すること。
 - (2) 本ソフトは、必ずしもお客様の使用目的または要求を満たすものではなく、また、本ソフトの内容・正確性について、(株)ゼンリンは何ら保証しないこと。(本ソフトにおける情報の収録は、(株)ゼンリンの基準に準拠しております。また、道路等の現況は日々変化することから本ソフトの収録情報が実際と異なる場合があります。)
 - (3) 本規定に違反したことにより(株)ゼンリンに損害を与えた場合、その損害を賠償すること。
 5. お客様は、以下の行為をしてはならないものとしします。
 - (1) 本規定で明示的に許諾される場合を除き、本ソフトの全部または一部を複製、抽出、転記、改変、送信すること。

- (2) 第三者に対し、有償無償を問わず、また、譲渡・レンタル・リースその他方法の如何を問わず、本ソフト(形態の如何を問わず、その全部または一部の複製物、出力物、抽出物その他利用物を含む。)の全部または一部を使用させること。
- (3) 本ソフトをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすること、その他のこれらに準ずる行為をすること。
- (4) 本ソフトに無断複製を禁止する技術的保護手段(コピープロテクション)が講じられている場合、これを除去・改変その他方法の如何を問わず回避すること。
- (5) その他本ソフトについて、本規定で明示的に許諾された以外の使用または利用をすること。

安全上のご注意 (交通事故防止等安全確保のために必ずお守りください)

 警告	 禁止	運転者は、走行中に操作をしたり、画面を注視したりしないでください。 運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。
	 指示	操作は、安全な場所に車を停止させてからおこなってください。 安全な場所以外では追突、衝突されるおそれがあります。
	 指示	常に実際の道路状況や交通規制標識・標示などを優先して運転してください。 本機に収録されている地図データ、交通規制データ、経路探索結果、音声案内などが実際と異なる場合があります、交通規制に反する場合や、通行できない経路を探索する可能性があります。そのため、交通事故を招くおそれがあります。 取り付ける車両に「標識認識機能」がある場合、本機の案内と車両側に表示される情報が異なる場合がありますが、常に実際の標識に表示された情報に従って運転してください。

 警告	 指示	一方通行表示については、常に実際の交通規制標識・標示を優先して運転してください。 一方通行表示はすべての一方通行道路について表示されているわけではありません。また、一方通行表示のある区間でも実際にはその一部が両面通行の場合があります。
	 禁止	本機を救急施設などへの誘導用に使用しないでください。 本機にはすべての病院、消防署、警察署などの情報が含まれているわけではありません。また、情報が実際と異なる場合があります。そのため、予定した時間内にこれらの施設に到着できない可能性があります。

【地図データについて】

- この地図の作成に当たっては、測量法に基づく国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分の1地方図及び2万5千分の1地形図を使用しています。(測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 2JHs 293-B352号)
- この地図の作成にあたっては、測量法に基づく国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H・1-No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を使用しています。(承認番号 国地企調発第78号 平成16年4月23日)
- 3次元地図の作成に当たっては、測量法に基づく国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50 mメッシュ(標高)を使用しています。(測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 4JHs 823-001号)
- この地図の作成に当たっては、(一財)日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しています。(測量法第44条に基づく成果使用承認12-0040)
- 本ソフトで表示している経緯度座標数値は、日本測地系に基づくものとなっています。
- 「市街地図」データは(株)ゼンリンの住宅地図データに基づき作成しています。なお、当該「市街地図」は地域により作成時期が異なる場合や、データの整備状況により一部収録されていない地域があります。

- 自然災害等の影響により、表示される地図が現地と一部異なる場合があります。最新の情報は、行政機関などで公開されている情報をご確認ください。
- 道路データは、高速、有料道路についてはおおむね2024年12月、国道、都道府県道についてはおおむね2024年10月までに収集された情報に基づき製作されていますが、表示される地図が現場の状況と異なる場合があります。
- この地図データにはETC専用料金所の情報を収録しております。ETC専用料金所とは、スマートICと同様にETC車載器を搭載した車両のみが利用できる料金所です。ETC専用料金所はスマートICと同じ扱いで収録しており、スマートIC利用設定の変更により、ETC専用料金所を利用するルート、または利用しないルートの案内が可能です。具体的な設定方法は、ナビゲーションの取扱説明書をご覧ください。
- ◆3D交差点 ルート案内時、主要都市の主要交差点をリアルデザインで案内します。
- ◆ジャンクションビュー.... ルート案内時、自動的に高速道路・首都高速道路・都市高速道路のジャンクションをリアルデザインで案内します。

- ◆方面看板 国道をはじめとした一般道の行き先案内を表示します。(全国の主要交差点を表示)

※3D交差点、ジャンクションビュー、方面看板は、全ての交差点において収録されているわけではありません。

- 細街路規制データは、おおむね2024年7月までに収集された情報に基づき製作されています。そのため、表示される規制データが現況と異なる場合があります。
- 本ソフトに使用している盗難多発地点情報は、47の各都道府県警察の以下の著作物を改変して作成しています。「区市町村の町丁別、罪種別及び手口別認知件数」(以下「出典情報」)
- (株)ゼンリンは、盗難多発地点情報を、クリエイティブ・コモンズ・ライセンス 表示4.0国際(<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>)及び2.1日本(<http://creativecommons.org/licenses/by/2.1/jp/>)に定める以下①及び②へ準拠した上で作成し、本製品の製造者へ提供しています。
- ①クレジット表記が必要であること
- ②出典情報の保証を一切行わないこと

【経路探索について】

- 経路探索は、2万5千分の1地形図(国土地理院発行)の主要な道路において実行できます。ただし、一部の道路では探索できない場合があります。また、表示

された道路が現場の状況から通行が困難なときがあります。現場の状況を優先して運転してください。

- この地図データには、自動経路探索、交差点拡大図表示および音声ガイドに対応するデータを収録しておりますが、表示および表現方法や件数が現場の状況と異なる場合や、ご使用になれない場合があります。
- 交差点や道路の形状によっては、不要な音声案内をしたり、経路探索結果が不自然になったりする場合があります。

【交通規制データについて】

- 本ソフトに使用している交通規制データは、(公財)日本道路交通情報センター(JARTIC)の交通規制情報を使用しています。
- 交通規制データは、普通自動車に適用される交通規制情報が収録されています。また、時間・曜日指定の一方通行が正確に反映されない場合もありますので、必ず実際の交通規制に従って運転してください。

【電話番号検索情報について】

- 本ソフトに使用している電話番号検索情報は、NTTのタウンページ電話帳2024年11月の情報を収録しています。なお、タウンページ電話帳に記載されている店舗情報の中でも、一部店舗の場所が特定できない情報については収録していません。

- お客様が電話番号、店舗名称等を用いて対象となる店舗または物件の位置を検索した場合、該当する店舗または物件の周辺を到着地点として表示する場合があります。あらかじめご了承ください。
- 「タウンページデータベース」は、NTT東日本・NTT西日本の電話サービス契約款に基づき提供する電話帳ベースです。NTT東日本・NTT西日本からの委託を受けたNTTタウンページ株式会社が提供しています。

【VICSリンクについて】

- VICSリンクデータベースの著作権は、(一財)日本デジタル道路地図協会、(公財)日本交通管理技術協会に帰属しています。(一財)道路交通情報通信システムセンター(VICSセンター)による道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)の地図上への表示は毎年、追加・更新・削除され、その削除された部分は経年により一部の情報が表示されなくなることがあります。

【登録商標について】

- “ゼンリン”および“ZENRIN”は(株)ゼンリンの登録商標です。
- 「VICS」および「VICS WIDE」は(一財)道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- “タウンページ”は、日本電信電話(株)の商標です。

一般財団法人道路交通情報通信システムセンター(VICS センター) お客様相談窓口

【電話番号】 0570-00-8831
(PHS、IP電話等からはご利用いただけません)

【受付時間】 平日 9:30～17:45
(土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く)

【FAX番号】 03-3562-1719
(24時間受付)

【URL】 <https://www.vics.or.jp/>

【本ソフトの情報について】

本ソフトは、おおむね以下の年月までに収集された情報に基づいて作成されております。

■道路：2024年12月(高速・有料道路)
／2024年10月(国道・都道府
県道)

■交通規制：2024年11月

■住所検索：2024年11月

■電話番号検索：2024年11月

■ジャンル検索：2024年10月

■高速・有料道路料金*：2024年12月

■市街地図：2024年7月

※料金表示は、ETCを利用した各種割引などは考慮していません。また、増税などにより実際の金額とは異なる場合があります。地図データの作成時期の都合により、新規開通道路にはETC レーン、および料金のデータが収録されていない場合があります。また新規開通道路のパーキングエリア(PA)、サービスエリア(SA)の施設情報は表示されない場合があります。

2025年7月発行 製作／株式会社ゼンリン

© 2017 一般財団法人日本デジタル

道路地図協会

© 2024 NIPPON TELEGRAPH AND
TELEPHONE EAST CORPORATION

© 2024 NIPPON TELEGRAPH
AND TELEPHONE WEST
CORPORATION

© ジオ技術研究所

© 2025 ZENRIN CO., LTD. All rights
reserved.

地図に関するお問い合わせ先

株式会社ゼンリン

カスタマーサポートセンター

フリーダイヤル0120-210-616

※受付の時間・曜日などは株式会社ゼン
リンのホームページをご確認ください。

[https://www.zenrin.co.jp/
product/support/contact_tel_
fax/index.html](https://www.zenrin.co.jp/product/support/contact_tel_fax/index.html)

※携帯・PHS からでもご利用いただけます。

※IP 電話等の一部電話機では、ご利用い
ただけない場合がございます。

表示できる施設

ジャンル	企業名・中分類	ジャンル	企業名・中分類	ジャンル	企業名・中分類	ジャンル	企業名・中分類
充電スポット* ¹	急速充電スポット	遊ぶ (続き)	公営ギャンブル	観る (続き)	イベント	買う (続き)	バッグ・コート・毛皮
	普通充電スポット		パチンコ		ビューポイント		その他繊維製品
コンビニエンスストア	麻雀		泊まる	住宅展示場	スポーツ		
ガソリンスタンド	ゲームセンター			ホテル	雑貨		
	ビリヤード			ビジネスホテル	ドラッグストア		
	ボウリング場			旅館	100円ショップ		
	カラオケボックス			ペンション	その他日用品・雑貨・文具		
	マンガ喫茶			公共の宿	チケット売買・プレイガイド		
インターネットカフェ	ファッションホテル			家族旅行村	携帯電話ショップ		
アニメ・ゲームグッズ	カプセルホテル			国民休暇村	リサイクルショップ		
プラネタリウム	民宿			車中泊スポット	おもちゃ屋		
クラブ・ライブハウス	その他宿泊施設			買う	カー用品	子供用品・服	
マリーナ	動物園		ホームセンター		酒屋		
待ち合わせ場所	植物園		ディスカウント		食材		
趣味・娯楽・教養	水族館		スーパー		パン・お菓子		
観る	動物園	美術館	デパート		花屋		
	植物園	博物館	複合大型商業施設		園芸店		
	水族館	資料館	複合大型商業施設		家具店		
	美術館	文化施設	アウトレットモール		インテリア用品店		
	博物館	ホール会館	家電		メガネ・コンタクトレンズ		
	資料館	劇場	本		釣具店		
	文化施設	映画館	ファッション	アウトドア用品店			
	ホール会館	城・城跡	衣服・呉服・小物	CDレコード店			
	劇場	史跡	シューズ	中古CDレコード店			
	映画館	名所・観光地等					
	城・城跡						
	史跡						
	名所・観光地等						

* 1…対応車種のみ

必要なとき

ジャンル	企業名・中分類
買う (続き)	レンタルビデオ・CD
	化粧品・装飾品・民芸品
	オーディオ・パソコン・OA
	金物店・刃物店
	ガラス・陶磁器
	その他小売店
食べる	ファミリーレストラン
	ファストフード
	ラーメン
	うどん・そば
	日本料理
	中華
	イタリア料理
	寿司屋
	回転寿司
	フランス料理
	カレーハウス
	焼肉・ホルモン
	韓国料理
	お好み焼き
	とんかつ
	持ち帰り弁当
	喫茶
	酒場
	うなぎ料理店
	おでん屋
	海鮮料理店
	懷石料理

ジャンル	企業名・中分類
食べる (続き)	割烹・料亭
	スパゲティ専門店
	ステーキハウス
	てんぷら料理店
	鳥料理店
	ピザハウス
	アイスクリーム
	その他和風飲食店
	その他洋風・中華飲食店
生活施設	郵便
	理容・美容
	クリーニング
	温泉
	銭湯
	サウナ・健康センター
	クアハウス・スパ
	教養施設・福祉施設
	写真・写真館
	組合
	人材紹介・代行サービス
	録音スタジオ
	クレジット・質屋・買取
	宅配便・運輸
	リース・レンタル・修理
トイレ	トイレ

ジャンル	企業名・中分類
銀行	都市銀行
	地方銀行
	その他銀行
公共施設	役所
	警察署・交番
	消防署
公共施設 (続き)	図書館
	裁判所
	税務署
	年金事務所
	保健所
	法務局
	運転免許試験場
学校・ 教育施設	ハローワーク
	大学
	高校
	中学校
	小学校
	短大
	高専
	中等教育学校
	幼稚園
	保育園
	特別支援学校
	自動車学校
	各種専門学校
	予備校
	その他学校・教育施設

ジャンル	企業名・中分類
病院	病院
冠婚葬祭	冠婚葬祭場
	結婚式場
	霊園・墓地
	造花・装飾・花環
	火葬場
スポーツ 施設	ゴルフ
	スキー・スケート
	マリンスポーツ
	野球場
	競技場
	プール
	モータースポーツ
	自転車
	テニスコート
	体育館
	武道館
	スポーツクラブ
	バッティングセンター
	公営スポーツ施設
	その他スポーツ施設
神社・仏閣・ 教会・巡礼	神社
	仏閣・寺
	教会
カーディー ラー	全国著名巡礼名所
	三菱

ジャンル	企業名・中分類
自動車関連	自動車整備工場
	中古車販売
	レッカーサービス
	ロードサービス
	レンタカー
	オートバイ販売・部品・用品
	レンタルバイク
	その他自動車・自転車
エコステーション	エコステーション
水素ステーション	水素ステーション(移動式)
	水素ステーション(固定式)
その他ジャンル	大使館・領事館
	マスメディア
	旅行・観光業
	ペット
	製造・卸売業
	農園・果樹園

USB メモリーについて

- USB メモリーに記憶されているデータを本機で編集することはできません。
- USB メモリーは市販の USB ハブまたは USB 延長ケーブルを介して接続しないでください。

■ 本機で利用できる USB メモリー

- USB マスストレージ規格準拠
- 容量：32 GB 以下
- ファイルシステム：FAT16、FAT32、exFAT
- USB コミュニケーションフォーマット：USB2.0
- パソコンと接続時、リムーバブルディスクとして認識されるもの
- USB メモリー本体にセキュリティがかかっていないもの

知識

- 規格に準拠した USB メモリーでも、本機では使用できない場合があります。正常に動作しないときは、接続した USB メモリーを本機から取り外ししてください。
- 使用する USB メモリーが USB マスストレージ規格に準拠しているかは、USB メモリーのメーカーにお問い合わせください。

USB メモリーの取り扱いについて

- 読み書きしているときに以下のことはしないでください。
 - ・ USB メモリーを取り外す
 - ・ 機器の電源を切る
- 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどしないでください。
- データ消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 長時間使用すると、USB メモリーが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- USB メモリーには寿命があり、長期間使用すると書き込みや削除などができなくなる場合があります。
- USB メモリーが不良品の場合、正常に動作しない場合があります。
- USB メモリーの端子部を手や金属で触れたり、汚したりしないでください。

BLUETOOTH® について

使用周波数帯

本機では、**BLUETOOTH®** 接続中は、2.4 GHz 帯の周波数帯を使用します。他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあり、その機器との電波干渉を防ぐため、下記事項に注意してください。

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどでの移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します。)があります。

1. **BLUETOOTH®** を使う前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認する。
2. 万一、「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が生じた場合や、何かお困りのことが起きたときは電波の発射を停止した上、三菱自動車販売会社へご相談ください。
3. 何かお困りのことが起きたときは、三菱自動車販売会社へご相談ください。

機器設定(無線局の免許は不要です。)

本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けています。ただし、次のことは、法律で罰せられることがあります。

- 分解・改造をする
- 製品銘板をはがす

使用可能距離

見通し距離約 10 m 以内でご使用ください。間に障害物がある場合や、建物の構造などにより、使用可能距離は短くなります。

他機器からの影響

- 本機と他の **BLUETOOTH®** 対応機器や 2.4 GHz 帯を使用する機器の距離が近いと、電波干渉により、正常動作しない、雑音の発生など、不具合が生じる可能性があります。
- 放送局などが近く電波が強すぎる場合も同じです。

使用制限

- すべての **BLUETOOTH®** 対応機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- ワイヤレス通信する **BLUETOOTH®** 対応機器は、Bluetooth SIG, Inc. の定める認証が必要です。ただし、認証されていても対応機器の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法・表示・動作が異なる場合があります。
- ワイヤレス通信時は、使用環境などによりセキュリティが十分でない場合がありますのでご注意ください。(**BLUETOOTH®** 標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しています。)

- ワイヤレス通信時に発生したデータや情報の漏洩について、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

用途制限

- 本機の **BLUETOOTH®** の各機能を使用するには、**BLUETOOTH®** 対応機器が下記のプロファイルに対応している必要があります。
 - ・ **BLUETOOTH®** Audio
 - Advanced Audio Distribution Profile (A2DP)
 - Audio/Video Remote Control Profile (AVRCP)
 - ・ ハンズフリー通話
 - Hands-Free Profile (HFP)
 - ・ 電話帳転送
 - Phone Book Access Profile (PBAP)
 - ・ NaviCon® / レコーダーリンク
 - Serial Port Profile (SPP)
- **BLUETOOTH®** 対応機器の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法・表示・動作が異なる場合があります。
- 電波の状態によっては、音が途切れたり雑音が入ったりする場合があります。

本機の対応規格と対応プロファイル

対応規格	
BLUETOOTH® 標準規格 Ver. 5.2 + EDR 準拠	
対応プロファイル	使用する本機の機能
HFP(Hands-Free Profile) ver.1.7	ハンズフリーフォンの通話
PBAP(Phone Book Access Profile) ver.1.2	電話帳・発着信履歴の自動転送
A2DP(Advanced Audio Distribution Profile) ver.1.3	BLUETOOTH® Audio
AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile) ver.1.6	
SPP(Serial Port Profile) ver.1.2	NaviCon®, レコーダーリンク

Wi-Fiについて

- 本機の無線機能の使用周波数帯は2.4 GHz／5.2 GHz帯です。変調方式としてDS-SS変調方式、OFDM変調方式を採用しています。想定干渉距離は40 m以下です。本機は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。
- 同じ周波数を使用している他の無線機器との電波干渉を防ぐため、下記事項に注意してください。

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどでの移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します。)が運用されています。

- 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本機から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合は、すみやかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。
- 何かお困りのことが起きたときは、三菱自動車販売会社へご相談ください。

- 本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けています。以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。
 - ー 本機の分解や改造をする
 - ー 本機に貼り付けてある製品銘板をはがす

- 本機は、電気通信事業者(移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど)の通信回線(公衆無線LANを含む)に直接接続することはできません。本機をインターネットに接続するときは、必ず電気通信事業法の認定を受けた端末設備(ルーター、回線端末装置など)を経由して接続してください。
- 本機はすべてのWi-Fiテザリング対応スマートフォンやモバイルWi-Fiルーターなどとのワイヤレス接続を保証するものではありません。
- 接続する機器はWi-Fi Alliance®の定める規格に適合し、認証を取得している必要があります。規格に適合していても、接続する機器の特性や仕様によっては接続できない、表示や動作が異なる、などの場合があります。
- 使用する環境(車内および車両周辺の環境)によっては、通信速度が低下するなど通信の状態が不安定になることがあります。
- 障害物(壁や床など)があると、通信の状態が不安定になったり接続できない場合があります。
- 電波の状態によっては、音が途切れたり雑音が入ったりする場合があります。
- **BLUETOOTH®**機能と同時に使用すると、それぞれの通信の状態(接続や音声など)が不安定になることがあります。
- スマートフォン／モバイルWi-Fiルーターの電池残量低下により、Wi-Fi通信の状態が不安定になることがあります。

- Wi-Fiエリア内から出た場合は、通信が切断されます。
- 使用環境などによりセキュリティが十分でない場合がありますので、ご注意ください。
- 通信時に発生したデータや情報の漏洩について、当社は一切の責任を負いかねます。

■ Wi-Fiの規格とセキュリティ方式について

対応規格	IEEE 802.11a／b／g／n／ac (2.4 GHz／5.2 GHz)
対応セキュリティ方式	OPEN WPA 2™ - Personal WPA 3™ - Personal

音楽ファイルについて

本機は、USB メモリーに保存した音楽データを再生できます。

音楽データの規格について

■MP3

項目	内容
規格	MPEG-1 Audio Layer 3、MPEG-2 Audio Layer 3
拡張子	mp3、MP3
ビットレート	● MPEG-1 Audio Layer3 32 kbps / 40 kbps / 48 kbps / 56 kbps / 64 kbps / 80 kbps / 96 kbps / 112 kbps / 128 kbps / 160 kbps / 192 kbps / 224 kbps / 256 kbps / 320 kbps / VBR ● MPEG-2 Audio Layer3 8 kbps / 16 kbps / 24 kbps / 32 kbps / 40 kbps / 48 kbps / 56 kbps / 64 kbps / 80 kbps / 96 kbps / 112 kbps / 128 kbps / 144 kbps / 160 kbps / VBR ※ free format bitstream / forbidden は非対応
サンプリング周波数	● MPEG-1 Audio Layer3 32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz ● MPEG-2 Audio Layer3 8 kHz / 11.025 kHz / 12 kHz / 16 kHz / 22.05 kHz / 24 kHz
チャンネル	2ch / 1ch (Stereo / Joint Stereo / Dual Channel / Single Channel)
タグ情報	ID3 タグ Ver.1 (Ver.1.0 / Ver.1.1)、ID3 タグ Ver.2 (Ver.2.2 / Ver.2.3 / Ver.2.4) : タイトル、アーティスト名、アルバム名
アルバムアートワークのファイル形式	JPEG、PNG、BMP

■ WMA

項目	内容
規格	Microsoft Windows Media Audio Decoder Ver.8／Ver.9 std／Ver.9 Lossless／Ver.10 pro 2ch 準拠
拡張子	wma、WMA
ビットレート	CBR：5 kbps ～ 320 kbps VBR：Peak 384 kbps
サンプリング周波数	8 kHz／11.025 kHz／16 kHz／22.05 kHz／32 kHz／44.1 kHz／48 kHz
チャンネル	2ch、1ch (Stereo／Mono)
タグ情報	WMAタグ：タイトル、アーティスト名、アルバム名
アルバムアートワークのファイル形式	JPEG、PNG、BMP

■ AAC

項目	内容
規格	MPEG-4／AAC LC (Low Complexity)、MPEG-2／AAC LC (Low Complexity)、HE-AAC Ver.1、HE-AAC Ver.2、Enhanced Low Delay AAC
拡張子	aac、AAC、m4a、M4A ※ iTunes 以外で作成されたファイルは動作保証外 ※ DRM認証つきファイルは対象外
ビットレート	8 kbps ～ 320 kbps／VBR
サンプリング周波数	8 kHz／11.025 kHz／12 kHz／16 kHz／22.05 kHz／24 kHz／32 kHz／44.1 kHz／48 kHz
チャンネル	2ch、1ch (Stereo／Mono)
タグ情報	AACタグ、ID3タグVer.1 (Ver.1.0／Ver.1.1)、ID3タグVer.2 (Ver.2.2／Ver.2.3／Ver.2.4)：タイトル、アーティスト名、アルバム名
アルバムアートワークのファイル形式	JPEG、PNG、BMP

■FLAC

項目	内容
規格	FLAC(Free Lossless Audio Codec)
拡張子	flac
量子化ビット	16 bit / 24 bit
ビットレート	最大 9216 kbps
サンプリング周波数	16 kHz / 22.05 kHz / 24 kHz / 32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz / 88.2 kHz / 96 kHz / 176.4 kHz / 192 kHz
チャンネル	Stereo / Mono
タグ情報	タイトル、アーティスト名、アルバム名
アルバムアートワーク のファイル形式	JPEG、PNG、BMP

■WAV

項目	内容
規格	RIFF waveform Audio Format
拡張子	wav
量子化ビット	16 bit / 24 bit
サンプリング周波数	8 kHz / 11.025 kHz / 16 kHz / 22.05 kHz / 24 kHz / 32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz / 88.2 kHz / 96 kHz / 176.4 kHz / 192 kHz

必要なとき

- USBメモリー内のフォルダ階層は最大8階層、最大フォルダ数は700、最大ファイル数は65 535です。
- MP3iフォーマット／MP3PROフォーマット／ディエンファシスには対応していません。
- ID3タグVer.1、Ver.2が混在するMP3ファイルの場合、Ver.2のタグを優先します。
- WMA Voiceには対応していません。
- FLACファイルは1 024から4 608のブロックサイズに対応しています。
- WAVファイルはLPCM(整数型)に対応しています。AIFFフォーマット／WAVE64フォーマット／RF64フォーマット／ADPCMフォーマット等には対応していません。
- フリーフォーマット・可逆圧縮フォーマットには対応していません。
- 2chを超えるチャンネルを持つ音楽データは再生できません。
- ファイル作成の詳細はエンコーダーソフトや使用するオーディオ機器の説明書を参照してください。
- ファイル作成ソフトやテキスト編集ソフト、ライティングソフトやその設定によっては正規のフォーマットと異なるデータが作成される場合があります、テキスト情報表示や再生ができない場合があります。
- エンコーダーの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- 不正なファイル(例えばMP3以外のファイルに“MP3”の拡張子を付けたファイル)は、誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。音楽データ以外のファイルに音楽データの拡張子を付けしないでください。MP3／WMA／AAC／FLAC／WAV以外の形式のファイルは動作を保証しておりません。

知識

- 音楽配信サイトで入手できる楽曲は著作権保護がかけられているものがあります。著作権保護された楽曲は有料・無料にかかわらず本機では再生できません。
- DRM(デジタル著作権管理)には対応しておりません。
- 著作権保護された音楽ファイルは再生できません。

再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

- 32 kHz以下のサンプリング周波数のMP3/WMA/AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- 64 kbps以下のビットレートで再生されたMP3/WMA/AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- 一般的にビットレートが高くなるほど音質は良くなります。一定の音質で音楽を楽しんでいただくためにはMP3では128 kbps以上、WMAではできるだけ高いビットレートで記録されたファイルの使用をおすすめします。

音楽ファイルの再生について

- ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3/WMA/AAC/FLAC/WAVファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。
- 極端にファイルサイズの大きいファイル、小さいファイルは正常に再生できないことがあります。

知識

- エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- MP3/WMA/AAC/FLAC/WAVファイルの作成の詳細はエンコーダソフトや使用するオーディオ機器の説明書を参照してください。
- MP3/WMA/AAC/FLAC/WAVファイルの作成ソフトやテキスト編集ソフト、ライティングソフトやその設定によっては正規のフォーマットと異なるファイルが作成されることがあり、テキスト情報表示や再生ができない場合があります。
- 再生できないファイルがある場合、そのファイルはスキップします。(再生しません。)

ハイレゾ音源の再生について

ハイレゾ音源とは、一般的なCDに入りきらない、音の情報をたくさん持った音源のことです。

本機では、USBメモリーに保存したハイレゾ品質の音楽ファイル(FLAC/WAV形式)を、最大192 kHz/24 bitで記録された音源まで、含まれる音の情報を損なわずに再生できます。



アドバイス

- ハイレゾ品質で音楽を再生するには本機からスピーカーまですべてハイレゾ対応製品でカーオーディオシステムを構成することをおすすめします。

動画ファイルについて

本機は、USB メモリーに保存した動画データを再生できます。

再生可能な動画ファイルについて

■ コンテナフォーマット

● MP4

項目	内容
拡張子	mp4, m4v
映像コーデック	MPEG-4 (ISO / IEC 14496 Part.2)、H.264 / MPEG-4 AVC
音声コーデック	MP3、AAC (規格の詳細は音楽データと同じ) ➡ 音楽データの規格について (P.204)

● AVI

項目	内容
拡張子	avi
映像コーデック	MPEG-4 (ISO / IEC 14496 Part.2)、H.264 / MPEG-4 AVC、VC-1
音声コーデック	MP3、AAC、WMA (規格の詳細は音楽データと同じ) ➡ 音楽データの規格について (P.204)

● MKV

項目	内容
拡張子	mkv
映像コーデック	MPEG-4 (ISO / IEC 14496 Part.2)、H.264 / MPEG-4 AVC、VC-1
音声コーデック	MP3、AAC (規格の詳細は音楽データと同じ) ➡ 音楽データの規格について (P.204)

● ASF・WMV

項目	内容
拡張子	asf, wmv
映像コーデック	H.264 / MPEG-4 AVC、VC-1
音声コーデック	WMA (規格の詳細は音楽データと同じ) ➡ 音楽データの規格について (P.204)

■映像コーデック詳細

● H.264 / MPEG-4 AVC

項目	内容	
プロファイル／レベル	BaselineProfile / 3、MainProfile / 3.1	
最大解像度	720 × 480	1 280 × 720
最大ビットレート	10 Mbps	14 Mbps
最大フレームレート	30 fps	30 fps

● MPEG-4(ISO / IEC 14496 Part.2)

項目	内容	
プロファイル／レベル	SimpleProfile / 5	
最大解像度	720 × 480	720 × 576
最大ビットレート	8 Mbps	8 Mbps
最大フレームレート	30 fps	25 fps

● VC-1

項目	内容		
プロファイル／レベル	AdvancedProfile / 2	MainProfile / Medium	SimpleProfile / Medium
最大解像度	1 280 × 720	720 × 480	352 × 288
最大ビットレート	20 Mbps	10 Mbps	384 kbps
最大フレームレート	30 fps	30 fps	15 fps

- USBメモリー内のフォルダ階層は最大8階層、最大フォルダ数は700、最大ファイル数は65 535です。

知識

- ビットレートが低いと、十分な画質・音質を得られない場合があります。
- 可変ビットレート(VBR)で作成されている場合、部分的にビットレートが高くなる場合があります。そのような部分では音飛びやコマ落ちなどが起こる場合があります。
- 上記の仕様から外れたファイルは、映像が表示されなかったり、音飛びしたりするなど、正常に再生できない可能性があります。
- 動画ファイルの作成方法・エンコードソフトなどによっては再生できなかったり、音声・映像が乱れる場合があります。
- Global Motion Compensation、Quarter-pel Motion Compensationには対応していません。映像が乱れ正しく再生できません。
- 著作権保護された動画ファイルは再生できません。

動画ファイルの再生について

テレビ放送や、ビデオ、DVDなど、個人で作成したものでない映像、音声を個人で楽しむ以外の目的で権利者に無断で使用することは、著作権法上制限されています。

テレビ／ラジオの受信について

車で移動して受信するため、家庭用のチューナーに比べて受信エリアが狭くなります。

また、受信環境や電波状況(電波の強さの変化、障害物、他の電波などの影響)により、最良な受信状態を維持できない場合があります。

- 放送方式(12セグ/ワンセグなど)や放送局により、受信状態やエリアが変化します。
- 下記のような場所または状況では受信状態が悪くなる場合があります。
 - ー 放送局から遠い
 - ー 電波が遮られやすい場所(トンネルの中、山の陰やビルの谷間など)
 - ー 電車の架線、高圧線、テレビやラジオ放送の送信所、ネオンなどが近くにある
 - ー 無線用の送信アンテナが近くにある
 - ー 車の電装品(自動ブレーキシステム、パワーウィンドウ、ワイパー、電動ミラー、エアコンのファンなど)が作動している場合
 - ー 本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器(ドライブレコーダーなど)や無線利用機器など(パソコンや携帯電話など)を車内で使用したり、本機やアンテナおよびアンテナの

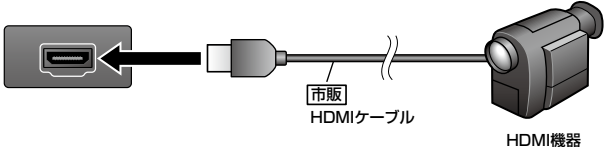
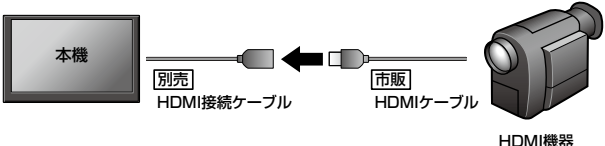
コードに近づけた場合

- 受信状態が悪くなったときは次のような現象が起こることがありますが、故障ではありません。
 - ー 映像や音声が乱れる(ノイズが発生したり、途切れる)
 - ー 静止画面や黒画面となり音声が出なくなる

知識

- 本機はARIB(電波産業会)規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- 本機は、B-CASカードを使用せずに地上デジタル放送を視聴できるコンテンツ権利保護専用方式を採用しているため、B-CASカードを付属していません。

別売品(システムアップ)について

別売品が必要な機能	別売品の名称
本機でETC2.0の情報を見る	・ ETC2.0 車載器
本機で車載カメラの映像を見る	・ リヤビューカメラ ・ マルチア라운드モニター(移動物検知機能付)
本機でドライブレコーダーの映像を見る	・ 三菱自動車オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー
本機で外部機器の映像を見る／音声を聴く (HDMIソースの場合)	・ HDMI ソケット 
	・ HDMI 接続ケーブル 

知識

- 本機で利用できる別売品については、三菱自動車販売会社にお問い合わせください。
- 三菱自動車オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーは、いずれか1つのみ接続できます。

初期設定一覧

各項目の初期設定は下記のとおりです。

トップメニュー
ショートカット ※All Appsの下記項目を表示
目的地=[周辺施設][自宅][ジャンル][住所][電話番号][登録地][マップコード][名称][名称(オンライン)][履歴]
AV=[AM][BLUETOOTH Audio][FM][HDMI][TV][USB][ドライブレコーダー]* ¹ [交通情報][ネット動画][レコーダーリンク]

* 1… 別売の三菱自動車オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーを接続している場合のみ表示されます。

地図画面・探索
縮尺=50 m
地図の向き=ヘディングアップ(進行方向が上)
探索条件=[推奨]

■AV情報・設定メニュー

AVチューン
エフェクト
音質・音場モード=[高音質]
エフェクト=[音の匠]
サラウンド=[匠 マスターサウンド]
車速連動音量=[MID]
ビット・周波数拡張設定=[OFF]
イコライザー
イコライザープリセット=[OFF]

フェーダー/バランス
各項目の調整値=0
スピーカー
出力レベル
各スピーカー=±0 dB
ディレイ
各スピーカー=100 cm
AV出力
AV出力=[OFF]

■システム情報・設定メニュー

操作音
操作音=[ON]
時計表示
時計表示=[ON]
案内音声設定
本体音量スイッチ操作で案内音量調整を優先=[ON]
案内音量の車速連動=[ON]
案内出力スピーカー=[右前]
案内時のAV音量消音=[OFF]
音量設定
ナビ案内音=5
音声認識音=6
ハンズフリー着信音=20
ハンズフリー受話音=20
ハンズフリー送話音=4

画質調整 ※()内はイルミネーションON時の設定値		
明るさ	リヤビューカメラ	25(15)
	上記以外の画面	25(11)
コントラスト	各画面共通	16(16)
色合い	各画面共通	16(16)
色の濃さ	各画面共通	16(16)
画面サイズ=[フル]		
言語		
言語=[Japanese]		
セキュリティ設定		
セキュリティ設定=[OFF]		
盗難多発地点 表示案内=[ON]		
市街地図での盗難多発地点表示案内=[OFF]		
セキュリティインジケータ=[OFF](セキュリティ設定 [ON]時、[ON])		
車種設定		
車種区分=[普通車両]		
オプションスイッチ設定		
オプションスイッチ設定=[消音]		
ダイレクトボタン設定		
ダイレクトボタン設定=[ドライブレコーダー動画録 画]		
休憩案内		
休憩案内=[ON]		

必要なとき

■スマートフォン接続設定メニュー

BLUETOOTH® 設定
BLUETOOTH® = [ON] BLUETOOTH® 機器情報 デバイス名 = NM11M
Wi-Fi 設定
モード = [アクセスポイント]

■ナビ情報・設定メニュー

チューン
ルート
有料道路優先 = [中] 道幅優先 = [中] 渋滞回避 = [中] ルート学習 = [ON] VICS 考慮 = [ON] 季節規制考慮 = [ON] スマートインター考慮 = [ON]
ガイドランス
分岐案内頻度 = [高] 合流案内 = [ON] 踏切案内 = [ON] 専用レーン案内 = [ON]
マップ
昼の地図色 = [ノーマル] 夜の地図色 = [ノーマル] 文字サイズ = [中] 自車マーク = 青、大 昼夜切替 = [時刻連動]

VICS
VICS 有料道情報表示 = [ON] VICS 一般道情報表示 = [ON] VICS 駐車場情報表示 = [ON] VICS 規制マーク表示 = [ON] VICS 範囲表示 = [ON] VICS 渋滞・混雑情報表示 = [ON] VICS 渋滞なし情報表示 = [OFF] VICS 統計情報表示 = [ON]
ナビ設定
表示設定
ランドマーク表示 = [ON] ※ランドマーク 急速充電スポット*1 = 三菱ディーラー、日産ディーラー、その他 普通充電スポット*1 = 三菱ディーラー、日産ディーラー、その他 カーディーラー = 三菱 レンタカー = 三菱レンタカー 走行軌跡を表示 = [OFF] 目的地方向を表示 = [ON]
探索設定
新旧ルート比較画面を表示 = [ON] 新旧ルート自動選択 = [新ルート] 到着予想時刻の計算方法 = [自動] ※到着予想時刻の計算方法 [手動] 時：一般道 = 50 km/h、有料道路 = 80 km/h

案内設定
案内拡大図の表示 = [ON] ETC レーンの表示 = [ON] 方面看板の表示 = [ON] ハイウェイモードの表示 = [ON] AV 画面中の案内割込み = [ON] 逆走注意アラーム = [ON] VICS 案内 = [ON]
渋滞設定
FM VICS 周波数 周波数の選局方法 = [自動選局]
ETC2.0 割込み設定 ETC2.0 受信音 = [ON] ETC2.0 割込み = [ON] ETC2.0 自動音声再生 = [ON] ETC2.0 アップリンク = [ON]
ETC の音声案内設定
ETC 音声案内 = [ON] カード入れ忘れ案内 = [ON] カード抜き忘れ案内 = [ON]
登録地
自宅 = 未登録 登録地点 = 未登録 ※登録時 アラーム 音 = [OFF] アラーム 案内距離 = [50 m] アラーム 進入角度 = [OFF]

* 1…対応車種のみ

TV
メニュー
受信モード＝[自動切替] オート放送局サーチ＝[有効] 番組表サブチャンネル表示＝[しない] 地上D/ワンセグ切替設定＝[遅延補正あり] ユーザープリセット設定 設定 信号切替 マルチビュー＝[主番組] 映像＝[映像 1] 音声＝[音声 1] 二重音声＝[主] 字幕＝[表示しない] 文字スーパー＝[表示しない]

FM／AM
FM周波数＝76.0 MHz AM周波数＝522 kHz

交通情報
交通情報＝[1 620 kHz]

レコーダーリンク
視聴設定
映像再生画質＝[標準画質] 映像再生バッファサイズ＝[標準] 字幕＝[オフ] 音声＝[主音声]

USB
モード切替＝[音楽] 選曲モード＝[全曲] 再生モード＝リピートオール

ハンズフリー通話
携帯電話データの自動同期＝[ON]

ドライブレコーダー* 1
三菱自動車オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

* 1…別売の三菱自動車オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー接続時

商標などについて

BLUETOOTH® 対応装置には技術基準適合認定を受けた無線機器を搭載しております。



- Microsoft, Windows and Windows Media are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.
- This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft.
- 「VICS」および「VICS WIDE」は一般財団法人道路交通情報通信システムセンタの商標です。

- 「ETC」および「ETC2.0」は、一般財団法人ITSサービス高度化機構の登録商標です。
- ITSスポットは、国土交通省道路局の登録商標です。
- **BLUETOOTH®**のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interfaceという語、HDMIのトレードドレスおよびHDMIのロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。
- “ゼンリン” および “ZENRIN” は株式会社ゼンリンの登録商標です。
- “タウンページ” は、日本電信電話株式会社の商標です。
- 「マップコード」および「MAPCODE」は株式会社デンソーの登録商標です。
- NaviCon は、株式会社ミックウェアの登録商標です。

- QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。
- Google、Android、Google Play、Android AutoはGoogle LLCの商標です。
- 互換性のあるAndroidスマートフォンと、有効なデータ通信プランが必要です。
- Wi-Fi[®]、Wi-Fi Protected Access[®] (WPA)はWi-Fi Alliance[®]の登録商標です。WPA2[™]、WPA3[™]はWi-Fi Alliance[®]の商標です。
- 本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio License、AVC Patent Portfolio License及びVC-1 Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
 - 画像情報をMPEG-4 Visual、AVC、VC-1規格に準拠して(以下、MPEG-4/AVC/VC-1ビデオ)を記録すること。
 - 個人的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4/AVC/VC-1ビデオ、または、ライセンスをうけた提供者から入手したMPEG-4/AVC/VC-1ビデオを再生すること。詳細についてはMPEG LA, L.L.C. (<http://www.mpegla.com>)をご参照ください。
- Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple products identified in the badge and has been certified

by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.

- Use of the Apple CarPlay logo means that a vehicle user interface meets Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this vehicle or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this product with iPhone, iPod, or iPad may affect wireless performance.
- Apple, Apple CarPlay, iPhone, iPod, iPod touch, iTunes and Siri are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. The trademark "iPhone" is used in Japan with a license from Aiphone K.K.
- IOS is a trademark or registered trademark of Cisco in the U.S. and other countries and is used under license.
- 「DiXiM」は株式会社デジオンの登録商標です。
- 「DiXiM Play」は、株式会社デジオンの商標です。
- 「DiXiM」は、株式会社デジオンが開発したマルチメディア・ホームネットワーク・

ソリューションです。「DiXiM Play」はDiXiMを搭載したGoogle Play / App Store / Windowsストア向けDTCP/IP対応ホームネットワークプレーヤーアプリケーションです。詳しくは、デジオンWebサイト(<https://www.digion.com/>)をご覧ください。

- USB Type-C[®] and USB-C[®] are registered trademarks of USB Implementers Forum.
- 本機に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳、翻案、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行ったり、それに関連してはいけません。
- 本機を法令により許されている場合を除き、日本国外に持ち出しではいけません。
- 本製品の取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは、各社の登録商標または商標です。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

ソフトウェア、およびオープンソースソフトウェアについて

■本製品には、以下のソフトウェアが含まれています。

- (1) パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社(「パナソニック」)により、またはパナソニックのために開発されたソフトウェア
- (2) パナソニックにライセンスされた第三者所有のソフトウェア
- (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2(「GPL」)に基づいてライセンスされたソフトウェア
- (4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1(「LGPL」)に基づいてライセンスされたソフトウェア
- (5) GPL, LGPL以外に基づいてライセンスされたオープンソースソフトウェア

■上記(3)、(4)に分類されるソフトウェアについては、それぞれ、以下のGPLおよびLGPL所定の条件をご参照ください。

GPL : <http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html>

LGPL : <http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html>

また、上記(3)、(4)に分類されるソフトウェアについては、多数の人が著作権を保有しています。

これらの著作権者の著作権表示については、以下をご参照ください。

<http://car.panasonic.jp/oss/k03nsndc>

GPL/LGPLに基づきライセンスされるソフトウェア(「GPL/LGPLソフト」)は、有用であることを願って頒布されますが、全くの無保証です。

商業可能性があることや特定の目的に適合していることについては、黙示的保証も含め、一切保証されません。

パナソニックは、製品発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた全ての方に対してソースコードの提供に必要な物理的コストを上回らない程度の料金と引き換えに、GPL/LGPLソフトに対応した完全かつ機械で読み取り可能なソースコードを提供します。

ソースコードの内容等についてのご質問はお答えできませんので、あらかじめご了承ください。

またインターネット接続環境はお客様ご自身でご用意していただく必要があります。

Webサイトの閲覧中およびダウンロード中のインターネット接続、回線使用料等はお客様ご負担となります。

[問い合わせ窓口]

〒224-8520 神奈川県横浜市都筑区池辺町4261番地

パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社 インフォテインメントシステムズ事業部 技術管理部門 責任者 宛

また、上記のGPL/LGPLソフトに対応したソースコードは、以下のウェブサイトで、誰でも自由に入手することができます。

<http://car.panasonic.jp/oss/k03nsndc>

■上記(5)に分類されるソフトウェアには、以下のライセンス条件が適用されるソフトウェアを含む様々なオープンソースソフトウェアのプログラム(OSS)が含まれています。

これらのOSSについてのライセンス条件その他の事項に関しては、以下のURLをご参照ください。

<http://car.panasonic.jp/oss/k03nsndc>

■なお、上記(1)から(5)を含めた本製品に搭載されるすべてのソフトウェアは、本製品に搭載され、本製品上で動作させることのみを想定しております。

以下の①から④に定められる各行為について、その態様が直接的であるか間接的であるかを問わず、別途の書面による合意に基づく特別の許可がない限り、また

は各オープンソースソフトウェアのライセンス条件に基づき許可される範囲を越えて、行うことを固く禁じます。

- ①ソフトウェアの一部または全部を複製すること(ただし、許可された範囲内でのバックアップの取得を除く)
- ②法律上認められる範囲を超えて、ソフトウェアの一部または全部を、本製品から抽出し、もしくは分離させ、またはデコンパイルもしくはディスアセンブル等のリバースエンジニアリングをすること
- ③法律上認められる範囲を超えて、ソフトウェアの一部または全部を、改変、翻案、翻訳等し、またはこれらを売買、貸与、輸出入、頒布等すること
- ④ソフトウェアに付される著作権表示、権利表示、商標、レーベル等を除去しまたは削除すること

保証とアフターサービス

保証について

保証期間は、お買い上げ日またはお受け付け日から3年です。

ただし、その期間内でも走行距離が60 000 kmまでといたします。

同梱の保証書に必要な事項が記入されているかお確かめのうえ、大切に保管してください。

アフターサービスについて

本機が正常に動作しないときは、この取扱説明書を再度ご覧になってお調べください。

それでも本機が正常に動作しないときは、三菱自動車販売会社にご相談ください。

仕様

仕様およびデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。

モニター部	
種類	液晶カラーモニター
駆動方式	TFT アクティブマトリックス方式
画面サイズ	9 V型
使用光源	LED

ナビゲーション部	
受信周波数	1 575.42 MHz (C/Aコード)
受信感度	-145 dBm
位置更新時間	約0.1秒

地上デジタルテレビ部	
受信チャンネル	UHF: 13チャンネル～52チャンネル
放送方式	地上デジタル放送方式(日本) 12セグ/ワンセグ

ラジオ・チューナー部	
回路方式	AM/FM/MPX ラジオPLL方式
受信周波数	FM 76.0 MHz～95.0 MHz AM 522 kHz～1 629 kHz
実用感度	FM 15 dB(μV) AM 37 dB(μV)
S/N比	FM 55 dB(15 kHz L.P.F使用時) AM 50 dB(15 kHz L.P.F使用時)
ステレオセパレーション	FM 20 dB(15 kHz L.P.F使用時)
歪率	FM/AM 0.5 %

入出力端子	
電源入力端子	TH18専用コネクタ
外部入力端子	HDMI端子 タイプEコネクタ
外部出力端子*1	HDMI端子 タイプEコネクタ
GPSアンテナ入力端子	GT5専用コネクタ
DTVアンテナ入力端子	GT13S専用コネクタ
ラジオ入力端子 (VICS入力端子)	GT13SH専用コネクタ (ラジオ入力端子と共用)
ETC2.0端子	5ピン専用コネクタ
ETC2.0端子	GT17(C)専用コネクタ
USB端子	Type-Cコネクタ

* 1…本機では使用できません。

USB Type-C	
出力電圧	5 V
出力電流	3 A

その他	
供給電源電圧	DC12 V
最大出力	43 W×4(14.4 V)
外形寸法 (本体のみ)	244 mm×132 mm×172 mm (幅×高さ×奥行き) ※突起部は除く
質量(本体のみ)	2.1 kg

※本書に記載の寸法・質量はおおよその数値です。

※画面サイズのV型(9 V型等)は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

さくいん

A		F		N	
AAC.....	205	FLAC.....	206	NaviCon®.....	148
Android Auto.....	143	FM/AM.....	95		
Apple CarPlay.....	138	FM多重.....	71	Q	
AV ON/OFF.....	82			QRコード表示.....	3
AV画面に切り替え.....	80	G			
AVソース一覧.....	81	GPS受信表示.....	32	S	
AVチューン.....	82			SA/PAマーク.....	44
B		H		T	
BLUETOOTH® Audio.....	102	H.264.....	210	TVの初期化.....	158
BLUETOOTH®接続		HDMI(外部入力).....	111		
(スマートフォン接続設定).....	26	HDMI機器.....	111	U	
D				USBメモリー.....	103, 200
DSP.....	85	I		USBメモリーの接続.....	103
E		iPod.....	107		
ETC2.0.....	128	iPod/iPhone(接続確認済みモデル).....	107	V	
ETC音声案内の設定.....	128	iPodの接続.....	107	VICS自動再探索.....	61
ETCカード入れ忘れ案内の設定.....	128			VICS渋滞情報(矢印表示・破線表示).....	43
ETCカード抜き忘れ案内の設定.....	128	M		VICS情報.....	69
ETC情報(ETC履歴・ETC管理情報).....	130	MP3.....	204	VICSタイムスタンプ.....	42
EWS.....	89	MPEG-4.....	210		

W

WAV	206
Wi-Fi 設定(スマートフォン接続設定)	28
WMA	205

ア

明るさ	155
アクセスポイント	30
案内音声設定	64
案内スタート／案内ストップ	49
案内ルート	35

イ

イコライザー設定	87
一時停止	108
一般優先(ルート探索条件)	57

エ

エコ(ルート探索条件)	57
エフェクトモード	82
エリア選局	72
エリアモード	95

オ

音の匠	84
オプションスイッチ	152
音楽ファイル	204
音響効果の設定	84
音声案内	60
音量	19

カ

カーソル	34
各部の名称と機能	16
画質の調整	155
傾きの調整	40
カメラ設定	116
画面消し	156
画面サイズ	155

キ

キーボード学習結果の初期化	158
機器登録	26
気象・災害情報表示	43
逆走注意アラーム	36
休憩メッセージ案内	61
距離優先(ルート探索条件)	57
緊急情報	70

ケ

携帯電話切替	133
携帯電話データの自動同期	135
経由地の設定	55
経由地の追加・消去	56
言語	152
現在地測位の状態	32
現在地を表示	16
検索結果画面	48

コ

高音質モード	82
交差点情報	33
交通情報(ラジオ)	95
コントラスト	155

サ

細街路探索	58
再探索	61
サンプリング周波数	204

シ

時刻連動(昼夜切替).....	46
自車位置設定.....	46, 47
自車マーク.....	32
施設詳細.....	48
施設名称.....	34
自宅の登録.....	24
自動選局(VICS受信).....	71
車種区分.....	24
車速連動音量.....	86
車両信号情報.....	156
ジャンル検索(施設を探す).....	53
住所検索.....	53
渋滞回避.....	62
渋滞情報.....	43
周波数再編(リパック).....	89
周波数設定.....	71
周辺施設検索.....	54
縮尺表示.....	32
縮尺を切り替える.....	39
出荷状態に戻す.....	158
手動選局(VICS受信).....	72
消音(オプションスイッチ).....	152
初期化.....	158
初期設定一覧.....	213
新旧ルート比較.....	61

ス

推奨(ルート探索条件).....	57
スクロール.....	38
ステアリングスイッチ.....	17
ステーション.....	30
ステータスバー.....	33
スピーカー出力レベル設定.....	88
スピーカーディレイ設定.....	88
スマートIC.....	58

セ

セキュリティインジケータ.....	17
セキュリティ設定.....	153
選曲モード.....	108
全ルート図.....	55

ソ

騒音適応モード.....	82
走行軌跡.....	35
走行軌跡の記録を消去する.....	46
操作音.....	152
ソフトウェア更新.....	75, 77

タ

探索条件.....	57
端末情報.....	158

チ

地域.....	89
地域設定.....	94
地上D／ワンセグ切替設定.....	91
地図画面の表示内容.....	32
地図更新.....	73
地図色.....	46
地図の拡大・縮小.....	39
地図表示記号.....	45
地図モード画面.....	34
地点メニュー.....	34
地点を登録.....	66
駐車場マーク.....	44
駐車録画設定.....	125

テ

デジタルテレビ初期設定を行う.....	89
デモ走行.....	56
テレビ.....	89
電話帳.....	133
電話に出る.....	132
電話番号検索.....	51
電話を切る.....	132

ト

動画ファイル	209
盗難多発地点表示	154
道路切替(ランチャー)	47
登録地の消去	67
登録地の編集	67
時計表示設定	152
トップメニュー	20
トップメニューカスタマイズ	20
ドライブレコーダー	120

ナ

ナビ案内音	19
-------------	----

ニ

入力履歴の消去	49
---------------	----

ネ

ネット動画	99
-------------	----

ノ

ノースアップ	32
--------------	----

ハ

ハイウェイモード	43
ハイレゾ音源再生	208
番組表(TV)	93
ハンズフリーフォン	93

ヒ

ビット・周波数拡張	86
ビットレート	204, 208
ビデオカメラ	212

フ

フェーダー／バランス	87
------------------	----

ヘ

ヘディングアップ	32
----------------	----

マ

マップコード検索	53
マルチアラウンドモニター	119

ミ

右画面表示	41
-------------	----

メ

名称(オンライン)	50
名称検索	49
目安線	117

モ

目的地の設定	55
目的地の追加・消去	56
文字サイズ	46

ユ

有料優先(ルート探索条件)	57
---------------------	----

ヨ

曜日時間規制探索	58
----------------	----

ラ

ライト連動(昼夜切替)	46
ラジオ	95
ランダム再生	102, 104, 105, 108
ランドマーク	47

リ

リピート再生	102, 104, 105, 108
リヤビューカメラ	114
履歴から探す	51

ル

ルート案内の設定	63
ルート学習	57
ルート学習結果の初期化	62
ルート消去	49
ルート編集	56

レ

レコーダーリンク	96
----------------	----

ワ

割り当て(スマートフォン)	28
ワンセグ	91

本機は、三菱自動車工業株式会社向けに、パナソニック オートモー
ティブシステムズ株式会社が開発・製造しています。
お問い合わせは、裏表紙に記載の「三菱自動車 お客様相談センター」
へお願いいたします。



お問い合わせ、ご相談は下記をお願いいたします。

三菱自動車

お客様相談センター

(Customer Relations)

全国共通フリーダイヤル
(Toll Free)

☎0120-324-860

対応時間：9:30-12:30、13:30-17:00

お客様の個人情報は厳重に取り扱い、お問い合わせへの対応に使用いたします。

また、ご相談内容によっては適切な対応をさせていただくため、三菱自動車販売会社等へ必要な範囲で情報を開示し、販売会社等からお客様にご連絡を取らせていただく場合もございますので、予めご了承ください。

なお、当社における個人情報の取り扱いの詳細については三菱自動車ホームページ (<https://www.mitsubishi-motors.co.jp/privacy/>) にて記載しております。

印刷 2025 年 4 月 Printed in Japan



YEFM0414463 S0425-0